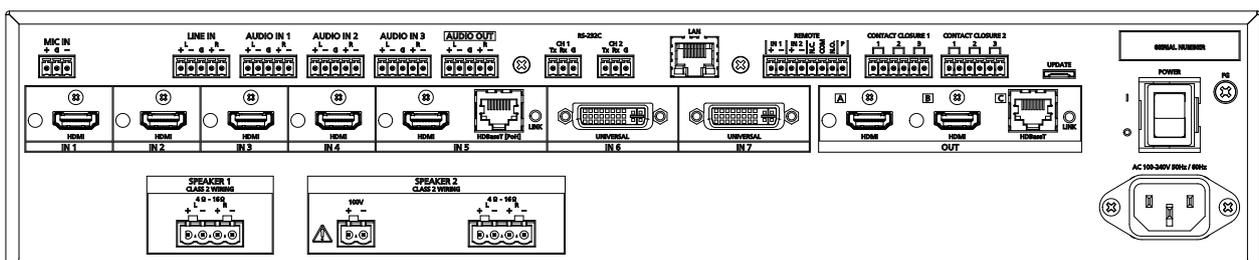
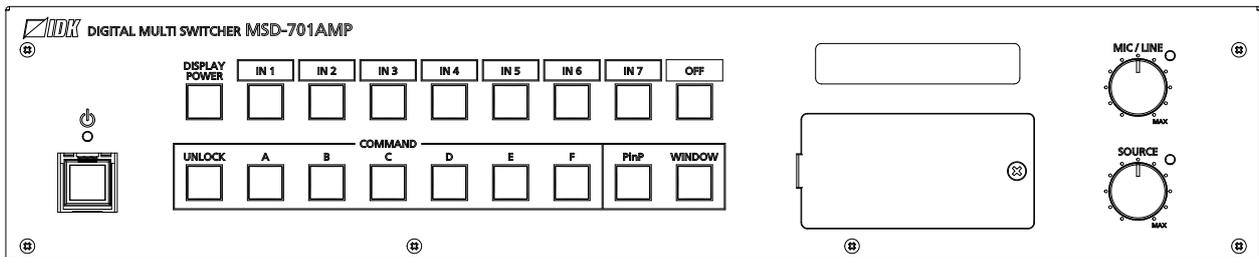


パワーアンプ内蔵 デジタルマルチスイッチャ

# MSD-701AMP

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.1.8.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

## 商標について

- HDBaseT™および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。  
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

# この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図や通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

[www.idk.co.jp](http://www.idk.co.jp)

## 取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて2冊の構成です。必要に応じた、取扱説明書をお読みください。コマンドガイドについては、ホームページからダウンロードしてご覧ください。

### ■ ユーザーズガイド

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。
- ・ 設置し、他の機器と接続する。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

### ■ コマンドガイド (本書)

[目的]

- ・ RS-232C 通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

## 目次

1	本書の概要 .....	5
2	通信仕様と設定 .....	5
2.1	RS-232C 通信 .....	5
2.1.1	RS-232C コネクタ仕様 .....	5
2.1.2	RS-232C 通信仕様 .....	5
2.1.3	RS-232C 通信の設定手順 .....	6
2.2	LAN 通信 .....	7
2.2.1	LAN コネクタ仕様 .....	7
2.2.2	LAN 通信仕様 .....	7
2.2.3	LAN 通信の設定手順 .....	8
2.2.4	TCP-IP コネクション数の制限と解決策 .....	9
3	コマンド .....	10
3.1	コマンド概要 .....	10
3.2	コマンド一覧 .....	11
3.3	コマンド詳細 .....	17
3.3.1	エラーステータス .....	17
3.3.2	本機の電源状態 .....	18
3.3.3	入出力チャンネル選択 .....	19
3.3.4	出力画角設定 .....	22
3.3.5	出力設定 .....	30
3.3.6	入力画角設定 .....	39
3.3.7	入力設定 .....	44
3.3.8	入力タイミング設定 .....	50
3.3.9	入力チャンネル自動切換設定 .....	58
3.3.10	画質調整 .....	61
3.3.11	出力音声設定 .....	68
3.3.12	入力音声設定 .....	76
3.3.13	EDID 設定 .....	86
3.3.14	RS-232C 設定 .....	93
3.3.15	LAN 設定 .....	95
3.3.16	制御コマンド設定 .....	99
3.3.17	プリセットメモリ設定 .....	112
3.3.18	ビットマップ設定 .....	120
3.3.19	システム設定 .....	128
3.3.20	ステータス表示 .....	130

## 1 本書の概要

本書では、RS-232C 通信または LAN 通信を使用した、MSD-701AMP を制御する通信コマンドについて説明します。

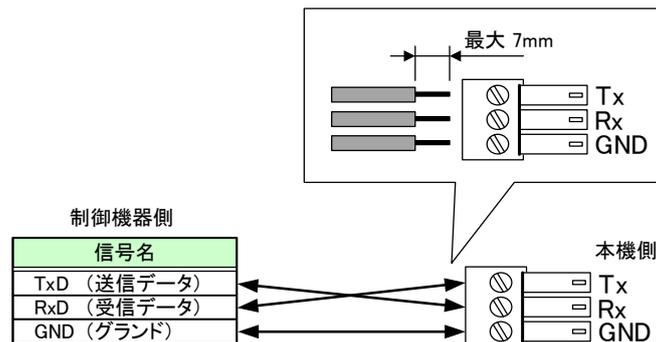
## 2 通信仕様と設定

本章では、RS-232C 通信と LAN 通信の仕様と、設定手順について説明します。

### 2.1 RS-232C 通信

#### 2.1.1 RS-232C コネクタ仕様

付属のターミナルブロック (3 ピン) にケーブルを固定し、本機に接続してください。  
 なお、ケーブルは AWG 28 ~ AWG16 を推奨します。剥き線長さは最大 7 mm です。  
 必要に応じて RTS と CTS、DTR と DSR をショートしてください。



[図 2.1] ターミナルブロック (3 ピン) へのケーブルの接続方法

#### 2.1.2 RS-232C 通信仕様

RS-232C 通信仕様は次のとおりです。

[表 2.1] RS-232C 通信仕様

準拠規格	RS-232C
通信速度	4800 / 9600 / 14400 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200 [bps]
データビット長	7 / 8 ビット
パリティチェック	なし / 奇数 / 偶数
ストップビット	1 / 2 ビット
Xパラメータ	無効
フロー制御	なし
デリミタ	CR LF (復帰+改行, 16 進表記の 0D と 0A)
通信方式	全二重

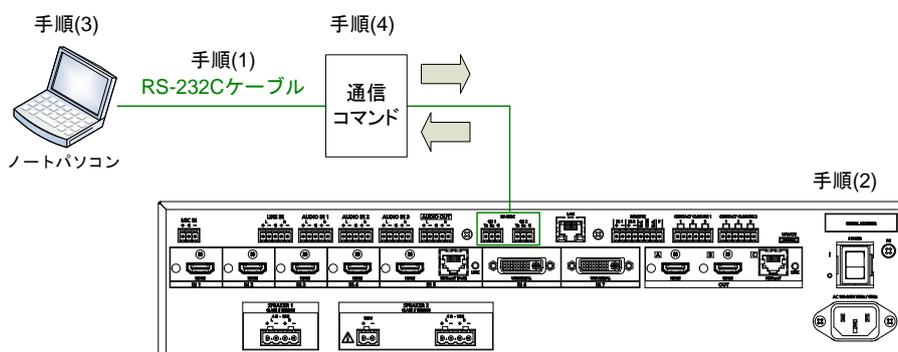
## 2.1.3 RS-232C 通信の設定手順

次の手順に従い、本機とパソコンなどの制御機器との RS-232C 通信設定をしてください。

- (1) 制御機器と本機を RS-232C ケーブルで接続します。
- (2) 本機に RS-232C 通信設定をします。
  - ・ RS-232C 通信の設定：通信速度、データビット長、パリティチェック、ストップビット
  - ・ RS-232C 通信の動作モード：受信モード

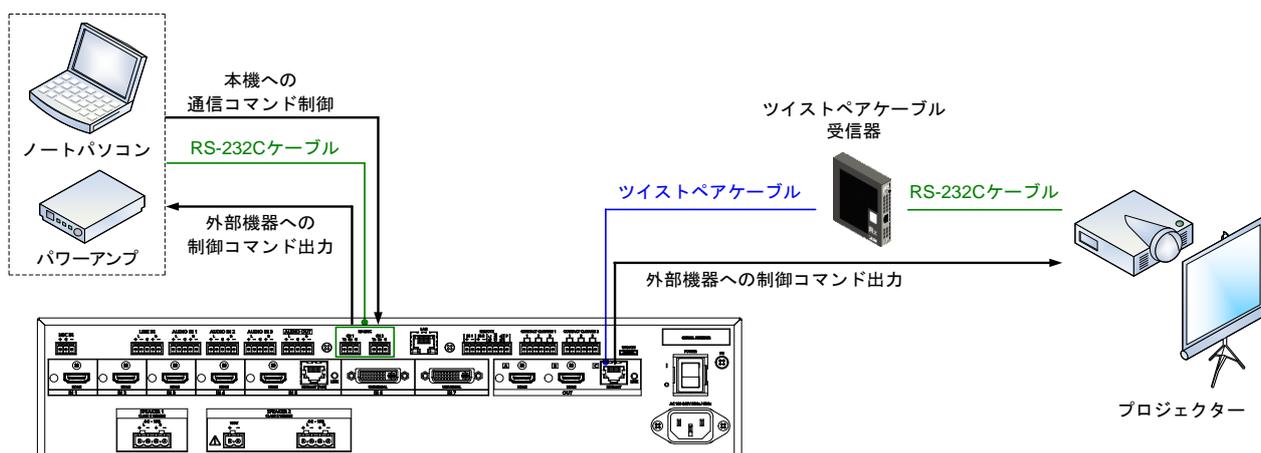
【参照：ユーザズガイド】

- (3) 制御機器に、上記 (2) で本機に設定した「RS-232C 通信の設定」と同じ設定をします。
- (4) 制御機器から通信コマンドを本機に送信します。  
通信コマンドを使うことで、本機の制御や状態を取得できます。



[図 2.2] RS-232C 通信の設定手順

### ■ RS-232C 通信の動作例



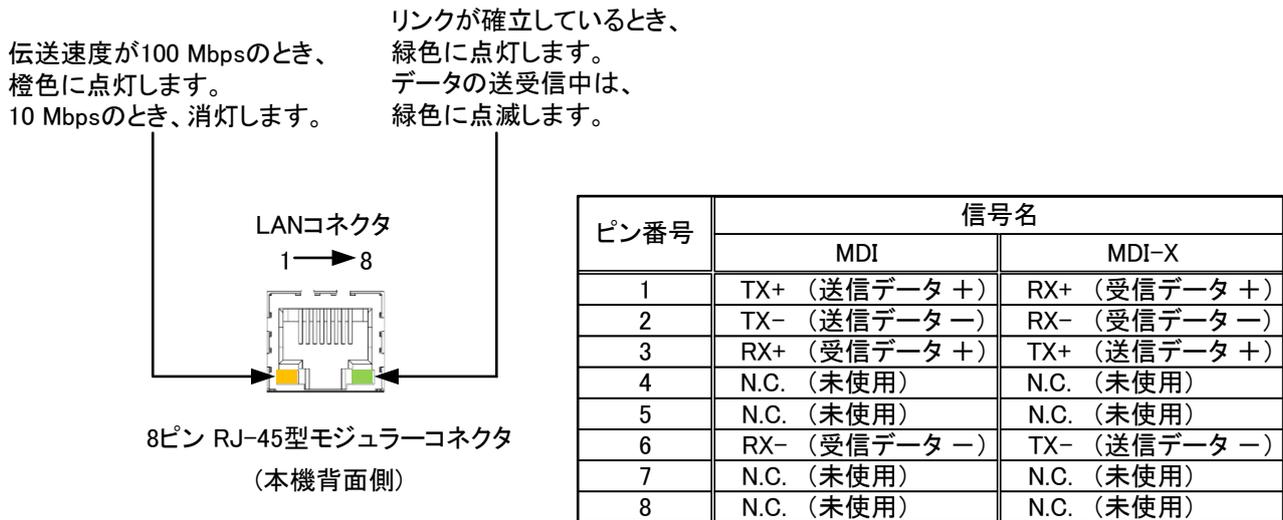
[図 2.3] RS-232C 通信の動作例

## 2.2 LAN 通信

### 2.2.1 LAN コネクタ仕様

LAN コネクタのピン配列は次のとおりです。

ストレートケーブル / クロスケーブルの判別・切り換えを自動的に行なう Auto MDI / MDI-X に対応していますので、本機とパソコンまたはハブなどとの接続のとき、意識せずに接続することが可能です。



[図 2.4] LAN コネクタ仕様

### 2.2.2 LAN 通信仕様

LAN 通信仕様は次のとおりです。

[表 2.2] LAN 通信仕様

物理層	10Base-T (IEEE802.3i) / 100Base-TX (IEEE802.3u)
ネットワーク層	ARP、IP、ICMP
トランスポート層	TCP 通信コマンド制御使用ポート : 23、1100、6000 ~ 6999 WEB ブラウザ制御 (HTTP) 使用ポート : 80、5000 ~ 5999

【注意】 同時に使用する事ができるコネクション数は最大 8 個です。

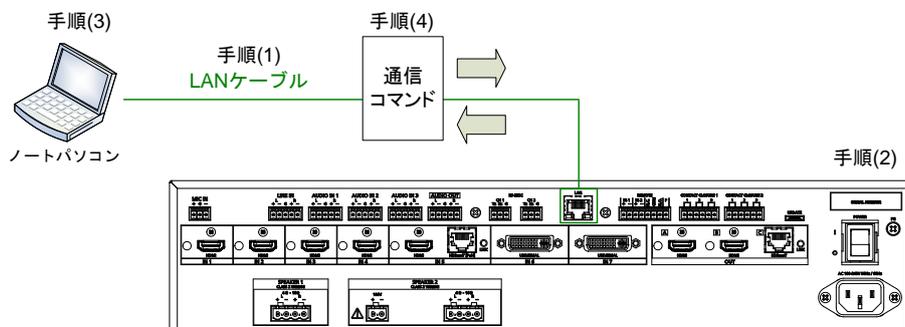
## 2.2.3 LAN 通信の設定手順

次の手順に従い、本機とパソコンなどの制御機器との LAN 通信設定をしてください。

- (1) 制御機器と本機を LAN ケーブルで接続します。
- (2) 本機に LAN 通信設定をします。
  - ・ IP アドレス、サブネットマスク
  - ・ LAN 通信の動作モード：受信モード
  - ・ TCP ポート番号：23、1100、6000 ~ 6999 番

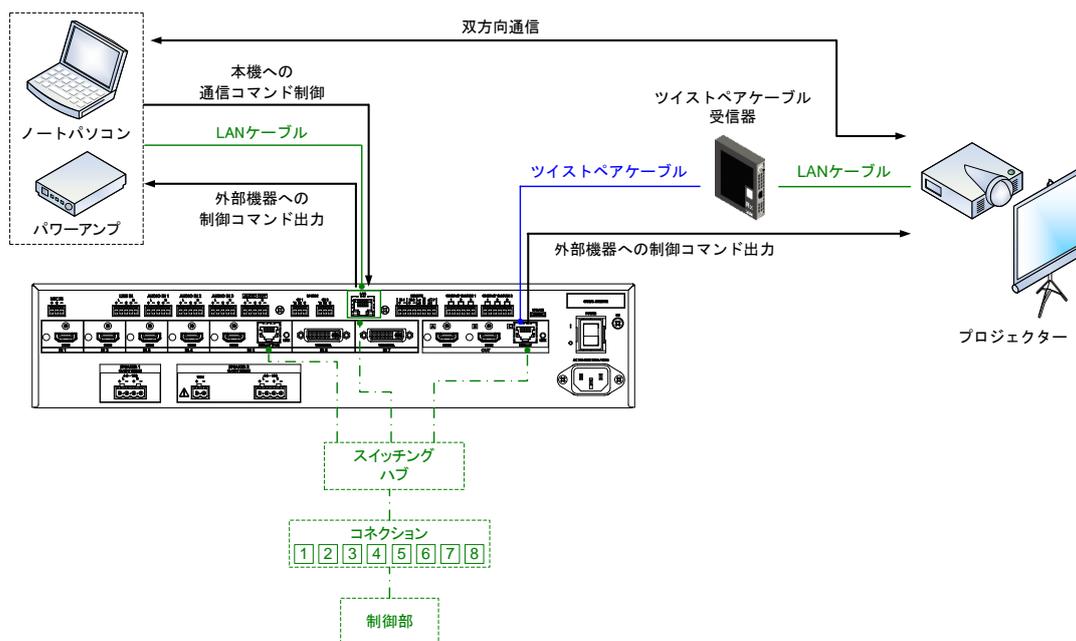
【参照：ユーザズガイド】

- (3) 上記 (2) で本機に設定した IP アドレスおよび TCP ポート番号へ、制御機器からコネクションを確立します。
- (4) 制御機器から通信コマンドを本機に送信します。  
通信コマンドを使うことで、本機の制御や状態を取得できます。



[図 2.5] LAN 通信による制御

### ■ LAN 通信の動作例



[図 2.6] LAN 通信の動作例

## 2.2.4 TCP-IP コネクション数の制限と解決策

本機は、最大 8 コネクション (8 ポート) まで同時に接続することができます。ただし、同時に使用することができるコネクション数が限られているため、9 台以上のパソコンから制御をする場合、本機とのコネクションに失敗することがあります。

8 コネクションより多くのパソコンからコマンド制御をする場合は、次の表に示す方法を使ってください。ユーザ側のソフトから、TCP-IP のコネクション・クローズを通信コマンドの送受信ごとに実行することで、本機側のポート占有と解放がされます。そのため、常時ポートを占有することはなく、論理的に 8 ポート以上の接続をすることができます。

[表 2.3] 接続数を増やす方法

ユーザ側パソコンソフト		本機
TCP-IP コネクション	→	(1 ポート占有)
コマンド送信 (@xxx)	→	
	←	コマンド返信 (@xxx)
TCP-IP クローズ	→	(1 ポート解放)

**【注意】** パソコン側から本機へ 30 秒間コマンドの送信がなかった場合、本機は、コネクション数制限の問題を回避するため、コネクションの切断処理をします。そのため、パソコン側から再度コネクションを確立しないと通信ができなくなります。

再度コネクションを確立するためには、今まで繋いでいたパソコン側コネクションの切断処理をした後に、再度コネクションの確立処理をしてください。

(本機のポート数は 8 ポートのため、コネクションが繋がったままパソコン側の電源などが落とされた場合、永久にポートが占有されます。この占有を回避するため、パソコン側から通信コマンドが送信されない場合、本機はコネクションの切断処理をします。)

## 3 コマンド

---

本章では、コマンドの仕様について説明します。

### 3.1 コマンド概要

---

コマンドは各コマンドを識別する@ (16 進表記の 40) の後に 3 文字の半角英字 (大文字、小文字) と、それに続くパラメータ (半角数字) からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータを必要としないものがあります。)

コマンドとパラメータの間は、カンマ「,」(16 進表記の 2C) で区切られます。コマンドの最後にデリミタ「`\n`」(CR LF (復帰+改行, 16 進表記の 0D と 0A)) を送信することにより処理を実行します。

例 : @SPM,2 `\n`

#### ■ エラーがある場合

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合はエラーコマンドを返します。

例 : @ABC,1 `\n`  
@ERR,1 `\n`

#### ■ HELP としての使い方

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、ヘルプコマンドとしてコマンドの一覧を送り返します。

## 3.2 コマンド一覧

### ■ エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	17

### ■ 本機の電源状態

コマンド	機能	詳細ページ
@GDS / @SDS	本機の電源状態	18

### ■ 入出力チャンネル選択

コマンド	機能	詳細ページ
@GSW / @SSW	映像・音声チャンネル同時切換	19
@GSV / @SSV	映像チャンネル切換	20
@GSA / @SSA	音声チャンネル切換	20
@GPI / @SPI	画面合成レイアウトパターン	21

### ■ 出力画角設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GOT / @SOT	出力解像度	22
@GTD	現在の出力解像度	23
@GUM / @SUM	シンク機器のアスペクト比	24
@GOP / @SOP	表示位置	25
@GOS / @SOS	表示サイズ	26
@GOM / @SOM	クロップ	27
@GBC / @SBC	背景色	28
@GTP / @STP	テストパターン	29
@OAS	出力画角設定初期化	30

### ■ 出力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GVO / @SVO	出力信号設定	30
@GBO / @SBO	映像信号無入力時の出力映像	31
@GEN / @SEN	HDCP 出力モード	32
@GHR / @SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数	33
@HAU	コネクションリセット	33
@GEQ / @SEQ	出カイクライザ	34
@GDM / @SDM	出力フォーマット	34
@GOA / @SOA	HDBaseT 出力ロングリーチモード	35
@GDC / @SDC	Deep Color 出力	35
@GFF / @SFF	映像切換効果	36
@GFT / @SFT	映像切換効果時間	37
@GWC / @SWC	ワイプカラー	37
@GCE / @SCE	CEC 接続	38

### ■ 入力画角設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GAP / @SAP	アスペクト比	39
@GAR / @SAR	アスペクト比の復元処理	39
@GOV / @SOV	オーバースキャン	40
@GNP / @SNP	表示位置	41
@GNS / @SNS	表示サイズ	42
@GNM / @SNM	クロップ	43
@IAS	入力画角設定初期化	43

### ■ 入力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GIE / @SIE	入力コネクタの選択	44
@GIN / @SIN	DVI 入力コネクタの信号選択	44
@GDT / @SDT	映像信号の無入力監視	45
@GHE / @SHE	HDCP 入力の許可 / 禁止	45
@GIQ / @SIQ	入力イコライザ	46
@GIA / @SIA	HDBaseT 入力ロングリーチモード	46
@GHP / @SHP	HDBaseT 入力の給電	47
@GAI / @SAI	アナログ入力の信号種別	47
@GID / @SID	入力映像信号 OFF の自動検出	48
@GFX / @SFX	入力信号ごと設定の固定	49

### ■ 入力タイミング設定

コマンド	機能	詳細ページ
@AIS / @AIT	自動計測	50
@GHT / @SHT	水平総ピクセル数	51
@GHS / @SHS	水平取り込み開始位置	52
@GHD / @SHD	水平取り込み期間	52
@GVS / @SVS	垂直取り込み開始位置	53
@GVD / @SVD	垂直取り込み期間	53
@GIS / @SIS	取り込み開始位置の自動計測	54
@GSM / @SSM	未登録信号入力時の自動計測	54
@RTT	デジタル入力タイミングの初期化・アナログ入力タイミングの読み出し	55
@STT	アナログ入力タイミングの保存	56
@GTK / @STK	トラッキング	57

### ■ 入力チャンネル自動切換設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GAU / @SAU	自動切換優先度 OFF→ON	58
@GOF / @SOF	自動切換優先度 ON→OFF	59
@GMT / @SMT	自動切換後の検出無効時間	60
@GAD / @SAD	自動切換時のスイッチングモード	60

### ■ 画質調整

コマンド	機能	詳細ページ
@GOB / @SOB	出力ブライトネス	61
@GOC / @SOC	出力コントラスト	62
@GGM / @SGM	出力ガンマ	63
@ODC	出力画質調整初期化	63
@GFL / @SFL	入力シャープネス	64
@GIB / @SIB	入力ブライトネス	64
@GIC / @SIC	入力コントラスト	65
@GHU / @SHU	入力色相	65
@GST / @SST	入力彩度	66
@GSU / @SSU	入力黒レベル	66
@IDC	入力画質調整初期化	67

### ■ 出力音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GUC / @SUC	出力音声選択	68
@GAV / @SAV	出力音声レベル	69
@SOL	出力音声レベル 相対値	70
@GOL	出力音声レベル リミット状態	70
@GTR / @STR	トーンコントロール	71
@GAM / @SAM	音声ミュート	71
@GLO / @SLO	出力リップシンク	72
@GSF / @SSF	サンプリング周波数	72
@GFD	実際のサンプリング周波数	73
@GMI / @SMI	出力のミキシング	73
@GMD / @SMD	マルチチャンネル音声の出力	74
@GCH / @SCH	マルチチャンネル音声出力優先度	74
@GPO / @SPO	スピーカー2 出力選択	75
@GAT / @SAT	テストトーン	75

### ■ 入力音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GAS / @SAS	入力音声選択	76
@GIO / @SIO	入力音声レベルオフセット (音声入力コネクタごと)	77
@GSO / @SSO	入力音声レベルオフセット (音声入力チャンネルごと)	77
@SDZ	入力音声レベル 相対値	78
@GDZ	入力音声レベル リミット状態	78
@GLR / @SLR	ライン入力音声基準レベル	79
@GMR / @SMR	マイク入力音声基準レベル	79
@GVL / @SVL	音量調整	80
@GCS / @SCS	コンプレッサー	81
@GAQ / @SAQ	イコライザ	82
@GHW / @SHW	フィードバックサプレッサ (抑制レベルの設定)	83
@GHO	フィードバックサプレッサ (抑制中の周波数の取得)	84
@GLY / @SLY	入力リップシンク	85
@GAW / @SAW	音声入力時の安定待ち	85

### ■ EDID 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GED / @SED	EDID 選択	86
@GVF / @SVF	入力解像度	87
@RME	EDID のコピー	88
@GHL / @SHL	HDMI / DVI 選択	88
@GHZ / @SHZ	フレームレート	89
@GDI / @SDI	Deep Color 入力	89
@GAF / @SAF	音声フォーマット	90
@GSP / @SSP	スピーカー構成	91

### ■ RS-232C 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GCT / @SCT	RS-232C 通信の設定	93
@GCF / @SCF	RS-232C 通信の動作モード	94

### ■ LAN 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GIP / @SIP	IP アドレス	95
@GSB / @SSB	サブネットマスク	95
@GGW / @SGW	ゲートウェイアドレス	96
@GMC	MAC アドレス表示	96
@GLP / @SLP	TCP ポート番号	97
@GLF / @SLF	LAN 通信の動作モード	98

### ■ 制御コマンド設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GEC / @SEC	制御コマンドの作成・編集 (通信コマンド制御)	99
@GEC / @SEC	制御コマンドの作成・編集 (受信データの表示)	101
@GEC / @SEC	制御コマンドの作成・編集 (コンタクトクロージャ制御)	103
@GEC / @SEC	制御コマンドの作成・編集 (CEC 制御)	104
@GRC / @SRC	返信コマンドの作成・編集	105
@GCC / @SCC	制御コマンドの関連付け	106
@GTG / @STG	制御コマンド関連付けのトグル動作	107
@GUP / @SUP	制御コマンド電源オン時実行面	107
@EXC	制御コマンドの実行	108
@GSK / @SSK	DISPLAY POWER ボタン	108
@DEC	登録したコマンドまたは関連付けの消去	109
@GIT / @SIT	制御コマンド実行時の操作無効時間	109
@GTL / @STL	COMMAND ボタンの点灯条件	110
@GTF / @STF	制御コマンド実行時のボタン点滅時間	111

### ■ プリセットメモリ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@RCM	クロスポイントの読み出し	112
@RCV	クロスポイントの読み出し (映像入力チャンネル設定)	112
@RCA	クロスポイントの読み出し (音声入力チャンネル設定)	112
@SCM / @SEM	クロスポイントの保存	113
@SCV / @SEV	クロスポイントの保存 (映像入力チャンネル設定)	114
@SCA / @SEA	クロスポイントの保存 (音声入力チャンネル設定)	115
@GCM / @ECM	クロスポイントの編集	116
@GCV / @ECV	クロスポイントの編集 (映像入力チャンネル設定)	117
@GCA / @ECA	クロスポイントの編集 (音声入力チャンネル設定)	118
@RPM	全設定の読み出し	118
@SPM	全設定の保存	119
@GMU / @SMU	電源オン時の設定	119

### ■ ビットマップ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GBM / @SBM	ビットマップの出力	120
@GBB / @SBB	背景色	121
@GBT / @SBT	アスペクト比	122
@GZP / @SZP	表示位置	123
@GBA / @SBA	入力チャンネル割り当て	124
@GPB / @SPB	電源オン時のビットマップ出力	125
@GBD / @SBD	メモリエリアの分割	126
@GBV	メモリエリアの使用状態	126
@GFZ / @SFZ	フリーズ	127
@CAP	出力映像のキャプチャ	127

## ■ システム設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GLS / @SLS	ボタンロック	128
@GLM / @SLM	ボタンロック対象の設定	128
@GBZ / @SBZ	ブザー音	129

## ■ ステータス表示

コマンド	機能	詳細ページ
@GSS	入力信号・シンク機器状態	130
@GES	シンク機器の EDID 情報	134
@GHC	システムチェック状態	135
@GIV	バージョン情報	135

### 3.3 コマンド詳細

コマンドの詳細について説明します。

説明文中で表示される“MAIN”と“PinP”は、シンク機器に表示されるメインウィンドウとサブウィンドウのことです。

省略可能な記述はカッコ“( )”で記載しています。

#### 3.3.1 エラーステータス

@ERR		エラーステータス
説明		コマンドが実行されないときの返信です。
返信		@ERR, error 
パラメータ		error : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンドまたはコマンドの書式に誤りがあります。 3 = 現在使用できないコマンドです。 4 = なし。 5 = 制御コマンドが登録されていないため、実行できません。 6 = 制御コマンドを実行中のため、コマンドを処理することができません。 7 = 入力タイミングの自動計測に失敗しました。 8 = シンク機器からの EDID の読み出しに失敗しました。 9 = なし。 10 = 制御コマンドが停止条件により停止しました。 11 = 制御コマンドがリトライオーバーにより停止しました。 12 = PJLink の制御コマンドがパスワードの不一致により停止しました。 13 = キャプチャする入力映像のサイズが確保されているメモリのサイズより大きいため、キャプチャすることができません。 14 = 入力映像のキャプチャに失敗しました。
取得例	送信	@IOS 
	返信	@ERR,2 
	説明	@IOS コマンド送信。 コマンド書式エラー。
備考		—

### 3.3.2 本機の電源状態

@GDS / @SDS		本機の電源状態
取得	送信	@GDS 
	返信	@GDS, onoff 
設定	送信	@SDS, onoff 
	返信	@SDS, onoff 
パラメータ		onoff : スタンバイボタン 0 = OFF (スタンバイ), 1 = ON (電源オン)
取得例	送信	@GDS 
	返信	@GDS,1 
	説明	本機の電源状態を取得。 ON (電源オン) 状態。
設定例	送信	@SDS,1 
	返信	@SDS,1 
	説明	本機を ON (電源オン) 状態に設定。 正常終了。
備考		電源制御が“FRONT”に設定されている場合のみ有効です。 【参照：ユーザーズガイド】

### 3.3.3 入出力チャンネル選択

@GSW / @SSW		映像・音声チャンネル同時切換
取得	送信	@GSW <input type="checkbox"/>
	返信	@GSW, main_video, main_audio, pinp_video, pinp_audio <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSW, input, output (, input, output) <input type="checkbox"/>
	返信	@SSW, input, output (, input, output) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>main_video : 映像入力チャンネル メインウインドウ  main_audio : 音声入力チャンネル メインウインドウ  pinp_video : 映像入力チャンネル サブウインドウ  pinp_audio : 音声入力チャンネル サブウインドウ  input : 映像・音声入力チャンネル  0 (OFF) ※初期値, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p> <p>output : 映像・音声出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GSW <input type="checkbox"/>
	返信	@GSW,2,2,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>入力チャンネルの状態を取得。  メインウインドウの入力チャンネルは映像・音声ともに IN2。  サブウインドウの入力チャンネルは IN1。</p>
設定例	送信	@SSW,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSW,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>全出力の入力チャンネルを IN1 に設定。  正常終了。</p>
備考		サブウインドウの音声入力チャンネルは未使用のため、必ず“0”に設定されます。

@GSV / @SSV		映像チャンネル切換
取得	送信	@GSV <input type="checkbox"/>
	返信	@GSV, main_video, pinp_video <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSV, input, output (, input, output) <input type="checkbox"/>
	返信	@SSV, input, output (, input, output) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>main_video : 映像入力チャンネル メインウインドウ  pinp_video : 映像入力チャンネル サブウインドウ  input : 映像入力チャンネル  0 = OFF ※初期値, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p> <p>output : 映像出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GSV <input type="checkbox"/>
	返信	@GSV,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	映像入力チャンネルの状態を取得。 メインウインドウの入力チャンネルは IN1。 サブウインドウの入力チャンネルは OFF。
設定例	送信	@SSV,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSV,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウとサブウインドウの映像入力チャンネルを IN1 に設定。 正常終了。
備考		—

@GSA / @SSA		音声チャンネル切換
取得	送信	@GSA <input type="checkbox"/>
	返信	@GSA, input <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSA, input, output <input type="checkbox"/>
	返信	@SSA, input, output <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>input : 音声入力チャンネル  0 = OFF ※初期値, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p> <p>output : 音声出力チャンネル  “1” 固定です。</p>
取得例	送信	@GSA <input type="checkbox"/>
	返信	@GSA,1 <input type="checkbox"/>
	説明	音声入力チャンネルの状態を取得。 音声入力チャンネルは IN1。
設定例	送信	@SSA,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSA,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	音声入力チャンネルを IN1 に設定。 正常終了。
備考		—

@GPI / @SPI		画面合成レイアウトパターン
取得	送信	@GPI ↵
	返信	@GPI, pinp ↵
設定	送信	@SPI, output, pinp ↵
	返信	@SPI, output, pinp ↵
パラメータ		<p>pinp : 画面合成レイアウトパターン            0 = OFF ※初期値,      1 = PinP PATTERN1,      2 = PinP PATTERN2,            3 = PinP PATTERN3,      4 = PinP PATTERN4,      5 = PinP PATTERN5</p> <p>output : 出力チャンネル            “1” 固定です。</p>
取得例	送信	@GPI ↵
	返信	@GPI,2 ↵
	説明	画面合成レイアウトパターンを取得。 PinP PATTERN2 を表示。
設定例	送信	@SPI,1,0 ↵
	返信	@SPI,1,0 ↵
	説明	画面合成レイアウトパターンを OFF にする。 正常終了。
備考		—

## 3.3.4 出力画角設定

@GOT / @SOT		出力解像度
取得	送信	@GOT <input type="checkbox"/>
	返信	@GOT, resolution <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SOT, ch, resolution <input type="checkbox"/>
	返信	@SOT, ch, resolution <input type="checkbox"/>
パラメータ		resolution : 出力解像度 1 = VGA (640x480), 2 = WXGA (1280x768), 3 = XGA (1024x768), 4 = WXGA (1280x768), 5 = WXGA (1280x800), 6 = QuadVGA (1280x960), 7 = SXGA (1280x1024), 8 = WXGA (1360x768), 9 = WXGA (1366x768), 10 = SXGA+ (1400x1050), 11 = WXGA+ (1440x900), 12 = WXGA++ (1600x900), 13 = UXGA (1600x1200), 14 = WSXGA+ (1680x1050), 15 = VESAHD (1920x1080), 16 = WUXGA (1920x1200), 17 = QWXGA (2048x1152), 19 = 480p 59.94Hz, 21 = 576p 50Hz, 22 = 720p 50Hz, 23 = 720p 59.94Hz, 24 = 720p 60Hz, 25 = 1080i 50Hz, 26 = 1080i 59.94Hz, 27 = 1080i 60Hz, 28 = 1080p 50Hz, 29 = 1080p 59.94Hz, 30 = 1080p 60Hz, 201 = AUTO-B, 202 = AUTO-C
		ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GOT <input type="checkbox"/>
	返信	@GOT,7 <input type="checkbox"/>
	説明	出力解像度を取得。 SXGA。
設定例	送信	@SOT,1,11 <input type="checkbox"/>
	返信	@SOT,1,11 <input type="checkbox"/>
	説明	出力解像度を WXGA+ に設定。 正常終了。
備考		AUTO の場合、出力している解像度は現在の出力解像度で確認することができます。 【参照 : @GTD 現在の出力解像度 (P.23)】

@GTD		現在の出力解像度
取得	送信	@GTD <input type="checkbox"/>
	返信	@GTD, resolution <input type="checkbox"/>
パラメータ		resolution : 現在の出力解像度 1 = VGA (640x480), 2 = WXGA (1280x768), 3 = XGA (1024x768), 4 = WXGA (1280x768), 5 = WXGA (1280x800), 6 = QuadVGA (1280x960), 7 = SXGA (1280x1024), 8 = WXGA (1360x768), 9 = WXGA (1366x768), 10 = SXGA+ (1400x1050), 11 = WXGA+ (1440x900), 12 = WXGA++ (1600x900), 13 = UXGA (1600x1200), 14 = WSXGA+ (1680x1050), 15 = VESAHD (1920x1080), 16 = WUXGA (1920x1200), 17 = QWXGA (2048x1152), 18 = 480p 59.94Hz, 19 = 480p 59.94Hz, 20 = 720p 50Hz, 21 = 576p 50Hz, 22 = 720p 50Hz, 23 = 720p 59.94Hz, 24 = 720p 60Hz, 25 = 1080i 50Hz, 26 = 1080i 59.94Hz, 27 = 1080i 60Hz, 28 = 1080p 50Hz, 29 = 1080p 59.94Hz ※初期値, 30 = 1080p 60Hz
取得例	送信	@GTD <input type="checkbox"/>
	返信	@GTD,29 <input type="checkbox"/>
	説明	現在の出力解像度を取得。 1080p 59.94Hz で出力している。
備考		現在出力している解像度を返信します。 【参照 : @GOT / @SOT 出力解像度 (P.22)】

@GUM / @SUM		シンク機器のアスペクト比
取得	送信	@GUM [↵]
	返信	@GUM, main_aspect, pinp_aspect [↵]
設定	送信	@SUM, ch, aspect (, ch, aspect) [↵]
	返信	@SUM, ch, aspect (, ch, aspect) [↵]
パラメータ		<p>main_aspect : シンク機器のアスペクト比 メインウインドウ  pinp_aspect : シンク機器のアスペクト比 サブウインドウ  aspect : シンク機器のアスペクト比  0 = RESOLUTION ※初期値,      1 = 4:3,      2 = 5:4,  3 = 5:3,      4 = 16:9,      5 = 16:10</p> <p>ch : 出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GUM [↵]
	返信	@GUM,4,1 [↵]
	説明	接続されているシンク機器のアスペクト比を取得。 メインウインドウは 16:9、サブウインドウは 4:3。
設定例	送信	@SUM,1,4 [↵]
	返信	@SUM,1,4 [↵]
	説明	メインウインドウに 16:9 のシンク機器を接続。 正常終了。
備考		—

@GOP / @SOP		表示位置
取得	送信	@GOP [↵]
	返信	@GOP, main_h_position, main_v_position, pinp_h_position, pinp_v_position [↵]
設定	送信	@SOP, ch, h_position, v_position (, ch, h_position, v_position) [↵]
	返信	@SOP, ch, h_position, v_position (, ch, h_position, v_position) [↵]
パラメータ		main_h_position : 水平表示位置 [ピクセル] メインウインドウ pinp_h_position : 水平表示位置 [ピクセル] サブウインドウ h_position : 水平表示位置 [ピクセル] - 水平出力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 [1 ピクセル単位] ※初期値 下表参照
		main_v_position : 垂直表示位置 [ライン] メインウインドウ pinp_v_position : 垂直表示位置 [ライン] サブウインドウ v_position : 垂直表示位置 [ライン] - 垂直出力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 [1 ライン単位] ※初期値 下表参照
		ch : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ
取得例	送信	@GOP [↵]
	返信	@GOP,0,0,1440,0 [↵]
	説明	出力表示位置を取得。 メインウインドウの水平・垂直表示位置はともに0。 サブウインドウの水平表示位置は+1440、垂直表示位置は0。
設定例	送信	@SOP,1,5,20 [↵]
	返信	@SOP,1,5,20 [↵]
	説明	メインウインドウの水平表示位置を+5、垂直表示位置を+20に設定。 正常終了。
備考		現在表示されている PinP PATTERN ごとに設定します。 OFF の場合、サブウインドウの設定はできません。取得値は0を返信します。 【参照：@GPI / @SPI 画面合成レイアウトパターン (P. 21)】

[表 3.1] 表示位置の初期値 (解像度が 1080p のとき)

設定	画面合成 レイアウト	初期値	
		水平	垂直
MAIN	—	0	0
	P1	0	0
	P2	0	0
	P3	0	0
	P4	0	0
	P5	0	270

設定	画面合成 レイアウト	初期値	
		水平	垂直
PinP	—	— (なし)	
	P1	80	45
	P2	1360	45
	P3	80	765
	P4	1360	765
	P5	960	270

@GOS / @SOS		表示サイズ
取得	送信	@GOS [↵]
	返信	@GOS, main_h_size, main_v_size, pinp_h_size, pinp_v_size [↵]
設定	送信	@SOS, ch, h_size, v_size (, ch, h_size, v_size) [↵]
	返信	@SOS, ch, h_size, v_size (, ch, h_size, v_size) [↵]
パラメータ		main_h_size : 水平表示サイズ [ピクセル] メインウインドウ pinp_h_size : 水平表示サイズ [ピクセル] サブウインドウ h_size : 水平表示サイズ [ピクセル] 水平出力解像度÷4 ~ 水平出力解像度×4 [1 ピクセル単位] ※初期値 下表参照
		main_v_size : 垂直表示サイズ [ライン] メインウインドウ pinp_v_size : 垂直表示サイズ [ライン] サブウインドウ v_size : 垂直表示サイズ [ライン] 垂直出力解像度÷4 ~ 垂直出力解像度×4 [1 ライン単位] ※初期値 下表参照
		ch : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ
取得例	送信	@GOS [↵]
	返信	@GOS,1920,1080,480,270 [↵]
	説明	出力表示サイズを取得。 メインウインドウの水平出力表示サイズは 1920、垂直出力表示サイズは 1080。 サブウインドウの水平表示サイズは 480、垂直表示サイズは 270。
設定例	送信	@SOS,2,1920,1080 [↵]
	返信	@SOS,2,1920,1080 [↵]
	説明	サブウインドウの水平出力表示サイズを 1920、垂直出力表示サイズを 1080 に設定。 正常終了。
備考		現在表示されている PinP PATTERN ごとに設定します。 OFF の場合、サブウインドウの設定はできません。取得値は 0 を返信します。 【参照 : @GPI / @SPI 画面合成レイアウトパターン (P. 21)】

[表 3.2] 表示サイズの初期値 (解像度が 1080p のとき)

設定	画面合成 レイアウト	初期値	
		水平	垂直
MAIN	—	1920	1080
	P1	1920	1080
	P2	1920	1080
	P3	1920	1080
	P4	1920	1080
	P5	960	540

設定	画面合成 レイアウト	初期値	
		水平	垂直
PinP	—	— (なし)	
	P1	480	270
	P2	480	270
	P3	480	270
	P4	480	270
	P5	960	540

@GOM / @SOM		クロープ
取得	送信	@GOM, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GOM, ch, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SOM, ch, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>
	返信	@SOM, ch, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ</p> <p>left : 左側クロープ 水平出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 右側クロープ [1 ピクセル単位] ※初期値 下表参照</p> <p>right : 右側クロープ 左側クロープ ~ 水平出力表示位置 + 水平出力表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) [1 ピクセル単位] ※初期値 下表参照</p> <p>top : 上側クロープ 垂直出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 下側クロープ [1 ライン単位] ※初期値 下表参照</p> <p>bottom : 下側クロープ 上側クロープ ~ 垂直出力表示位置 + 垂直出力表示サイズ (ただし垂直出力解像度以下) [1 ライン単位] ※初期値 下表参照</p>
取得例	送信	@GOM,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GOM,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウの出力クロープを取得。 左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
設定例	送信	@SOM,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/>
	返信	@SOM,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウの出力クロープを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定。 正常終了。
備考		<p>現在表示されている PinP PATTERN ごとに設定します。</p> <p>OFF の場合、サブウインドウの設定はできません。取得値は 0 を返信します。</p> <p>【参照 : @GPI / @SPI 画面合成レイアウトパターン (P. 21)】</p>

[表 3.3] クロープの初期値 (解像度が 1080p のとき)

設定	画面合成 レイアウト	初期値			
		左	右	上	下
MAIN	—	0	1920	0	1080
	P1	0	1920	0	1080
	P2	0	1920	0	1080
	P3	0	1920	0	1080
	P4	0	1920	0	1080
	P5	0	960	270	810

設定	画面合成 レイアウト	初期値			
		左	右	上	下
PinP	—	— (なし)			
	P1	80	560	45	315
	P2	1360	1840	45	315
	P3	80	560	765	1035
	P4	1360	1840	765	1035
	P5	960	1920	270	810

@GBC / @SBC		背景色
取得	送信	@GBC, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GBC, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SBC, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>
	返信	@SBC, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル “1” 固定です。</p> <p>red : 背景色 (赤) green : 背景色 (緑) blue : 背景色 (青) 0 ~ 255 ※初期値 0 (黒)</p>
取得例	送信	@GBC,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GBC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>
	説明	出力映像の背景色を取得。 RGB とともに 128 (灰色)。
設定例	送信	@SBC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>
	返信	@SBC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>
	説明	出力映像の背景色を RGB とともに 128 (灰色) に設定。 正常終了。
備考		—

@GTP / @STP		テストパターン																		
取得	送信	@GTP <input type="checkbox"/>																		
	返信	@GTP, pattern, scroll <input type="checkbox"/>																		
設定	送信	@STP, ch, pattern, scroll <input type="checkbox"/>																		
	返信	@STP, ch, pattern, scroll <input type="checkbox"/>																		
パラメータ		<p>pattern : テストパターン</p> <table border="0"> <tr> <td>0 = OFF ※初期値,</td> <td>1 = V-COLOR BAR,</td> </tr> <tr> <td>2 = H-COLOR BAR,</td> <td>3 = V-GRAY SCALE,</td> </tr> <tr> <td>4 = H-GRAY SCALE,</td> <td>5 = VERTICAL RAMP,</td> </tr> <tr> <td>6 = HORIZONTAL RAMP,</td> <td>7 = 100% WHITE RASTER,</td> </tr> <tr> <td>8 = 50% WHITE RASTER,</td> <td>9 = RED RASTER,</td> </tr> <tr> <td>10 = GREEN RASTER,</td> <td>11 = BLUE RASTER,</td> </tr> <tr> <td>12 = CROSS HATCH,</td> <td>13 = OUTPUT FRAME,</td> </tr> <tr> <td>14 = VERTICAL STRIPE,</td> <td>15 = HORIZONTAL STRIPE,</td> </tr> <tr> <td>16 = VERTICAL ZEBRA,</td> <td>17 = HORIZONTAL ZEBRA,</td> </tr> </table> <p>テストパターン番号 1 ~ 6、16、17 はスクロールができます。</p> <p>scroll : スクロール</p> <p>0 = OFF ※ 初期値, 1 = 3 ピクセル / フレーム ~ 10 = 30 ピクセル / フレーム</p> <p>1 フレームごとにスクロールするピクセル数は、「設定値×3」の値です。</p> <p>ch : 出力チャンネル</p> <p>“1” 固定です。</p>	0 = OFF ※初期値,	1 = V-COLOR BAR,	2 = H-COLOR BAR,	3 = V-GRAY SCALE,	4 = H-GRAY SCALE,	5 = VERTICAL RAMP,	6 = HORIZONTAL RAMP,	7 = 100% WHITE RASTER,	8 = 50% WHITE RASTER,	9 = RED RASTER,	10 = GREEN RASTER,	11 = BLUE RASTER,	12 = CROSS HATCH,	13 = OUTPUT FRAME,	14 = VERTICAL STRIPE,	15 = HORIZONTAL STRIPE,	16 = VERTICAL ZEBRA,	17 = HORIZONTAL ZEBRA,
0 = OFF ※初期値,	1 = V-COLOR BAR,																			
2 = H-COLOR BAR,	3 = V-GRAY SCALE,																			
4 = H-GRAY SCALE,	5 = VERTICAL RAMP,																			
6 = HORIZONTAL RAMP,	7 = 100% WHITE RASTER,																			
8 = 50% WHITE RASTER,	9 = RED RASTER,																			
10 = GREEN RASTER,	11 = BLUE RASTER,																			
12 = CROSS HATCH,	13 = OUTPUT FRAME,																			
14 = VERTICAL STRIPE,	15 = HORIZONTAL STRIPE,																			
16 = VERTICAL ZEBRA,	17 = HORIZONTAL ZEBRA,																			
取得例	送信	@GTP <input type="checkbox"/>																		
	返信	@GTP,3,1 <input type="checkbox"/>																		
	説明	テストパターンの出力設定を取得。 V-GRAY SCALE を 3 ピクセル / フレームでスクロールする。																		
設定例	送信	@STP,1,1,0 <input type="checkbox"/>																		
	返信	@STP,1,1,0 <input type="checkbox"/>																		
	説明	V-COLOR BAR を表示し、スクロールしない。 正常終了。																		
備考		—																		

@OAS		出力画角設定初期化
設定	送信	@OAS, ch [↵]
	返信	@OAS, ch [↵]
パラメータ		ch : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウィンドウ, 2 = サブウィンドウ
設定例	送信	@OAS,0 [↵]
	返信	@OAS,0 [↵]
	説明	全出力チャンネルの次の項目を初期化。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ @GOP / @SOP 表示位置 (P.25)</li> <li>・ @GOS / @SOS 表示サイズ (P.26)</li> <li>・ @GOM / @SOM クロップ (P.27)</li> </ul> 正常終了。
備考		現在表示されている PinP PATTERN の設定が初期化されます。 【参照 : @GPI / @SPI 画面合成レイアウトパターン (P. 21)】

### 3.3.5 出力設定

@GVO / @SVO		出力信号設定
取得	送信	@GVO [↵]
	返信	@GVO, out_A, out_B, out_C [↵]
設定	送信	@SVO, ch, out (, ch, out, ch, out) [↵]
	返信	@SVO, ch, out (, ch, out, ch, out) [↵]
パラメータ		out_A : 映像出力 HDMI OUT A out_B : 映像出力 HDMI OUT B out_C : 映像出力 HDBT OUT C out : 映像出力 0 = 黒画面を出力する, 1 = 入力信号の映像を出力する, ※初期値 2 = 同期信号の停止と電氣的切断  ch : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C
取得例	送信	@GVO [↵]
	返信	@GVO,0,1,1 [↵]
	説明	出力信号設定を取得。 HDMI OUT A は黒画面を出力する、その他の映像出力コネクタは入力信号の映像を出力する。
設定例	送信	@SVO,1,1 [↵]
	返信	@SVO,1,1 [↵]
	説明	HDMI OUT A は入力信号の映像を出力する。 正常終了。
備考		同期信号の出力を停止すると、シンク機器はスタンバイ状態になる場合があります。

@GBO / @SBO		映像信号無入力時の出力映像
取得	送信	@GBO [↵]
	返信	@GBO, main_video, pinp_video [↵]
設定	送信	@SBO, ch, video (, ch, video) [↵]
	返信	@SBO, ch, video (, ch, video) [↵]
パラメータ		<p>main_video : 映像信号無入力時の出力映像 メインウインドウ  pinp_video : 映像信号無入力時の出力映像 サブウインドウ  video : 映像信号無入力時の出力映像  0 = ブラック画面, 1 = ブルー画面 ※初期値, 2 = 背景色画面  3 = 同期信号の停止と電氣的切断  サブウインドウには“2”と“3”を設定できません。</p> <p>ch : 出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GBO [↵]
	返信	@GBO,1,0 [↵]
	説明	映像信号無入力時の出力映像を取得。 メインウインドウはブルー画面を出力する。 サブウインドウはブラック画面を出力する。
設定例	送信	@SBO,0,1 [↵]
	返信	@SBO,0,1 [↵]
	説明	メインウインドウとサブウインドウは映像信号が入力されていない場合にブルー画面を出力する。 正常終了。
備考		同期信号の出力を停止すると、シンク機器はスタンバイ状態になる場合があります。

@GEN / @SEN		HDCP 出力モード
取得	送信	@GEN <input type="checkbox"/>
	返信	@GEN, hdcp_A, hdcp_B, hdcp_C <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SEN, ch, hdcp (, ch, hdcp, ch, hdcp) <input type="checkbox"/>
	返信	@SEN, ch, hdcp (, ch, hdcp, ch, hdcp) <input type="checkbox"/>
パラメータ		hdcp_A : HDCP 出力 HDMI OUT A hdcp_B : HDCP 出力 HDMI OUT B hdcp_C : HDCP 出力 HDBT OUT C hdcp : HDCP 出力 0 = 入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力する, 1 = 常時 HDCP 出力する ※初期値, 2 = HDCP の認証をしない  ch : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C
取得例	送信	@GEN <input type="checkbox"/>
	返信	@GEN,0,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	HDCP 出力を取得。 HDMI OUT A は入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力、その他の出力は常時 HDCP を出力する。
設定例	送信	@SEN,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SEN,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI OUT A は常時 HDCP を出力する。 正常終了。
備考		—

@GHR / @SHR		HDCP 認証エラー時のリトライ回数
取得	送信	@GHR <input type="checkbox"/>
	返信	@GHR, retry_A, retry_B, retry_C <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHR, ch, retry (, ch, retry, ch, retry) <input type="checkbox"/>
	返信	@SHR, ch, retry (, ch, retry, ch, retry) <input type="checkbox"/>
パラメータ		retry_A : リトライ回数 HDMI OUT A retry_B : リトライ回数 HDMI OUT B retry_C : リトライ回数 HDBT OUT C retry : リトライ回数 -1 = 成功するまでリトライする ※初期値, 0 = リトライしない, 1 ~ 100 = 任意の回数リトライをする  ch : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C
取得例	送信	@GHR <input type="checkbox"/>
	返信	@GHR,10,-1,-1 <input type="checkbox"/>
	説明	HDCP 認証エラー時のリトライ回数を取得。 HDMI OUT A は 10 回、その他の出力は成功するまでリトライする。
設定例	送信	@SHR,3,10 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHR,3,10 <input type="checkbox"/>
	説明	HDBT OUT C は 10 回までリトライする。 正常終了。
備考		—

@HAU		コネクションリセット
設定	送信	@HAU, ch (, ch, ch) <input type="checkbox"/>
	返信	@HAU, ch (, ch, ch) <input type="checkbox"/>
パラメータ		ch : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C
設定例	送信	@HAU,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@HAU,1 <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI OUT A に接続されたシンク機器の HDCP の再認証を実行。 正常終了。
備考		—

<b>@GEQ / @SEQ</b>		<b>出力コライザ</b>
取得	送信	@GEQ <input type="checkbox"/>
	返信	@GEQ, level_A, level_B <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SEQ, ch, level (, ch, level) <input type="checkbox"/>
	返信	@SEQ, ch, level (, ch, level) <input type="checkbox"/>
パラメータ		level_A : 出力コライザ HDMI OUT A level_B : 出力コライザ HDMI OUT B level : 出力コライザ 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH ch : 出力コネクタ 0 = 全 HDMI 出力, 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B
取得例	送信	@GEQ <input type="checkbox"/>
	返信	@GEQ,0,1 <input type="checkbox"/>
	説明	出力コライザを取得。 HDMI OUT A は OFF、HDMI OUT B は LOW。
設定例	送信	@SEQ,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SEQ,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI OUT A の出力コライザを OFF に設定。 正常終了。
備考		HDMI 出力コネクタ専用のコマンドです。

<b>@GDM / @SDM</b>		<b>出力フォーマット</b>
取得	送信	@GDM <input type="checkbox"/>
	返信	@GDM, mode_A, mode_B, mode_C <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SDM, ch, mode (, ch, mode, ch, mode) <input type="checkbox"/>
	返信	@SDM, ch, mode (, ch, mode, ch, mode) <input type="checkbox"/>
パラメータ		mode_A : 出力フォーマット HDMI OUT A mode_B : 出力フォーマット HDMI OUT B mode_C : 出力フォーマット HDBT OUT C mode : 出力フォーマット 0 = DVI MODE, 1 = HDMI RGB MODE, 2 = HDMI YCbCr 4:2:2 MODE, 3 = HDMI YCbCr 4:4:4 MODE ※初期値 ch : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C
取得例	送信	@GDM <input type="checkbox"/>
	返信	@GDM,3,0,3 <input type="checkbox"/>
	説明	出力フォーマットを取得。 HDMI OUT B は DVI MODE、その他の出力は HDMI YCbCr 4:4:4 MODE。
設定例	送信	@SDM,1,3 <input type="checkbox"/>
	返信	@SDM,1,3 <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI OUT A の出力フォーマットを HDMI YCbCr 4:4:4 MODE に設定。 正常終了。
備考		—

@GOA / @SOA		HDBaseT 出力ロングリーチモード
取得	送信	@GOA, ch [↵]
	返信	@GOA, ch, mode [↵]
設定	送信	@SOA, ch, mode [↵]
	返信	@SOA, ch, mode [↵]
パラメータ		ch : 出力チャンネル “1” 固定です。 mode : ロングリーチモード 0 = OFF ※初期値, 1 = ON
取得例	送信	@GOA,1 [↵]
	返信	@GOA,1,0 [↵]
	説明	HDBT OUT C のロングリーチモード設定値を取得。 ロングリーチモードは OFF。
設定例	送信	@SOA,1,1 [↵]
	返信	@SOA,1,1 [↵]
	説明	HDBT OUT C のロングリーチモードを ON に設定。 正常終了。
備考		HDBaseT 出力コネクタ専用のコマンドです。 1080p (24 bit) 以下の解像度またはドットクロック 148 MHz 以下の映像が対象です。 【参照 : @GOT / @SOT 出力解像度 (P.22)】 【参照 : @GDC / @SDC Deep Color 出力 (P.35)】

@GDC / @SDC		Deep Color 出力
取得	送信	@GDC [↵]
	返信	@GDC, color_A, color_B, color_C [↵]
設定	送信	@SDC, ch, color (, ch, color, ch, color) [↵]
	返信	@SDC, ch, color (, ch, color, ch, color) [↵]
パラメータ		color_A : 色深度 HDMI OUT A color_B : 色深度 HDMI OUT B color_C : 色深度 HDBT OUT C color : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR ch : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C
取得例	送信	@GDC [↵]
	返信	@GDC,0,1,1 [↵]
	説明	色深度を取得。 HDMI OUT A は 24-BIT COLOR、その他の出力は 30-BIT COLOR。
設定例	送信	@SDC,1,0 [↵]
	返信	@SDC,1,0 [↵]
	説明	HDMI OUT A を 24-BIT COLOR に設定。 正常終了。
備考		—

@GFF / @SFF		映像切換効果
取得	送信	@GFF [↵]
	返信	@GFF, main_switching, pinp_switching [↵]
設定	送信	@SFF, ch, switching (, ch, switching) [↵]
	返信	@SFF, ch, switching (, ch, switching) [↵]
パラメータ		<p>main_switching : 映像切換効果 メインウインドウ  pinp_switching : 映像切換効果 サブウインドウ  switching : 映像切換効果</p> <p>0 = CUT,  1 = FADE OUT-IN,  2 = FREEZE→FADE OUT-IN ※初期値,  3 = LEFT→RIGHT WIPE,  4 = RIGHT→LEFT WIPE,  5 = TOP→BOTTOM WIPE,  6 = BOTTOM→TOP WIPE</p> <p>サブウインドウには“3 ~ 6 = WIPE”を設定できません。</p> <p>ch : 出力チャンネル</p> <p>0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GFF [↵]
	返信	@GFF,0,2 [↵]
	説明	<p>映像入力チャンネルの切換効果を取得。  メインウインドウは CUT により入力チャンネルを切り換える。  サブウインドウは FREEZE→FADE OUT-IN により入力チャンネルを切り換える。</p>
設定例	送信	@SFF,1,1 [↵]
	返信	@SFF,1,1 [↵]
	説明	<p>メインウインドウは FADE OUT-IN により入力チャンネルを切り換える。  正常終了。</p>
備考		—

@GFT / @SFT		映像切換効果時間
取得	送信	@GFT [↵]
	返信	@GFT, main_time, pinp_time [↵]
設定	送信	@SFT, ch, time (, ch, time) [↵]
	返信	@SFT, ch, time (, ch, time) [↵]
パラメータ		<p>main_time : 映像切換効果時間 [ms] メインウインドウ  pinp_time : 映像切換効果時間 [ms] サブウインドウ  time : 映像切換効果時間 [ms]  100 ~ 2000 ※初期値 350  10 ms 単位で設定し、下 1 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。  (例えば 395 と指定すると、390 ms に設定されます)</p> <p>ch : 出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GFT [↵]
	返信	@GFT,400,1000 [↵]
	説明	映像入力チャンネルの切換効果時間を取得。 メインウインドウは 400 ms。 サブウインドウは 1000 ms。
設定例	送信	@SFT,1,400 [↵]
	返信	@SFT,1,400 [↵]
	説明	メインウインドウの映像入力チャンネルの切換効果時間を 400 ms に設定。 正常終了。
備考		—

@GWC / @SWC		ワイプカラー
取得	送信	@GWC, ch [↵]
	返信	@GWC, ch, red, green, blue [↵]
設定	送信	@SWC, ch, red, green, blue [↵]
	返信	@SWC, ch, red, green, blue [↵]
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル  “1” 固定です。</p> <p>red : ワイプカラー (赤)  green : ワイプカラー (緑)  blue : ワイプカラー (青)  0 ~ 255 ※初期値 0 (黒)</p>
取得例	送信	@GWC,1 [↵]
	返信	@GWC,1,255,255,255 [↵]
	説明	ワイプカラーを取得。 RGB とともに 255 (白)。
設定例	送信	@SWC,1,255,255,255 [↵]
	返信	@SWC,1,255,255,255 [↵]
	説明	ワイプカラーを RGB とともに 255 (白) に設定。 正常終了。
備考		—

@GCE / @SCE		CEC 接続
取得	送信	@GCE [↵]
	返信	@GCE, connect_A, connect_B, connect_C [↵]
設定	送信	@SCE, ch, connect (, ch, connect, ch, connect) [↵]
	返信	@SCE, ch, connect (, ch, connect, ch, connect) [↵]
パラメータ		<p>connect_A : CEC の接続 HDMI OUT A  connect_B : CEC の接続 HDMI OUT B  connect_C : CEC の接続 HDBT OUT C  connect : CEC の接続</p> <p>0 = 未接続 ※初期値,            1 = 選択されている映像入力チャンネル,  2 = 入力チャンネル 1,            3 = 入力チャンネル 2,  4 = 入力チャンネル 3,            5 = 入力チャンネル 4,  6 = HDMI 入力チャンネル 5, 7 = HDBT 入力チャンネル 5</p> <p>ch : 出力コネクタ  0 = 全出力, 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C</p>
取得例	送信	@GCE [↵]
	返信	@GCE,4,0,0 [↵]
	説明	CEC の接続を取得。 HDMI OUT A は入力チャンネル 3 (IN3) と接続、その他の出力は未接続。
設定例	送信	@SCE,1,4 [↵]
	返信	@SCE,1,4 [↵]
	説明	HDMI OUT A の CEC は入力チャンネル 3 (IN3) と接続する。 正常終了。
備考		—

## 3.3.6 入力画角設定

@GAP / @SAP		アスペクト比
取得	送信	@GAP <input type="checkbox"/>
	返信	@GAP, aspect_1, aspect_2, aspect_3, aspect_4, aspect_5, aspect_6, aspect_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SAP, ch, aspect (, ch, aspect···) <input type="checkbox"/>
	返信	@SAP, ch, aspect (, ch, aspect···) <input type="checkbox"/>
パラメータ		aspect_1-7 : アスペクト比 IN1 ~ IN7 aspect : アスペクト比 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GAP <input type="checkbox"/>
	返信	@GAP,0,0,2,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	アスペクト比を取得。 IN3は4:3、その他の入力はAUTO-1。
設定例	送信	@SAP,7,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SAP,7,2 <input type="checkbox"/>
	説明	IN7のアスペクト比を4:3に設定。 正常終了。
備考		—

@GAR / @SAR		アスペクト比の復元処理
取得	送信	@GAR <input type="checkbox"/>
	返信	@GAR, mode_1, mode_2, mode_3, mode_4, mode_5, mode_6, mode_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SAR, ch, mode (, ch, mode···) <input type="checkbox"/>
	返信	@SAR, ch, mode (, ch, mode···) <input type="checkbox"/>
パラメータ		mode_1-7 : アスペクト比復元処理 IN1 ~ IN7 mode : アスペクト比復元処理 0 = レターボックス / サイドパネル ※初期値, 1 = サイドカット / トップボトムカット
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GAR <input type="checkbox"/>
	返信	@GAR,0,0,1,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	アスペクト比の復元処理を取得。 IN3はサイドカット / トップボトムカット、その他の入力はレターボックス / サイドパネル。
設定例	送信	@SAR,5,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SAR,5,1 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5をサイドカット / トップボトムカットに設定。 正常終了。
備考		—

@GOV / @SOV		オーバースキャン
取得	送信	@GOV [↵]
	返信	@GOV, overscan_1, overscan_2, overscan_3, overscan_4, overscan_5, overscan_6, overscan_7 [↵]
設定	送信	@SOV, ch, overscan (, ch, overscan...) [↵]
	返信	@SOV, ch, overscan (, ch, overscan...) [↵]
パラメータ		overscan_1-7 : オーバースキャン [%] IN1 ~ IN7 overscan : オーバースキャン [%] 100 ~ 115 ※初期値 SDTV : 105 HDTV / パソコン : 100
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GOV [↵]
	返信	@GOV,100,100,105,100,100,100,100 [↵]
	説明	オーバースキャンを取得。 IN3 は 105 %、その他の入力 は 100 %。
設定例	送信	@SOV,7,105 [↵]
	返信	@SOV,7,105 [↵]
	説明	IN7 のオーバースキャンを 105 %に設定。 正常終了。
備考		—

@GNP / @SNP		表示位置
取得	送信	@GNP [↵]
	返信	@GNP, h_position_1, v_position_1, h_position_2, v_position_2, h_position_3, v_position_3, h_position_4, v_position_4, h_position_5, v_position_5, h_position_6, v_position_6, h_position_7, v_position_7 [↵]
設定	送信	@SNP, ch, h_position, v_position (, ch, h_position, v_position...) [↵]
	返信	@SNP, ch, h_position, v_position (, ch, h_position, v_position...) [↵]
パラメータ		h_position_1-7 : 水平表示位置 [ピクセル] IN1 ~ IN7 h_position : 水平表示位置 [ピクセル] - 水平入力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 [1 ピクセル単位] ※初期値 0
		v_position_1-7 : 垂直表示位置 [ライン] IN1 ~ IN7 v_position : 垂直表示位置 [ライン] - 垂直入力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 [1 ライン単位] ※初期値 0
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GNP [↵]
	返信	@GNP,-50,20,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0 [↵]
	説明	入力表示位置を取得。 IN1 の水平表示位置は-50、垂直表示位置は+20、その他の入力の水平・垂直表示位置はすべて 0。
設定例	送信	@SNP,1,-50,20 [↵]
	返信	@SNP,1,-50,20 [↵]
	説明	IN1 の水平表示位置を-50、垂直表示位置を+20 に設定。 正常終了。
備考		—

@GNS / @SNS		表示サイズ
取得	送信	@GNS [↵]
	返信	@GNS, h_size_1, v_size_1, h_size_2, v_size_2, h_size_3, v_size_3, h_size_4, v_size_4, h_size_5, v_size_5, h_size_6, v_size_6, h_size_7, v_size_7 [↵]
設定	送信	@SNS, ch, h_size, v_size (, ch, h_size, v_size...) [↵]
	返信	@SNS, ch, h_size, v_size (, ch, h_size, v_size...) [↵]
パラメータ		<p>h_size_1-7 : 水平表示サイズ [ピクセル] IN1 ~ IN7  h_size : 水平表示サイズ [ピクセル]  水平出力解像度 ÷ 4 ~ 水平出力解像度 × 4 [1 ピクセル単位]  ※初期値 水平出力解像度</p> <p>v_size_1-7 : 垂直表示サイズ [ライン] IN1 ~ IN7  v_size : 垂直表示サイズ [ライン]  垂直出力解像度 ÷ 4 ~ 垂直出力解像度 × 4 [1 ライン単位]  ※初期値 垂直出力解像度</p> <p>ch : 入力チャンネル  0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p>
取得例	送信 返信	@GNS [↵] @GNS,1925,1084,1920,1080,1920,1080,1920,1080,1920,1080,1920,1080,1920,1080 [↵]
	説明	入力表示サイズを取得。 IN1 の水平入力表示サイズは 1925、垂直入力表示サイズは 1084、その他の入力の水平入力表示サイズは 1920、垂直入力表示サイズは 1080。
設定例	送信 返信	@SNS,1,1925,1084 [↵] @SNS,1,1925,1084 [↵]
	説明	IN1 の水平入力表示サイズを 1925、垂直入力表示サイズを 1084 に設定。 正常終了。
備考		—

@GNM / @SNM		クロップ
取得	送信	@GNM, ch [↵]
	返信	@GNM, ch, left, right, top, bottom [↵]
設定	送信	@SNM, ch, left, right, top, bottom [↵]
	返信	@SNM, ch, left, right, top, bottom [↵]
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p> <p>left : 左側クロップ [ピクセル] 水平入力表示位置 ~ 右側クロップ [1 ピクセル単位] ※初期値 0</p> <p>right : 右側クロップ [ピクセル] 左側クロップ ~ 水平入力表示位置+水平入力表示サイズ [1 ピクセル単位] ※初期値 水平入力表示サイズ</p> <p>top : 上側クロップ [ライン] 垂直入力表示位置 ~ 下側クロップ [1 ライン単位] ※初期値 0</p> <p>bottom : 下側クロップ [ライン] 上側クロップ ~ 垂直入力表示位置+垂直入力表示サイズ [1 ライン単位] ※初期値 垂直入力表示サイズ</p>
取得例	送信	@GNM,1 [↵]
	返信	@GNM,1,0,1920,0,1080 [↵]
	説明	IN1 の入力クロップを取得。 左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
設定例	送信	@SNM,1,0,1920,0,1080 [↵]
	返信	@SNM,1,0,1920,0,1080 [↵]
	説明	IN1 の入力クロップを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定。 正常終了。
備考		—

@IAS		入力画角設定初期化
設定	送信	@IAS, ch (, ch...) [↵]
	返信	@IAS, ch (, ch...) [↵]
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p>
設定例	送信	@IAS,1 [↵]
	返信	@IAS,1 [↵]
	説明	<p>IN1 の次の項目を初期化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ @GAP / @SAP アスペクト比 (P.39)</li> <li>・ @GOV / @SOV オーバースキャン (P.40)</li> <li>・ @GNP / @SNP 表示位置 (P.41)</li> <li>・ @GNS / @SNS 表示サイズ (P.42)</li> <li>・ @GNM / @SNM クロップ (P.43)</li> </ul> <p>正常終了。</p>
備考		—

## 3.3.7 入力設定

@GIE / @SIE		入力コネクタの選択
取得	送信	@GIE, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GIE, ch, mode <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIE, ch, mode <input type="checkbox"/>
	返信	@SIE, ch, mode <input type="checkbox"/>
パラメータ		ch : 入力チャンネル “5” 固定 connector : 入力コネクタ 0 = HDMI 入力コネクタ ※初期値, 1 = HDBaseT 入力コネクタ
取得例	送信	@GIE,5 <input type="checkbox"/>
	返信	@GIE,5,0 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5 で使用する入力コネクタを取得。 IN5 で使用する入力コネクタは HDMI 入力コネクタ。
設定例	送信	@SIE,5,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIE,5,1 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5 で使用する入力コネクタを HDBaseT 入力コネクタに設定。 正常終了。
備考		—

@GIN / @SIN		DVI 入力コネクタの信号選択
取得	送信	@GIN <input type="checkbox"/>
	返信	@GIN, signal_6, signal_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIN, ch, signal (, ch, signal) <input type="checkbox"/>
	返信	@SIN, ch, signal (, ch, signal) <input type="checkbox"/>
パラメータ		signal_6-7 : DVI 入力コネクタの信号選択 IN6、IN7 signal : DVI 入力コネクタの信号選択 0 = アナログ信号, 1 = デジタル信号 ※初期値 ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 6 = IN6, 7 = IN7
取得例	送信	@GIN <input type="checkbox"/>
	返信	@GIN,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	DVI 入力コネクタの入力信号の設定値を取得。 IN6 と IN7 はアナログ入力信号。
設定例	送信	@SIN,6,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIN,6,1 <input type="checkbox"/>
	説明	IN6 をデジタル入力信号に設定。 正常終了。
備考		—

@GDT / @SDT		映像信号の無入力監視
取得	送信	@GDT <input type="checkbox"/>
	返信	@GDT, time_1, time_2, time_3, time_4, time_5, time_6, time_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SDT, ch, time (, ch, time...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SDT, ch, time (, ch, time...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>time_1-7 : 無入力監視時間 IN1 ~ IN7  time : 無入力監視時間  0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒,  -1 = アナログ設定のため対象外 (取得のみ)  100 ms 単位で設定し、下 2 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。  (例えば 2955 と指定すると、2900 ms に設定されます)</p> <p>ch : 入力チャンネル  0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p>
取得例	送信	@GDT <input type="checkbox"/>
	返信	@GDT,6000,10000,10000,4000,4000,4000,4000 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>入力映像信号の無入力監視時間を取得。  IN1 は 6000 ms (6 秒)、IN2 と IN3 は 10000 ms (10 秒)、IN4 ~ IN7 は 4000 ms (4 秒)。</p>
設定例	送信	@SDT,3,6000 <input type="checkbox"/>
	返信	@SDT,3,6000 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>IN3 の無入力監視時間を 6000 ms (6 秒) に設定。  正常終了。</p>
備考		<p>デジタル入力専用のコマンドです。  DVI 入力コネクタの信号選択が“デジタル信号”に設定されている場合のみ有効です。  【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】</p>

@GHE / @SHE		HDCP 入力の許可 / 禁止
取得	送信	@GHE <input type="checkbox"/>
	返信	@GHE, hdcp_1, hdcp_2, hdcp_3, hdcp_4, hdcp_5, hdcp_6, hdcp_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHE, ch, hdcp (, ch, hdcp...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SHE, ch, hdcp (, ch, hdcp...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>hdcp_1-7 : HDCP 入力の許可 / 禁止 IN1 ~ IN7  hdcp : HDCP 入力の許可 / 禁止  0 = DISABLE (禁止), 1 = ENABLE (許可) ※初期値,  -1 = アナログ設定のため対象外 (取得のみ)</p> <p>ch : 入力チャンネル  0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p>
取得例	送信	@GHE <input type="checkbox"/>
	返信	@GHE,1,1,0,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>HDCP 入力の許可 / 禁止設定を取得。  IN3 は HDCP 入力を禁止する、その他の入力は HDCP 入力を許可する。</p>
設定例	送信	@SHE,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHE,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>IN1 の HDCP 入力を禁止。  正常終了。</p>
備考		<p>デジタル入力専用のコマンドです。  DVI 入力コネクタの信号選択が“デジタル信号”に設定されている場合のみ有効です。  【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】</p>

@GIQ / @SIQ		入力コライザ
取得	送信	@GIQ [↵]
	返信	@GIQ, eq_1, eq_2, eq_3, eq_4, eq_5 [↵]
設定	送信	@SIQ, ch, eq (, ch, eq...) [↵]
	返信	@SIQ, ch, eq (, ch, eq...) [↵]
パラメータ		eq_1-5 : 入力コライザ IN1 ~ IN5 eq : 入力コライザ 0 = OFF, 1 = ON ※初期値
		ch : 入力チャンネル IN1 ~ IN5 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5
取得例	送信	@GIQ [↵]
	返信	@GIQ,0,1,1,1,1 [↵]
	説明	入力コライザを取得。 IN1 は入力コライザ OFF、その他の入力が入力コライザ ON。
設定例	送信	@SIQ,3,0 [↵]
	返信	@SIQ,3,0 [↵]
	説明	IN3 の入力コライザを OFF に設定。 正常終了。
備考		HDMI 入力コネクタ専用のコマンドです。 入力コネクタの選択が、“HDMI 入力コネクタ” に設定されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIE / @SIE 入力コネクタの選択 (P.44)】

@GIA / @SIA		HDBaseT 入力ロングリーチモード
取得	送信	@GIA, ch [↵]
	返信	@GIA, ch, mode [↵]
設定	送信	@SIA, ch, mode [↵]
	返信	@SIA, ch, mode [↵]
パラメータ		ch : 入力チャンネル “5” 固定
		mode : 設定モード 0 = OFF ※初期値, 1 = ON
取得例	送信	@GIA,5 [↵]
	返信	@GIA,5,0 [↵]
	説明	HDBT IN5 のロングリーチモード設定を取得。 HDBT IN5 のロングリーチモード設定は OFF。
設定例	送信	@SIA,5,1 [↵]
	返信	@SIA,5,1 [↵]
	説明	HDBT IN5 のロングリーチモードを ON に設定。 正常終了。
備考		HDBaseT 入力コネクタ専用のコマンドです。 入力コネクタの選択が“HDBaseT 入力コネクタ” に設定されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIE / @SIE 入力コネクタの選択 (P.44)】 1080p (24 bit) 以下の解像度またはドットクロック 148 MHz 以下の映像が対象です。 【参照 : @GVF / @SVF 入力解像度 (P.87)】 【参照 : @GDI / @SDI Deep Color 入力 (P.89)】

@GHP / @SHP		HDBaseT 入力の給電
取得	送信	@GHP <input type="checkbox"/>
	返信	@GHP, mode <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHP, mode <input type="checkbox"/>
	返信	@SHP, mode <input type="checkbox"/>
パラメータ		mode : 給電設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON
取得例	送信	@GHP <input type="checkbox"/>
	返信	@GHP,0 <input type="checkbox"/>
	説明	HDBaseT 入力の給電設定値を取得。 給電設定は OFF に設定されている。
設定例	送信	@SHP,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHP,1 <input type="checkbox"/>
	説明	HDBaseT 入力の給電を ON に設定。 正常終了。
備考		HDBaseT 入力コネクタ専用のコマンドです。 入力コネクタの選択が“HDBaseT 入力コネクタ”に設定されている場合のみ有効です。  【参照 : @GIE / @SIE 入力コネクタの選択 (P.44)】

@GAI / @SAI		アナログ入力の信号種別
取得	送信	@GAI <input type="checkbox"/>
	返信	@GAI, type_6, type_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SAI, ch, type (, ch, type) <input type="checkbox"/>
	返信	@SAI, ch, type (, ch, type) <input type="checkbox"/>
パラメータ		type_6-7 : 信号種別 IN6 ~ IN7 type : 信号種別 0 = AUTO ※初期値, 1 = RGB, 2 = YPbPr, -1 = デジタル設定のため対象外 (取得のみ)  ch : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 6 = IN6 (アナログ), 7 = IN7 (アナログ)
取得例	送信	@GAI <input type="checkbox"/>
	返信	@GAI,2,0 <input type="checkbox"/>
	説明	アナログ入力の信号種別を取得。 IN6 は YPbPr、IN7 は AUTO。
設定例	送信	@SAI,0,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SAI,0,2 <input type="checkbox"/>
	説明	全アナログ入力の信号種別を YPbPr に設定。 正常終了。
備考		アナログ入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択が“アナログ信号”に設定されている場合のみ有効です。  【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】

@GID / @SID		入力映像信号 OFF の自動検出
取得	送信	@GID <input type="checkbox"/>
	返信	@GID, detect_1, detect_2, detect_3, detect_4, detect_5, detect_6, detect_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SID, ch, detect (, ch, detect...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SID, ch, detect (, ch, detect...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		detect_1-7 : 自動検出 IN1 ~ IN7 detect : 自動検出 0 = OFF, 1 = ON ※初期値
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GID <input type="checkbox"/>
	返信	@GID,1,1,1,1,1,0,1 <input type="checkbox"/>
	説明	入力映像信号 OFF の自動検出設定を取得。 IN6 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない。 その他の入力 は OFF にする。
設定例	送信	@SID,2,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SID,2,0 <input type="checkbox"/>
	説明	IN2 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない。 正常終了。
備考		次の設定にも有効となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ @GFF / @SFF 映像切換効果 (P.36)</li> <li>・ @GFT / @SFT 映像切換効果時間 (P.37)</li> <li>・ @GWC / @SWC ワイプカラー (P.37)</li> </ul>

@GFX / @SFX		入力信号ごと設定の固定
取得	送信	@GFX, ch [↵]
	返信	@GFX, ch, mode (, aspect, analog, audio) [↵]
設定	送信	@SFX, ch, mode (, aspect, analog, audio) [↵]
	返信	@SFX, ch, mode (, aspect, analog, audio) [↵]
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p> <p>mode : 設定モード 0 = SELECTED ※初期値, 1 = ALL FIXED</p> <p>aspect : アスペクト比 0 = OFF ※初期値, 1 = ON (FIXED)</p> <p>analog : アナログ入力の信号種別 (デジタル入力の場合 “0” を設定してください) 0 = OFF, 1 = ON (FIXED) ※初期値</p> <p>audio : 音声入力レベル (アナログ入力の場合 “0” を設定してください) 0 = OFF, 1 = ON (FIXED) ※初期値</p> <p>設定モードが “0 = SELECTED” 時のみ設定可能です。</p>
取得例	送信	@GFX,6 [↵]
	返信	@GFX,6,0,1,1,0 [↵]
	説明	<p>IN6 の入力信号ごと設定の固定を取得 (アナログ入力の場合)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスペクト比 : 現在の設定に固定</li> <li>・アナログ入力の信号種別 : 現在の設定に固定</li> <li>・音声入力レベル : 無効</li> </ul>
設定例	送信	@SFX,2,1 [↵]
	返信	@SFX,2,1 [↵]
	説明	<p>IN2 は入力信号ごと設定を現在の設定に固定。 正常終了。</p>
備考		<p>デジタル入力チャンネルの取得時、「アナログ信号の信号種別」は必ず “0” が返信されます。</p> <p>アナログ入力チャンネルの取得時、「音声入力レベル」は必ず “0” が返信されます。</p> <p>DVI 入力コネクタの信号選択で “デジタル信号” か “アナログ信号” を選択します。 【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】</p>

## 3.3.8 入力タイミング設定

@AIS / @AIT		自動計測
設定	説明	取り込み開始位置と取り込み期間の自動計測
	送信	@AIS, ch Ⓜ
	返信	@AIS, ch Ⓜ
設定	説明	アスペクト比を考慮した自動計測
	送信	@AIT, ch (, mode) Ⓜ
	返信	@AIT, ch (, mode) Ⓜ
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 6 = IN6 (アナログ), 7 = IN7 (アナログ)</p> <p>mode : 計測モード -1 = NEXT ASPECT, 0 = 4:3, 1 = 5:4, 2 = 5:3, 3 = 16:9, 4 = 16:10 “NEXT ASPECT” を指定した場合は、実行するたびに次のアスペクト比が順番に選択されます。また、計測モードを省略した場合は、“NEXT ASPECT” モードで実行します。</p>
設定例	送信	@AIS,6 Ⓜ
	返信	@AIS,6 Ⓜ
	説明	IN6 の取り込み開始位置と取り込み期間設定を自動計測。 正常終了。
設定例	送信	@AIT,6,0 Ⓜ
	返信	@AIT,6,0 Ⓜ
	説明	IN6 の入力タイミング設定を“4:3”のアスペクト比で自動計測。 正常終了。
設定例	送信	@AIS,6 Ⓜ
	返信	@ERR,7 Ⓜ
	説明	自動計測に失敗すると、エラーが返信されます。
備考		<p>アナログ入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択を“アナログ信号”に設定し、アナログ RGB / アナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】</p>

@GHT / @SHT		水平総ピクセル数
取得	送信	@GHT <input type="checkbox"/>
	返信	@GHT, h_total_1, h_total_2, h_total_3, h_total_4, h_total_5, h_total_6, h_total_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHT, ch, h_total <input type="checkbox"/>
	返信	@SHT, ch, h_total <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>h_total_1-7 : 水平総ピクセル数 IN1 ~ IN7  h_total : 水平総ピクセル数  400 ~ 4125  (ただし、サンプリングクロックの範囲は、ノンインターレス信号の場合 13 MHz ~ 165 MHz、インターレス信号の場合 13 MHz ~ 82.5 MHz です。)  ※初期値 入力された信号により異なります。</p> <p>ch : 入力チャンネル  0 = 全アナログ入力, 6 = IN6 (アナログ), 7 = IN7 (アナログ)</p>
取得例	送信	@GHT <input type="checkbox"/>
	返信	@GHT,2200,2200,0,2640,1344,1792,0 <input type="checkbox"/>
	説明	水平総ピクセル数を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返信されます。
設定例	送信	@SHT,6,1344 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHT,6,1344 <input type="checkbox"/>
	説明	IN6 の水平総ピクセル数を 1344 に設定。 正常終了。
設定例	送信	@SHT,6,1344 <input type="checkbox"/>
	返信	@ERR,3 <input type="checkbox"/>
	説明	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されていない場合は、エラーが返信されます。
備考		<p>取得コマンドは、全入力チャンネルの状態を取得します。  設定コマンドは、DVI 入力コネクタの信号選択を“アナログ信号”に設定し、アナログ RGB / アナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効です。  【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】</p>

@GHS / @SHS		水平取り込み開始位置
取得	送信	@GHS <input type="checkbox"/>
	返信	@GHS, h_start_1, h_start_2, h_start_3, h_start_4, h_start_5, h_start_6, h_start_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHS, ch, h_start <input type="checkbox"/>
	返信	@SHS, ch, h_start <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>h_start_1-7 : 水平取り込み開始位置 [ピクセル] IN1 ~ IN7  h_start : 水平取り込み開始位置 [ピクセル]  64 ~ 2900 (ただし水平総ピクセル数-水平取り込み期間以下)  ※初期値 入力された信号により異なります。</p> <p>ch : 入力チャンネル  0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p>
取得例	送信	@GHS <input type="checkbox"/>
	返信	@GHS,192,192,496,0,296,0,378 <input type="checkbox"/>
	説明	水平取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0が返信されます。
設定例	送信	@SHS,5,296 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHS,5,296 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5の水平取り込み開始位置を296に設定。 正常終了。
設定例	送信	@SHS,6,296 <input type="checkbox"/>
	返信	@ERR,3 <input type="checkbox"/>
	説明	信号が入力されていない場合は、エラーが返信されます。
備考		設定コマンドは、信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。

@GHD / @SHD		水平取り込み期間
取得	送信	@GHD <input type="checkbox"/>
	返信	@GHD, h_disp_1, h_disp_2, h_disp_3, h_disp_4, h_disp_5, h_disp_6, h_disp_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHD, ch, h_disp <input type="checkbox"/>
	返信	@SHD, ch, h_disp <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>h_disp_1-7 : 水平取り込み期間 [ピクセル] IN1 ~ IN7  h_disp : 水平取り込み期間 [ピクセル]  64 ~ 2900 (ただし水平総ピクセル数-64以下)  ※初期値 入力された信号により異なります。</p> <p>ch : 入力チャンネル  0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p>
取得例	送信	@GHD <input type="checkbox"/>
	返信	@GHD,1920,1920,0,1920,1024,1360,0 <input type="checkbox"/>
	説明	水平取り込み期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0が返信されます。
設定例	送信	@SHD,5,1024 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHD,5,1024 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5の水平取り込み期間を1024に設定。 正常終了。
設定例	送信	@SHD,6,1024 <input type="checkbox"/>
	返信	@ERR,3 <input type="checkbox"/>
	説明	信号が入力されていない場合は、エラーが返信されます。
備考		設定コマンドは、信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。

@GVS / @SVS		垂直取り込み開始位置
取得	送信	@GVS [↵]
	返信	@GVS, v_start_1, v_start_2, v_start_3, v_start_4, v_start_5, v_start_6, v_start_7 [↵]
設定	送信	@SVS, input, v_start [↵]
	返信	@SVS, input, v_start [↵]
パラメータ		v_start_1-7 : 垂直取り込み開始位置 [ライン] IN1 ~ IN7 v_start : 垂直取り込み開始位置 [ライン] 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直取り込み期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります。
		input : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GVS [↵]
	返信	@GVS,40,0,40,40,35,0,24 [↵]
	説明	垂直取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0が返信されます。
設定例	送信	@SVS,5,35 [↵]
	返信	@SVS,5,35 [↵]
	説明	IN5の垂直取り込み開始位置を35に設定。 正常終了。
設定例	送信	@SVS,6,35 [↵]
	返信	@ERR,3 [↵]
	説明	信号が入力されていない場合は、エラーが返信されます。
備考		設定コマンドは、信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。

@GVD / @SVD		垂直取り込み期間
取得	送信	@GVD [↵]
	返信	@GVD, v_disp_1, v_disp_2, v_disp_3, v_disp_4, v_disp_5, v_disp_6, v_disp_7 [↵]
設定	送信	@SVD, input, v_disp [↵]
	返信	@SVD, input, v_disp [↵]
パラメータ		v_disp_1-7 : 垂直取り込み期間 [ライン] IN1 ~ IN7 v_disp : 垂直取り込み期間 [ライン] 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-10以下) ※初期値 入力された信号により異なります。
		input : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GVD [↵]
	返信	@GVD,0,1080,1080,900,768,0,900 [↵]
	説明	垂直取り込み期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0が返信されます。
設定例	送信	@SVD,5,768 [↵]
	返信	@SVD,5,768 [↵]
	説明	IN5の垂直取り込み期間を768に設定。 正常終了。
設定例	送信	@SVD,5,768 [↵]
	返信	@ERR,3 [↵]
	説明	信号が入力されていない場合は、エラーが返信されます。
備考		設定コマンドは、信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。

@GIS / @SIS		取り込み開始位置の自動計測
取得	送信	@GIS <input type="checkbox"/>
	返信	@GIS, mode_6, mode_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIS, ch, mode (, ch, mode) <input type="checkbox"/>
	返信	@SIS, ch, mode (, ch, mode) <input type="checkbox"/>
パラメータ		mode_6-7 : 自動計測 IN6 ~ IN7 mode : 自動計測 0 = この入力チャンネルからの入力信号はすべて自動計測しない, 1 = 現在の入力信号は自動計測しない, 2 = 現在の入力信号は自動計測する ※初期値, -1 = デジタル設定のため対象外 (取得のみ)
		ch : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 6 = IN6 (アナログ), 7 = IN7 (アナログ)
取得例	送信	@GIS <input type="checkbox"/>
	返信	@GIS,0,2 <input type="checkbox"/>
	説明	取り込み開始位置の自動計測の設定を取得。 IN6 は自動計測しない、IN7 は自動計測する。
設定例	送信	@SIS,6,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIS,6,1 <input type="checkbox"/>
	説明	IN6 から現在入力されている信号は自動計測しない。 正常終了。
備考		アナログ入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択が“アナログ信号”に設定されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】

@GSM / @SSM		未登録信号入力時の自動計測
取得	送信	@GSM <input type="checkbox"/>
	返信	@GSM, mode <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSM, mode <input type="checkbox"/>
	返信	@SSM, mode <input type="checkbox"/>
パラメータ		mode : 自動計測 0 = 実行しない, 1 = 実行する ※初期値
取得例	送信	@GSM <input type="checkbox"/>
	返信	@GSM,1 <input type="checkbox"/>
	説明	未登録信号が入力された場合の自動計測の実行を取得。 未登録信号が入力された場合に自動計測を実行する。
設定例	送信	@SSM,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSM,1 <input type="checkbox"/>
	説明	未登録信号が入力された場合に自動計測を実行する。 正常終了。
備考		—

@RTT		デジタル入カタイミングの初期化・アナログ入カタイミングの読み出し
設定	送信	@RTT, ch (, table) Ⓜ
	返信	@RTT, ch (, table) Ⓜ
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p> <p>table : 機種テーブル ※アナログ入力の場合有効 1 ~ 99 (登録した機種データです。), 100 ~ 100+n (本機にあらかじめ登録されている機種データです。nの値は入力されたアナログ信号により異なります。) 機種テーブルは、アナログ入力の場合のみ指定します。</p>
設定例	送信	@RTT,1 Ⓜ
	返信	@RTT,1 Ⓜ
	説明	IN1の入カタイミング設定を本機が自動検出した値に初期化。 正常終了。
設定例	送信	@RTT,6,2 Ⓜ
	返信	@RTT,6,2 Ⓜ
	説明	IN6の入カタイミング設定を機種テーブル2に保存された内容に設定。 正常終了。
備考		<p>入力信号がある場合のみ有効なコマンドです。</p> <p>また、アナログ入力の場合は、入力された信号に対する機種データが登録されている場合のみ有効なコマンドです。</p>

@STT		アナログ入力タイミングの保存
設定	送信	@STT, ch, table (, name) <input type="checkbox"/>
	返信	@STT, ch, table (, name) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 6 = IN6 (アナログ), 7 = IN7 (アナログ)</p> <p>table : 機種テーブル 1 ~ 99</p> <p>name : 機種テーブル名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 14 文字まで 機種テーブル名は省略可能です。 省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに入力タイミング設定のみ保存します。ただし、現在保存されている名前がなかった場合は、自動的に解像度を機種テーブル名として保存します。</p>
設定例	送信 返信	@STT,6,2 <input type="checkbox"/> @STT,6,2 <input type="checkbox"/>
	説明	現在の IN6 の入力タイミング設定を、機種テーブル 2 に機種テーブル名を変更せずに保存する。 正常終了。
設定例	送信 返信	@STT,6,2,XGA 60Hz <input type="checkbox"/> @STT,6,2,XGA 60Hz <input type="checkbox"/>
	説明	現在の IN6 の入力タイミング設定を、機種テーブル 2 に「XGA 60Hz」という名前で保存する。 正常終了。
備考		<p>アナログ入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択を“アナログ信号”に設定し、アナログ RGB / アナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】</p>

@GTK / @STK		トラッキング
取得	送信	@GTK <input type="checkbox"/>
	返信	@GTK, track_6, track_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@STK, ch, track (, ch , track) <input type="checkbox"/>
	返信	@STK, ch, track (, ch , track) <input type="checkbox"/>
パラメータ		track_6-7 : トラッキング IN6 ~ IN7 track : トラッキング 0 ~ 63 ※初期値 0
		ch : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 6 = IN6 (アナログ), 7 = IN7 (アナログ)
取得例	送信	@GTK <input type="checkbox"/>
	返信	@GTK,4,5 <input type="checkbox"/>
	説明	トラッキングを取得。 アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されていない場合は 0 が返信されます。
設定例	送信	@STK,6,4 <input type="checkbox"/>
	返信	@STK,6,4 <input type="checkbox"/>
	説明	IN6 のトラッキングを 4 に設定。 正常終了。
備考		アナログ入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択を“アナログ信号”に設定し、アナログ RGB / アナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】

### 3.3.9 入力チャンネル自動切換設定

@GAU / @SAU		自動切換優先度 OFF→ON
取得	送信	@GAU, out <input type="checkbox"/>
	返信	@GAU, out, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority, in5_priority, in6_priority, in7_priority <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SAU, out, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority, in5_priority, in6_priority, in7_priority (, out, in1_priority...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SAU, out, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority, in5_priority, in6_priority, in7_priority (, out, in1_priority...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		out : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ “0 = 全出力” は設定時のみ指定できます。
		in1_priority-in7_priority : 入力チャンネルの優先度 IN1 ~ IN7 0 = OFF, 1 = 優先度 (高) ~ 7 = 優先度 (低)
取得例	送信	@GAU,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GAU,1,1,2,3,4,5,6,7 <input type="checkbox"/>
	説明	入力信号が“OFF”(ない) から“ON”(ある) に変化したときの、メインウインドウの入力チャンネル自動切換優先度を取得。 IN1 = 1、IN2 = 2、IN3 = 3、IN4 = 4、IN5 = 5、IN6 = 6、IN7 = 7。
設定例	送信	@SAU,1,7,6,5,4,3,2,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SAU,1,7,6,5,4,3,2,1 <input type="checkbox"/>
	説明	入力信号が“OFF”(ない) から“ON”(ある) に変化したときの、メインウインドウの入力チャンネル自動切換優先度を設定。 IN1 = 7、IN2 = 6、IN3 = 5、IN4 = 4、IN5 = 3、IN6 = 2、IN7 = 1。 正常終了。
備考		—

@GOF / @SOF		自動切換優先度 ON→OFF
取得	送信	@GOF, out
	返信	@GOF, out, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority, in5_priority, in6_priority, in7_priority
設定	送信	@SOF, out, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority, in5_priority, in6_priority, in7_priority (, out, in1_priority···)
	返信	@SOF, out, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority, in5_priority, in6_priority, in7_priority (, out, in1_priority···)
パラメータ		<p>out : 出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ  “0 = 全出力” は設定時のみ指定できます。</p> <p>in1_priority-in7_priority : 入力チャンネルの優先度  0 = OFF, 1 = 優先度 (高) ~ 7 = 優先度 (低)</p>
取得例	送信	@GOF,1
	返信	@GOF,1,1,2,3,4,5,6,7
	説明	<p>選択している入力チャンネルの入力信号が“ON”(ある) から“OFF”(ない) に変化したときの、メインウインドウの入力チャンネル自動切換優先度を取得。  IN1 = 1、IN2 = 2、IN3 = 3、IN4 = 4、IN5 = 5、IN6 = 6、IN7 = 7。</p>
設定例	送信	@SOF,1,7,6,5,4,3,2,1
	返信	@SOF,1,7,6,5,4,3,2,1
	説明	<p>選択している入力チャンネルの入力信号が“ON”(ある) から“OFF”(ない) に変化したときの、メインウインドウの入力チャンネル自動切換優先度を設定。  IN1 = 7、IN2 = 6、IN3 = 5、IN4 = 4、IN5 = 3、IN6 = 2、IN7 = 1。  正常終了。</p>
備考		—

@GMT / @SMT		自動切換後の検出無効時間
取得	送信	@GMT [↵]
	返信	@GMT, main_time, pinp_time [↵]
設定	送信	@SMT, ch, time (, ch, time) [↵]
	返信	@SMT, ch, time (, ch, time) [↵]
パラメータ		<p>main_time : 検出無効時間 メインウインドウ  pinp_time : 検出無効時間 サブウインドウ  time : 検出無効時間  0 = 0 ms ~ 999999 = 999 s 999 ms ※初期値 0 s 000 ms</p> <p>ch : 出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GMT [↵]
	返信	@GMT,2000,1000 [↵]
	説明	<p>入力チャンネル自動切換後の検出無効時間を取得。  入力チャンネルの自動切り換え後、メインウインドウは 2000 ms (2 秒) 経過するまでは自動切り換えをしない。  サブウインドウは 1000 ms (1 秒) 経過するまでは自動切り換えをしない。</p>
設定例	送信	@SMT,1,10000 [↵]
	返信	@SMT,1,10000 [↵]
	説明	<p>メインウインドウの入力チャンネル自動切換後の検出無効時間を 10000 ms (10 秒) に設定。  正常終了。</p>
備考		—

@GAD / @SAD		自動切換時のスイッチングモード
取得	送信	@GAD [↵]
	返信	@GAD, mode [↵]
設定	送信	@SAD, ch, mode [↵]
	返信	@SAD, ch, mode [↵]
パラメータ		<p>mode : チャンネルスイッチングモード  0 = VIDEO, 1 = AUDIO, 2 = V&amp;A ※初期値</p> <p>ch : 出力チャンネル  “1” 固定です。</p>
取得例	送信	@GAD [↵]
	返信	@GAD,2 [↵]
	説明	<p>入力チャンネル自動切換時のチャンネルスイッチングモードを取得。  V&amp;A。</p>
設定例	送信	@SAD,1,0 [↵]
	返信	@SAD,1,0 [↵]
	説明	<p>入力チャンネル自動切換時のチャンネルスイッチングモードを VIDEO に設定。  正常終了。</p>
備考		—

## 3.3.10 画質調整

@GOB / @SOB		出力ブライトネス
取得	送信	@GOB [↵]
	返信	@GOB, main_bright, pinp_bright [↵]
設定	送信	@SOB, ch, bright (, ch, bright) [↵]
	返信	@SOB, ch, bright (, ch, bright) [↵]
パラメータ		main_bright : 出力ブライトネス [%] メインウインドウ pinp_bright : 出力ブライトネス [%] サブウインドウ bright : 出力ブライトネス [%] 80 ~ 120 ※初期値 100
		ch : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ
取得例	送信	@GOB [↵]
	返信	@GOB,110,100 [↵]
	説明	出力ブライトネスの設定値を取得。 メインウインドウは 110 %。 サブウインドウは 100 %。
設定例	送信	@SOB,1,110 [↵]
	返信	@SOB,1,110 [↵]
	説明	メインウインドウの出力ブライトネスを 110 %に設定。 正常終了。
備考		—

@GOC / @SOC		出力コントラスト
取得	送信	@GOC, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GOC, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SOC, ch, red, green, blue (, ch, red, green, blue) <input type="checkbox"/>
	返信	@SOC, ch, red, green, blue (, ch, red, green, blue) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ  “0 = 全出力” は設定時のみ指定できます。</p> <p>red : 出力コントラスト (赤) [%]  green : 出力コントラスト (緑) [%]  blue : 出力コントラスト (青) [%]  0 ~ 200 ※初期値 100</p>
取得例	送信	@GOC,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GOC,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウの出力コントラストの設定値を取得。 赤 105 %、緑 100 %、青 95 %。
設定例	送信	@SOC,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>
	返信	@SOC,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウの出力コントラストを赤 105 %、緑 100 %、青 95 %に設定。 正常終了。
備考		—

@GGM / @SGM		出力ガンマ
取得	送信	@GGM <input type="checkbox"/>
	返信	@GGM, main_gamma, pinp_gamma <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SGM, ch, gamma (, ch, gamma) <input type="checkbox"/>
	返信	@SGM, ch, gamma (, ch, gamma) <input type="checkbox"/>
パラメータ		main_gamma : 出力ガンマ メインウインドウ pinp_gamma : 出力ガンマ サブウインドウ gamma : 出力ガンマ 1 = 0.1 ~ 30 = 3.0 ※初期値 10 = 1.0 ch : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ
取得例	送信	@GGM <input type="checkbox"/>
	返信	@GGM,22,30 <input type="checkbox"/>
	説明	出力ガンマの設定値を取得。 メインウインドウは2.2。 サブウインドウは3.0。
設定例	送信	@SGM,1,22 <input type="checkbox"/>
	返信	@SGM,1,22 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウの出力ガンマを2.2に設定。 正常終了。
備考		—

@ODC		出力画質調整初期化
設定	送信	@ODC, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@ODC, ch <input type="checkbox"/>
パラメータ		ch : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ
設定例	送信	@ODC,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@ODC,1 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウの画質設定を初期化する。 ・ @GOB / @SOB 出力ブライトネス (P.61) ・ @GOC / @SOC 出力コントラスト (P.62) ・ @GGM / @SGM 出力ガンマ (P.63) 正常終了。
備考		—

@GFL / @SFL		入力シャープネス
取得	送信	@GFL <input type="checkbox"/>
	返信	@GFL, sharp_1, sharp_2, sharp_3, sharp_4, sharp_5, sharp_6, sharp_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SFL, ch, sharp (, ch, sharp···) <input type="checkbox"/>
	返信	@SFL, ch, sharp (, ch, sharp···) <input type="checkbox"/>
パラメータ		sharp_1-7 : 入力シャープネス IN1 ~ IN7 sharp : 入力シャープネス -5 ~ +15 ※初期値 0
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GFL <input type="checkbox"/>
	返信	@GFL,5,0,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	入力シャープネスの設定値を取得。 IN1 は+5、その他の入力チャンネルは 0。
設定例	送信	@SFL,1,5 <input type="checkbox"/>
	返信	@SFL,1,5 <input type="checkbox"/>
	説明	IN1 の入力シャープネスを+5 に設定。 正常終了。
備考		—

@GIB / @SIB		入力ブライトネス
取得	送信	@GIB <input type="checkbox"/>
	返信	@GIB, bright_1, bright_2, bright_3, bright_4, bright_5, bright_6, bright_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIB, ch, bright (, ch, bright···) <input type="checkbox"/>
	返信	@SIB, ch, bright (, ch, bright···) <input type="checkbox"/>
パラメータ		bright_1-7 : 入力ブライトネス [%] IN1 ~ IN7 bright : 入力ブライトネス [%] 80 ~ 120 ※初期値 100
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GIB <input type="checkbox"/>
	返信	@GIB,110,100,100,100,100,100,100 <input type="checkbox"/>
	説明	入力ブライトネスの設定値を取得。 IN1 は 110 %、その他の入力チャンネルは 100 %。
設定例	送信	@SIB,3,110 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIB,3,110 <input type="checkbox"/>
	説明	IN3 の入力ブライトネスを 110 % に設定。 正常終了。
備考		—

@GIC / @SIC		入力コントラスト
取得	送信	@GIC, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GIC, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIC, ch, red, green, blue (, ch, red, green, blue···) <input type="checkbox"/>
	返信	@SIC, ch, red, green, blue (, ch, red, green, blue···) <input type="checkbox"/>
パラメータ		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7 “0 = 全入力” は設定時のみ指定できます。 red : 入力コントラスト (赤) [%] green : 入力コントラスト (緑) [%] blue : 入力コントラスト (青) [%] 0 ~ 200 ※初期値 100
取得例	送信	@GIC,3 <input type="checkbox"/>
	返信	@GIC,3,105,100,95 <input type="checkbox"/>
	説明	IN3 の入力コントラストの設定値を取得。 赤 105 %、緑 100 %、青 95 %。
設定例	送信	@SIC,3,105,100,95 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIC,3,105,100,95 <input type="checkbox"/>
	説明	IN3 の入力コントラストを赤 105 %、緑 100 %、青 95 %に設定。 正常終了。
備考		—

@GHU / @SHU		入力色相
取得	送信	@GHU <input type="checkbox"/>
	返信	@GHU, hue_1, hue_2, hue_3, hue_4, hue_5, hue_6, hue_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHU, ch, hue (, ch, hue···) <input type="checkbox"/>
	返信	@SHU, ch, hue (, ch, hue···) <input type="checkbox"/>
パラメータ		hue_1-7 : 入力色相 [°] IN1 ~ IN7 hue : 入力色相 [°] 0 ~ 359 ※初期値 0 ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GHU <input type="checkbox"/>
	返信	@GHU,60,0,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	入力色相の設定値を取得。 IN1 は 60°、その他の入力 は 0°。
設定例	送信	@SHU,1,60 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHU,1,60 <input type="checkbox"/>
	説明	IN1 の入力色相を 60°に設定。 正常終了。
備考		—

@GST / @SST		入力彩度
取得	送信	@GST <input type="checkbox"/>
	返信	@GST, saturation_1, saturation_2, saturation_3, saturation_4, saturation_5, saturation_6, saturation_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SST, ch, saturation (, ch, saturation...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SST, ch, saturation (, ch, saturation...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		saturation_1-7 : 入力彩度 [%] IN1 ~ IN7 saturation : 入力彩度 [%] 0 ~ 200 ※初期値 100 ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GST <input type="checkbox"/>
	返信	@GST,100,100,100,100,105,100,100 <input type="checkbox"/>
	説明	入力彩度の設定値を取得。 IN5 は 105 %、その他の入力 は 100 %。
設定例	送信	@SST,5,105 <input type="checkbox"/>
	返信	@SST,5,105 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5 の入力彩度を 105 % に設定。 正常終了。
備考		—

@GSU / @SSU		入力黒レベル
取得	送信	@GSU <input type="checkbox"/>
	返信	@GSU, setup_1, setup_2, setup_3, setup_4, setup_5, setup_6, setup_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSU, ch, setup (, ch, setup...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SSU, ch, setup (, ch, setup...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		setup_1-7 : 入力黒レベル [%] IN1 ~ IN7 setup : 入力黒レベル [%] -20 = -20 × 0.5 (-10.0 %) ~ 20 = +20 × 0.5 (+10.0 %) ※初期値 0 = ±0.0 % ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GSU <input type="checkbox"/>
	返信	@GSU,0,0,0,0,15,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	入力黒レベルの設定値を取得。 IN5 は+7.5 %、その他の入力 は 0 %。
設定例	送信	@SSU,5,15 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSU,5,15 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5 の入力黒レベルを+7.5 % に設定。 正常終了。
備考		—

@IDC		入力画質調整初期化
設定	送信	@IDC, ch (, ch····) 
	返信	@IDC, ch (, ch····) 
パラメータ		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
設定例	送信	@IDC,1 
	返信	@IDC,1 
	説明	IN1 の画質設定を初期化。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ @GFL / @SFL 入力シャープネス (P.64)</li> <li>・ @GIB / @SIB 入力ブライトネス (P.64)</li> <li>・ @GIC / @SIC 入力コントラスト (P.65)</li> <li>・ @GHU / @SHU 入力色相 (P.65)</li> <li>・ @GST / @SST 入力彩度 (P.66)</li> <li>・ @GSU / @SSU 入力黒レベル (P.66)</li> </ul> 正常終了。
備考		—

## 3.3.11 出力音声設定

@GUC / @SUC		出力音声選択
取得	送信	@GUC <input type="checkbox"/>
	返信	@GUC, out_a, out_b, out_c, analog_out, speaker_1, speaker_2 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SUC, out, audio, (,out, audio...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SUC, out, audio, (,out, audio...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>out_a : 出力音声 HDMI OUT A  out_b : 出力音声 HDMI OUT B  out_c : 出力音声 HDBT OUT C  analog_out : 出力音声 アナログ音声出力コネクタ  speaker_1 : 出力音声 スピーカー1 出力コネクタ  speaker_2 : 出力音声 スピーカー2 出力コネクタ  audio : 出力音声  0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値</p> <p>out : 音声出力コネクタ  0 = 全出力,  1 = HDMI OUT A の音声出力,  2 = HDMI OUT B の音声出力,  3 = HDBT OUT C の音声出力,  4 = アナログ音声出力コネクタ,  5 = スピーカー1 出力コネクタ,  6 = スピーカー2 出力コネクタ</p>
取得例	送信	@GUC <input type="checkbox"/>
	返信	@GUC,1,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	音声を出力するコネクタを取得。 HDMI OUT A のみ音声出力、その他は音声出力しない。
設定例	送信	@SUC,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SUC,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI OUT A から音声を出力するに設定。 正常終了。
備考		—

@GAV / @SAV		出力音声レベル
取得	送信	@GAV, ch [↵]
	返信	@GAV, ch, d_level, a_level, s1_level, s2_level [↵]
設定	送信	@SAV, ch, out, level [↵]
	返信	@SAV, ch, out, level [↵]
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル “1” 固定です。</p> <p>d_level : 出力音声レベル [dB] HDMI / HDBT 出力コネクタ a_level : 出力音声レベル [dB] アナログ音声出力コネクタ s1_level : 出力音声レベル [dB] スピーカー1 出力コネクタ s2_level : 出力音声レベル [dB] スピーカー2 出力コネクタ level : 出力音声レベル [dB] -100 ~ +10 ※初期値 ±0</p> <p>out : 出力コネクタ 1 = HDMI / HDBT 出力コネクタ, 2 = アナログ音声出力コネクタ, 3 = スピーカー1 出力コネクタ, 4 = スピーカー2 出力コネクタ</p>
取得例	送信	@GAV,1 [↵]
	返信	@GAV,1,-4,0,0,2 [↵]
	説明	<p>出力音声レベルを取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HDMI / HDBT 出力コネクタ : -4 dB</li> <li>・ アナログ音声出力コネクタ : ±0 dB</li> <li>・ スピーカー1 出力コネクタ : ±0 dB</li> <li>・ スピーカー2 出力コネクタ : +2 dB</li> </ul>
設定例	送信	@SAV,1,1,-4 [↵]
	返信	@SAV,1,1,-4 [↵]
	説明	HDMI / HDBT 出力コネクタの出力音声レベルを-4 dB に設定。 正常終了。
備考		音声ミュート中に出力音声レベルを変更すると、音声ミュートは解除されます。

@SOL		出力音声レベル 相対値
設定	送信	@SOL, ch, out, updown <input type="checkbox"/>
	返信	@SOL, ch, out, updown <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル “1” 固定です。</p> <p>out : 音声の出力コネクタ 1 = HDMI / HDBT 出力コネクタ, 2 = アナログ音声出力コネクタ, 3 = スピーカー1 出力コネクタ, 4 = スピーカー2 出力コネクタ</p> <p>updown : 相対設定 [dB] -110 ~ +110 現在の出力音声レベル設定に、指定した値を加算 / 減算します。 加算 / 減算した結果、出力音声レベルがリミット値 (-100 dB ~ +10 dB) を超える場合は、リミット値に制限されます。</p>
設定例	送信	@SOL,1,1,-1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SOL,1,1,-1 <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI / HDBT 出力コネクタの出力音声レベルを 1 dB 下げる。 正常終了。
備考		音声ミュート中に出力音声レベルを変更すると、音声ミュートは解除されます。

@GOL		出力音声レベル リミット状態
取得	送信	@GOL, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GOL, ch, d_limit, a_limit, s1_limit, s2_limit <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル “1” 固定です。</p> <p>d_limit : 出力音声レベルのリミット状態 HDMI / HDBT 出力コネクタ a_limit : 出力音声レベルのリミット状態 アナログ音声出力コネクタ s1_limit : 出力音声レベルのリミット状態 スピーカー1 出力コネクタ s2_limit : 出力音声レベルのリミット状態 スピーカー2 出力コネクタ -1 = 最小設定値 (-100 dB), 0 = リミット状態ではない, 1 = 最大設定値 (+10 dB)</p>
取得例	送信	@GOL,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GOL,1,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	出力音声レベルのリミット状態を取得。 全出力コネクタの出力音声レベルは最大設定値。
備考		—

@GTR / @STR		トーンコントロール
取得	送信	@GTR <input type="checkbox"/>
	返信	@GTR, sp1_treble, sp1_bass, sp2_treble, sp2_bass <input type="checkbox"/>
設定	送信	@STR, ch, treble, bass <input type="checkbox"/>
	返信	@STR, ch, treble, bass <input type="checkbox"/>
パラメータ		sp1_treble : 高音域 [dB] スピーカー1 出力コネクタ sp1_bass : 低音域 [dB] スピーカー1 出力コネクタ sp2_treble : 高音域 [dB] スピーカー2 出力コネクタ sp2_bass : 低音域 [dB] スピーカー2 出力コネクタ treble : 高音域 [dB] bass : 低音域 [dB] -10 ~ +10 ※初期値 ±0 ch : 出力チャンネル 1 = スピーカー1 出力コネクタ, 2 = スピーカー2 出力コネクタ
取得例	送信	@GTR <input type="checkbox"/>
	返信	@GTR,10,0,-10,0 <input type="checkbox"/>
	説明	トーンコントロールの設定値を取得。 スピーカー1 出力コネクタの高音域は+10 dB、低音域は±0 dB、 スピーカー2 出力コネクタの高音域は-10 dB、低音域は±0 dB。
設定例	送信	@STR,2,10,10 <input type="checkbox"/>
	返信	@STR,2,10,10 <input type="checkbox"/>
	説明	スピーカー2 出力コネクタの高音域と低音域を+10 dB に設定する。 正常終了。
備考		—

@GAM / @SAM		音声ミュート
取得	送信	@GAM <input type="checkbox"/>
	返信	@GAM, mute <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SAM, ch, mute <input type="checkbox"/>
	返信	@SAM, ch, mute <input type="checkbox"/>
パラメータ		mute : 音声ミュート 0 = OFF ※初期値, 1 = ON ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GAM <input type="checkbox"/>
	返信	@GAM,1 <input type="checkbox"/>
	説明	音声ミュートの設定値を取得。 ON。
設定例	送信	@SAM,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SAM,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	音声ミュートに設定する。 正常終了。
備考		—

@GLO / @SLO		出力リップシンク
取得	送信	@GLO <input type="checkbox"/>
	返信	@GLO, time <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SLO, ch, time <input type="checkbox"/>
	返信	@SLO, ch, time <input type="checkbox"/>
パラメータ		time : 出力リップシンク [ms] 0 ~ 128 ※初期値 0 ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GLO <input type="checkbox"/>
	返信	@GLO,2 <input type="checkbox"/>
	説明	出力リップシンクの設定値を取得。 2 ms。
設定例	送信	@SLO,1,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SLO,1,2 <input type="checkbox"/>
	説明	出力リップシンクを 2 ms に設定。 正常終了。
備考		遅延量の最大は、入力リップシンクと出力リップシンク合わせて 256 ms です。 【参照 : @GLY / @SLY 入力リップシンク (P.85)】

@GSF / @SSF		サンプリング周波数
取得	送信	@GSF <input type="checkbox"/>
	返信	@GSF, frequency <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSF, ch, frequency <input type="checkbox"/>
	返信	@SSF, ch, frequency <input type="checkbox"/>
パラメータ		frequency : サンプリング周波数 0 = AUTO-A ※初期値, 1 = AUTO-B, 2 = AUTO-C 3 = 32 kHz, 4 = 44.1 kHz, 5 = 48 kHz, 6 = 88.2 kHz, 7 = 96 kHz, 8 = 192 kHz ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GSF <input type="checkbox"/>
	返信	@GSF,2 <input type="checkbox"/>
	説明	サンプリング周波数の設定値を取得。 AUTO-C。
設定例	送信	@SSF,1,4 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSF,1,4 <input type="checkbox"/>
	説明	サンプリング周波数を 44.1 kHz に設定。 正常終了。
備考		—

@GFD		実際のサンプリング周波数
取得	送信	@GFD <input type="checkbox"/>
	返信	@GFD, frequency <input type="checkbox"/>
パラメータ		frequency : サンプリング周波数 1 = 32 kHz,                      2 = 44.1 kHz,                      3 = 48 kHz ※初期値, 4 = 88.2 kHz,                      5 = 96 kHz,                      6 = 192 kHz
取得例	送信	@GFD <input type="checkbox"/>
	返信	@GFD,5 <input type="checkbox"/>
	説明	実際のサンプリング周波数を取得。 96 kHz で出力している。
備考		実際に出力しているサンプリング周波数を返信します。 【参照 : @GSF / @SSF サンプリング周波数 (P.72)】

@GMI / @SMI		出力のミキシング
取得	送信	@GMI, ch, output <input type="checkbox"/>
	返信	@GMI, ch, output, digital_in, analog_in, line_in, mic_in <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SMI, ch, output, digital_in, analog_in, line_in, mic_in <input type="checkbox"/>
	返信	@SMI, ch, output, digital_in, analog_in, line_in, mic_in <input type="checkbox"/>
パラメータ		ch : 出力チャンネル "1" 固定です。 output : 音声出力コネクタ 0 = 全音声出力, 1 = HDMI / HDBT 出力コネクタ, 2 = アナログ音声出力コネクタ, 3 = スピーカー1 出力コネクタ, 4 = スピーカー2 出力コネクタ "0 = 全出力" は設定時のみ指定できます。 digital_in : HDMI / HDBaseT / DVI 入力コネクタ analog_in : アナログ音声入力コネクタ line_in : ライン入力コネクタ mic_in : マイク入力コネクタ 0 = ミキシング OFF, 1 = ミキシング ON ※初期値
取得例	送信	@GMI,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GMI,1,1,1,0,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	デジタル出力のミキシング設定値を取得。 デジタル入力とライン入力はミキシング ON、アナログ入力とマイク入力はミキシング OFF。
設定例	送信	@SMI,1,3,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SMI,1,3,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	スピーカー1 出力は全入力ミキシング ON に設定。 正常終了。
備考		—

@GMD / @SMD		マルチチャンネル音声の出力
取得	送信	@GMD <input type="checkbox"/>
	返信	@GMD, out <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SMD, ch, out <input type="checkbox"/>
	返信	@SMD, ch, out <input type="checkbox"/>
パラメータ		out : マルチチャンネル音声の出力 0 = CH1 / CH2 STEREO,    1 = CH3 / CH4 STEREO, 2 = CH5 / CH6 STEREO,    3 = CH7 / CH8 STEREO, 4 = CH1 / CH2 MONO,      5 = CH3 / CH4 MONO, 6 = CH5 / CH6 MONO,      7 = CH7 / CH8 MONO, 8 = DOWN MIX ※初期値
		ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GMD <input type="checkbox"/>
	返信	@GMD,4 <input type="checkbox"/>
	説明	マルチチャンネル音声の出力を取得。 CH1 / CH2 をモノラル化した音声を出力する。
設定例	送信	@SMD,1,8 <input type="checkbox"/>
	返信	@SMD,1,8 <input type="checkbox"/>
	説明	ダウンミックスした音声出力設定。 正常終了。
備考		—

@GCH / @SCH		マルチチャンネル音声出力優先度
取得	送信	@GCH <input type="checkbox"/>
	返信	@GCH, out <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SCH, ch, out <input type="checkbox"/>
	返信	@SCH, ch, out <input type="checkbox"/>
パラメータ		out : マルチチャンネル音声出力優先度 0 = 2CH,    1 = MULTI ※初期値
		ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GCH <input type="checkbox"/>
	返信	@GCH,0 <input type="checkbox"/>
	説明	マルチチャンネル音声出力優先度を取得。 2CH を優先。
設定例	送信	@SCH,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SCH,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	マルチチャンネル音声を優先に出力設定。 正常終了。
備考		—

@GPO / @SPO		スピーカー2 出力選択
取得	送信	@GPO, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GPO, ch, speaker <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SPO, ch, speaker <input type="checkbox"/>
	返信	@SPO, ch, speaker <input type="checkbox"/>
パラメータ		ch : 出力チャンネル “1” 固定です。 speaker : スピーカー2 出力設定 0 = 4-16Ω (LO-Z) ※初期値, 1 = 100V (HI-Z)
取得例	送信	@GPO,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GPO,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	スピーカー2 の出力設定を取得。 スピーカー2 は 100V (HI-Z) で出力。
設定例	送信	@SPO,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SPO,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	スピーカー2 を 100V (HI-Z) で出力に設定する。 正常終了。
備考	-	

@GAT / @SAT		テストトーン
取得	送信	@GAT <input type="checkbox"/>
	返信	@GAT, tone, speaker <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SAT, ch, tone, speaker <input type="checkbox"/>
	返信	@SAT, ch, tone, speaker <input type="checkbox"/>
パラメータ		tone : テストトーン 0 = OFF ※初期値, 1 = 1 kHz, 2 = 400 Hz speaker : スピーカー 0 = ALL ※初期値, 1 = FRONT L/R, 2 = REAR L/R, 3 = REAR L/R CENTER, 4 = FRONT LEFT, 5 = FRONT RIGHT, 6 = LOW FREQUENCY EFFECT, 7 = FRONT CENTER, 8 = REAR LEFT, 9 = REAR RIGHT, 10 = REAR LEFT CENTER, 11 = REAR RIGHT CENTER ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GAT <input type="checkbox"/>
	返信	@GAT,2,1 <input type="checkbox"/>
	説明	テストトーンの出力設定を取得。 FRONT L/R に 400 Hz のテストトーンを出力する。
設定例	送信	@SAT,1,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SAT,1,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	すべてのスピーカーに 1 kHz のテストトーンを出力設定。 正常終了。
備考	LOW FREQUENCY EFFECT は 30 Hz です。	

## 3.3.12 入力音声設定

@GAS / @SAS		入力音声選択
取得	送信	@GAS [↵]
	返信	@GAS, select_1, select_2, select_3, select_4, select_5, select_6, select_7 [↵]
設定	送信	@SAS, ch, select (, ch, select...) [↵]
	返信	@SAS, ch, select (, ch, select...) [↵]
パラメータ		select_1-7 : 入力音声選択 IN1 ~ IN7 select : 入力音声選択 0 = DIGITAL ※初期値, 1 = ANALOG1, 2 = ANALOG2, 3 = ANALOG3
		ch : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GAS [↵]
	返信	@GAS,1,0,0,0,0,0,0 [↵]
	説明	入力音声選択を取得。 IN1 はアナログ音声 1 を使用し、その他の入力チャンネルはデジタル音声に設定。
設定例	送信	@SAS,3,1 [↵]
	返信	@SAS,3,1 [↵]
	説明	IN3 の入力音声をアナログ音声 1 に設定。 正常終了。
備考		—

@GIO / @SIO		入力音声レベルオフセット (音声入力コネクタごと)
取得	送信	@GIO <input type="checkbox"/>
	返信	@GIO, level_d1, level_d2, level_d3, level_d4, level_d5, level_d6, level_d7, level_a1, level_a2, level_a3, level_l, level_m <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIO, ch, level (, ch, level...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SIO, ch, level (, ch, level...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		level_d1-d7 : 入力音声レベルオフセット [dB] IN1 ~ IN7 level_a1-a3 : 入力音声レベルオフセット [dB] ANALOG1 ~ ANALOG3 level_l : 入力音声レベルオフセット [dB] LINE level_m : 入力音声レベルオフセット [dB] MIC level : 入力音声レベルオフセット [dB] -100 ~ +10 ※初期値 ±0  ch : 音声入力コネクタ 0 = 全入力,   1 = IN1 ~ 7 = IN7,   8 = ANALOG1 ~ 10 = ANALOG3, 11 = LINE,   12 = MIC
取得例	送信	@GIO <input type="checkbox"/>
	返信	@GIO,0,0,0,0,-4,0,0,10,0,0,0,-8 <input type="checkbox"/>
	説明	入力音声レベルオフセットを取得。 IN5 は-4 dB、ANALOG1 は+10 dB、MIC は-8 dB、その他の入力は±0 dB。
設定例	送信	@SIO,5,-8 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIO,5,-8 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5 の入力音声レベルオフセットを-8 dB に設定。 正常終了。
備考		—

@GSO / @SSO		入力音声レベルオフセット (音声入力チャンネルごと)
取得	送信	@GSO <input type="checkbox"/>
	返信	@GSO, level_1, level_2, level_3, level_4, level_5, level_6, level_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSO, ch, level (, ch, level...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SSO, ch, level (, ch, level...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		level_1-7 : 入力音声レベルオフセット [dB] IN1 ~ IN7 level : 入力音声レベルオフセット [dB] -100 ~ +10 ※初期値 ±0  ch : 音声入力チャンネル 0 = 全入力,   1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GSO <input type="checkbox"/>
	返信	@GSO,0,0,0,0,-4,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	入力音声レベルオフセットを取得。 IN5 は-4 dB、その他の入力チャンネルは±0 dB。
設定例	送信	@SSO,5,-8 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSO,5,-8 <input type="checkbox"/>
	説明	IN5 の入力音声レベルオフセットを-8 dB に設定。 正常終了。
備考		—

@SDZ		入力音声レベル 相対値
設定	送信	@SDZ, ch, updown (, ch, updown···)
	返信	@SDZ, ch, updown (, ch, updown···)
パラメータ		<p>ch : 音声入力コネクタ  0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7, 8 = ANALOG1 ~ 10 = ANALOG3,  11 = LINE, 12 = MIC</p> <p>updown : 相対設定 [dB]  -110 ~ +110</p> <p>現在の入力音声レベルのオフセット設定に、指定した値を加算 / 減算します。  加算 / 減算した結果、入力音声レベルがリミット値 (-100 dB ~ +10 dB) を超える場合は、リミット値に制限されます。</p>
設定例	送信	@SDZ,1,-1
	返信	@SDZ,1,-1
	説明	IN1 の入力音声レベルを 1 dB 下げる。 正常終了。
備考		—

@GDZ		入力音声レベル リミット状態
取得	送信	@GDZ
	返信	@GDZ, level_d1, level_d2, level_d3, level_d4, level_d5, level_d6, level_d7, level_a1, level_a2, level_a3, level_l, level_m
パラメータ		<p>level_d1-7 : 入力音声レベルリミット状態 IN1 ~ IN7  level_a1-3 : 入力音声レベルリミット状態 ANALOG1 ~ ANALOG3  level_l : 入力音声レベルリミット状態 LINE  level_m : 入力音声レベルリミット状態 MIC  -1 = 最小設定値 (-100 dB), 0 = リミット状態ではない,  1 = 最大設定値 (+10 dB)</p>
取得例	送信	@GDZ
	返信	@GDZ,1,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0
	説明	入力音声レベルのリミット状態を取得。 IN1 の入力音声レベルは最大設定値、その他の入力はリミット状態ではない。
備考		—

@GLR / @SLR		ライン入力音声基準レベル
取得	送信	@GLR <input type="checkbox"/>
	返信	@GLR, level <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SLR, level <input type="checkbox"/>
	返信	@SLR, level <input type="checkbox"/>
パラメータ		level : ライン入力音声基準レベル 0 = 0 dB, 1 = -10 dBu ※初期値, 2 = -20 dBu, 3 = -30 dBu, 4 = -40 dBu
取得例	送信	@GLR <input type="checkbox"/>
	返信	@GLR,2 <input type="checkbox"/>
	説明	ライン入力音声基準レベルを取得。 -20 dBu。
設定例	送信	@SLR,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SLR,0 <input type="checkbox"/>
	説明	ライン入力音声基準レベルを 0 dBu に設定。 正常終了。
備考		—

@GMR / @SMR		マイク入力音声基準レベル
取得	送信	@GMR <input type="checkbox"/>
	返信	@GMR, level <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SMR, level <input type="checkbox"/>
	返信	@SMR, level <input type="checkbox"/>
パラメータ		level : マイク入力音声基準レベル 0 = 0 dBu, 1 = -10 dBu, 2 = -20 dBu, 3 = -30 dBu, 4 = -40 dBu, 5 = -50 dBu, 6 = -60 dBu ※初期値, 7 = -70 dBu
取得例	送信	@GMR <input type="checkbox"/>
	返信	@GMR,2 <input type="checkbox"/>
	説明	マイク入力音声基準レベルを取得。 -20 dBu。
設定例	送信	@SMR,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SMR,0 <input type="checkbox"/>
	説明	マイク入力音声基準レベルを 0 dBu に設定。 正常終了。
備考		—

@GVL / @SVL		音量調整
取得	送信	@GVL Ⓜ
	返信	@GVL, level_s, level_l, level_m Ⓜ
設定	送信	@SVL, ch, level (, ch, level...) Ⓜ
	返信	@SVL, ch, level (, ch, level...) Ⓜ
パラメータ		<p>level_s : 入力音量調整レベル [dB] SOURCE  level_l : 入力音量調整レベル [dB] LINE  level_m : 入力音量調整レベル [dB] MIC  level : 入力音量調整レベル [dB]  -100 ~ +10 ※初期値 ±0</p> <p>ch : 音声入力コネクタ  0 = 全入力, 1 = SOURCE, 2 = LINE, 3 = MIC</p>
取得例	送信	@GVL Ⓜ
	返信	@GVL, -10,0,0,0 Ⓜ
	説明	入力音量調整レベルを取得。 ソース入力は-10 dB、その他の入力は±0 dB。
設定例	送信	@SVL,2, -8 Ⓜ
	返信	@SVL,2, -8 Ⓜ
	説明	ライン入力音量調整レベルを-8 dB に設定。 正常終了。
備考		—

@GCS / @SCS		コンプレッサー
取得	送信	@GCS, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GCS, ch, threshold, comp_ratio, comp_release, exp_ratio, exp_release <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SCS, ch, threshold, comp_ratio, comp_release, exp_ratio, exp_release <input type="checkbox"/>
	返信	@SCS, ch, threshold, comp_ratio, comp_release, exp_ratio, exp_release <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 音声入力チャンネル 1 = LINE, 2 = MIC</p> <p>threshold : スレッシュホルドレベル 0 = 0 dB ※初期値, 1 = -4 dB, 2 = -8 dB, 3 = -12 dB, 4 = -16 dB, 5 = -20 dB, 6 = -24 dB, 7 = -28 dB, 8 = -32 dB, 9 = -36 dB, 10 = -40 dB</p> <p>comp_ratio : コンプレッサーの圧縮比率 exp_ratio : エクスパンダーの拡張比率 0 = 1:1 ※初期値, 1 = 1.1:1, 2 = 2:1, 3 = 3:1, 4 = 4:1, 5 = 5.1:1, 6 = 6:1, 7 = 7.1:1, 8 = 8:1, 9 = LIMIT</p> <p>comp_release : コンプレッサーのリリースタイム exp_release : エクスパンダーのリリースタイム 0 = 1 ms ※初期値, 1 = 100 ms, 2 = 200 ms, 3 = 300 ms, 4 = 400 ms, 5 = 500 ms, 6 = 600 ms, 7 = 700 ms, 8 = 800 ms, 9 = 900 ms, 10 = 1000 ms</p>
取得例	送信	@GCS,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@GCS,2,5,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	マイク入力のコンプレッサーの設定を取得。 スレッシュホルドレベルは-20 dB、コンプレッサーの圧縮比率は 1:1、エクスパンダーの拡張比率は 1:1、コンプレッサーとエクスパンダーのリリースタイムは 1 ms。
設定例	送信	@SCS,1,3,2,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SCS,1,3,2,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	ライン入力のスレッシュホルドレベルを-12 dB、コンプレッサーの圧縮比率を 2:1、エクスパンダーの拡張比率を 1:1、コンプレッサーとエクスパンダーのリリースタイムを 1 ms に設定。 正常終了。
備考		—

@GAQ / @SAQ		イコライザ
取得	送信	@GAQ, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GAQ, ch, freq_1, gain_1, freq_2, gain_2, freq_3, gain_3, freq_4, gain_4, freq_5, gain_5, freq_6, gain_6, freq_7, gain_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SAQ, ch, eq, freq, gain <input type="checkbox"/>
	返信	@SAQ, ch, eq, freq, gain <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 1 = LINE, 2 = MIC</p> <p>freq_1-7 : 中心周波数 EQUALIZER1 ~ EQUALIZER7 freq : 中心周波数 0 = 25Hz, 1 = 40Hz, 2 = 63Hz, 3 = 100Hz, 4 = 160Hz, 5 = 250Hz, 6 = 400Hz, 7 = 630Hz, 8 = 1k, 9 = 1.6k, 10 = 2.5k, 11 = 4k, 12 = 6.3k, 13 = 10k, 14 = 16k ※初期値 EQUALIZER1 : 100Hz, EQUALIZER2 : 250Hz, EQUALIZER3 : 1k, EQUALIZER4 : 1.6k, EQUALIZER5 : 2.5k, EQUALIZER6 : 4k, EQUALIZER7 : 10k</p> <p>gain_1-7 : ゲイン EQUALIZER1 ~ EQUALIZER7 gain : ゲイン 0 = 0 dB ※初期値, 1 = -3 dB, 2 = -6 dB, 3 = -9 dB</p> <p>eq : イコライザ番号 1 = EQUALIZER1, 2 = EQUALIZER2, 3 = EQUALIZER3, 4 = EQUALIZER4, 5 = EQUALIZER5, 6 = EQUALIZER6, 7 = EQUALIZER7</p>
取得例	送信	@GAQ,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GAQ,1,3,0,5,0,8,0,9,0,10,0,11,0,13,0 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>ライン入力のイコライザの設定を取得。</p> <p>EQUALIZER1 の中心周波数は 100Hz、ゲインは 0 dB。 EQUALIZER2 の中心周波数は 250Hz、ゲインは 0 dB。 EQUALIZER3 の中心周波数は 1k、ゲインは 0 dB。 EQUALIZER4 の中心周波数は 1.6k、ゲインは 0 dB。 EQUALIZER5 の中心周波数は 2.5k、ゲインは 0 dB。 EQUALIZER6 の中心周波数は 4k、ゲインは 0 dB。 EQUALIZER7 の中心周波数は 10k、ゲインは 0 dB。</p>
設定例	送信	@SAQ,1,2,4,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SAQ,1,2,4,1 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>ライン入力の EQUALIZER2 の中心周波数を 160Hz、ゲインを-3 dB に設定する。 正常終了。</p>
備考		—

@GHW / @SHW		フィードバックサプレッサ (抑制レベルの設定)
取得	送信	@GHW, ch [↵]
	返信	@GHW, ch, mode, gain, peak [↵]
設定	送信	@SHW, ch, mode (, gain, peak) [↵]
	返信	@SHW, ch, mode (, gain, peak) [↵]
パラメータ		ch : 音声入力チャンネル 1 = LINE, 2 = MIC mode : フィードバックサプレッサ 0 = OFF ※初期値, 1 = ON gain : 抑制レベル 1 = -3 dB, 2 = -6 dB ※初期値 peak : 検出入力レベル [dB] -30 ~ 0 ※初期値 -5
取得例	送信	@GHW,1 [↵]
	返信	@GHW,1,1,2,-20 [↵]
	説明	ライン入力のフィードバックサプレッサの設定を取得。 フィードバックサプレッサは ON、抑制レベルは-6 dB、検出入力レベルは-20 dB。
設定例	送信	@SHW,1,1,2,-30 [↵]
	返信	@SHW,1,1,2,-30 [↵]
	説明	ライン入力のフィードバックサプレッサを ON に設定し、抑制レベルを-6 dB、検出入力レベルを-30 dB に設定する。 正常終了。
備考		フィードバックサプレッサを“OFF”に設定する場合は、抑制レベルと検出入力レベルは省略可能です。 設定のコマンドが正常終了すると、抑制中の周波数の設定は初期化されます。

@GHO		フィードバックサプレッサ (抑制中の周波数の取得)
取得	送信	@GHO, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GHO, ch, detect_25Hz, detect_40Hz, detect_63Hz, detect_100Hz, detect_160Hz, detect_250Hz, detect_400Hz, detect_630Hz, detect_1kHz, detect_1.6kHz, detect_2.5kHz, detect_4kHz, detect_6.3kHz, detect_10kHz <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 音声入力チャンネル 1 = LINE, 2 = MIC</p> <p>detect_25Hz : 25 Hz の抑制状態  detect_40Hz : 40 Hz の抑制状態  detect_63Hz : 63 Hz の抑制状態  detect_100Hz : 100 Hz の抑制状態  detect_160Hz : 160 Hz の抑制状態  detect_250Hz : 250 Hz の抑制状態  detect_400Hz : 400 Hz の抑制状態  detect_630Hz : 630 Hz の抑制状態  detect_1kHz : 1 kHz の抑制状態  detect_1.6kHz : 1.6 kHz の抑制状態  detect_2.5kHz : 2.5 kHz の抑制状態  detect_4kHz : 4 kHz の抑制状態  detect_6.3kHz : 6.3 kHz の抑制状態  detect_10kHz : 10 kHz の抑制状態  0 = 未検出, 1 = 抑制中</p>
取得例	送信	@GHO,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GHO,1,1,1,1,0,0,0,1,1,1,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	ライン入力の抑制中の周波数を取得。 25 Hz、40 Hz、63 Hz、400 Hz、630 Hz および 1 kHz を抑制中。
備考		—

@GLY / @SLY		入力リップシンク
取得	送信	@GLY [↵]
	返信	@GLY, time_1, time_2, time_3, time_4, time_5, time_6, time_7 [↵]
設定	送信	@SLY, ch, time (, ch, time...) [↵]
	返信	@SLY, ch, time (, ch, time...) [↵]
パラメータ		time_1-7 : 入力リップシンク [ms] IN1 ~ IN7 time : 入力リップシンク [ms] 0 ~ 128 ※初期値 0
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GLY [↵]
	返信	@GLY,0,0,0,2,0,0,0 [↵]
	説明	入力リップシンクを取得。 IN4 は 2 ms、その他の入力 は 0 ms。
設定例	送信	@SLY,4,100 [↵]
	返信	@SLY,4,100 [↵]
	説明	IN4 のリップシンクを 100 ms に設定。 正常終了。
備考		遅延量の最大は、入力リップシンクと出力リップシンクを合わせて 256 ms です。 【参照 : @GLO / @SLO 出力リップシンク (P.72)】

@GAW / @SAW		音声入力時の安定待ち
取得	送信	@GAW [↵]
	返信	@GAW, wait_1, wait_2, wait_3, wait_4, wait_5, wait_6, wait_7 [↵]
設定	送信	@SAW, ch, wait (, ch, wait...) [↵]
	返信	@SAW, ch, wait (, ch, wait...) [↵]
パラメータ		wait_1-7 : 音声入力時の安定待ち IN1 ~ IN7 wait : 音声入力時の安定待ち 0 = OFF, 1 = ON ※初期値
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GAW [↵]
	返信	@GAW,1,1,0,1,1,1,1 [↵]
	説明	音声入力時の安定待ちを取得。 IN3 は OFF、その他の入力 は ON。
設定例	送信	@SAW,1,0 [↵]
	返信	@SAW,1,0 [↵]
	説明	IN1 の音声入力時の安定待ちを OFF に設定。 正常終了。
備考		デジタル入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択が“デジタル信号”に設定されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】 音声入力選択が“DIGITAL”に設定されている場合のみ有効です。 【参照 : @GAS / @SAS 入力音声選択 (P.76)】

## 3.3.13 EDID 設定

@GED / @SED		EDID 選択
取得	送信	@GED ↵
	返信	@GED, edid_1, edid_2, edid_3, edid_4, edid_5, edid_6, edid_7 ↵
設定	送信	@SED, ch, edid (, ch, edid...) ↵
	返信	@SED, ch, edid (, ch, edid...) ↵
パラメータ		edid_1-7 : EDID IN1 ~ IN7 edid : EDID 0 = 内蔵 EDID ※初期値, 1 = HDMI OUT A MONITOR, 2 = HDMI OUT B MONITOR, 3 = HDBT OUT C MONITOR, 101 ~ 108 = COPY DATA 1 ~ COPY DATA 8 -1 = アナログ設定のため対象外 (取得のみ)
		ch : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GED ↵
	返信	@GED,0,0,0,3,0,0,0 ↵
	説明	EDID データを取得。 IN4 は HDBT OUT C に接続されたシンク機器の EDID、その他の入力は内蔵 EDID。
設定例	送信	@SED,2,3 ↵
	返信	@SED,2,3 ↵
	説明	IN2 を HDBT OUT C に接続されたシンク機器から読み取った EDID に設定。 正常終了。
備考		デジタル入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択が“デジタル信号”に設定されている場合のみ有効です。 【参照：@GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】 コピーデータは、シンク機器から EDID をコピーする必要があります。 【参照：@RME EDID のコピー (P.88)】

@GVF / @SVF		入力解像度
取得	送信	@GVF <input type="checkbox"/>
	返信	@GVF, resolution_1, resolution_2, resolution_3, resolution_4, resolution_5, resolution_6, resolution_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SVF, ch, resolution (, ch, resolution...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SVF, ch, resolution (, ch, resolution...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		resolution_1-7 : 入力解像度 IN1 ~ IN7 resolution : 入力解像度 0 = SVGA(800x600), 1 = XGA(1024x768), 2 = VESA720p(1280x720), 3 = 720p(1280x720), 4 = WXGA(1280x768), 5 = WXGA(1280x800), 6 = QuadVGA(1280x960), 7 = SXGA(1280x1024), 8 = WXGA(1360x768), 9 = WXGA(1366x768), 10 = SXGA+(1400x1050), 11 = WXGA+(1440x900), 12 = WXGA++(1600x900), 13 = UXGA(1600x1200), 14 = WSXGA+(1680x1050), 15 = 1080i(1920x1080), 16 = VESA1080p(1920x1080), 17 = 1080p(1920x1080), 18 = WUXGA(1920x1200), 19 = QWXGA(2048x1152) ※初期値 1080p(1920x1080)
		ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GVF <input type="checkbox"/>
	返信	@GVF,6,6,9,6,6,6,6 <input type="checkbox"/>
	説明	入力解像度を取得。 IN3 は WXGA、その他の入力 は QuadVGA。
設定例	送信	@SVF,0,12 <input type="checkbox"/>
	返信	@SVF,0,12 <input type="checkbox"/>
	説明	全入力チャンネルの EDID を WXGA++に設定。 正常終了。
備考		—

@RME		EDID のコピー
設定	送信	@RME, out, number (, name) <input type="checkbox"/>
	返信	@RME, out, number (, name) <input type="checkbox"/>
パラメータ	out : 読み取りコネクタ 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C	
	number : 保存先の COPY DATA 番号 1 ~ 8	
	name : COPY DATA 名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで COPY DATA 名は省略可能です。 省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに EDID の設定のみ保存します。	
設定例	送信	@RME,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@RME,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI OUT A に接続されているシンク機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 1 に保存。 正常終了。
設定例	送信	@RME,1,4,800x600 <input type="checkbox"/>
	返信	@RME,1,4,800x600 <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI OUT A に接続されているシンク機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 4 に「800x600」という名前を付けて保存。 正常終了。
備考	コピーした EDID は入力コネクタごとに EDID 選択して使用します。 【参照 : @GED / @SED EDID 選択 (P.86)】	

@GHL / @SHL		HDMI / DVI 選択
取得	送信	@GHL <input type="checkbox"/>
	返信	@GHL, mode_1, mode_2, mode_3, mode_4, mode_5, mode_6, mode_7 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SHL, ch, mode (, ch, mode...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SHL, ch, mode (, ch, mode...) <input type="checkbox"/>
パラメータ	mode_1-7 : 入力信号選択 IN1 ~ IN7 mode : 入力信号選択 0 = DVI, 1 = HDMI ※初期値, -1 = アナログ設定のため対象外 (取得のみ)	
	ch : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7	
取得例	送信	@GHL <input type="checkbox"/>
	返信	@GHL,1,1,1,0,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	入力信号のモードを取得。 IN4 は DVI、その他の入力 は HDMI。
設定例	送信	@SHL,4,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SHL,4,0 <input type="checkbox"/>
	説明	IN4 の入力信号のモードを DVI に設定。 正常終了。
備考	デジタル入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択が“デジタル信号”に設定されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】	

@GHZ / @SHZ		フレームレート
取得	送信	@GHZ [↵]
	返信	@GHZ, frame_1, frame_2, frame_3, frame_4, frame_5, frame_6, frame_7 [↵]
設定	送信	@SHZ, ch, frame (, ch, frame...) [↵]
	返信	@SHZ, ch, frame (, ch, frame...) [↵]
パラメータ		frame_1-7 : フレームレート IN1 ~ IN7 frame : フレームレート 0 = 60 Hz ※初期値, 1 = 50 Hz ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GHZ [↵]
	返信	@GHZ,1,1,1,0,1,1,1 [↵]
	説明	入力映像のフレームレートを取得。 IN4 の入力映像のフレームレートは 60 Hz、その他の入力は 50 Hz。
設定例	送信	@SHZ,4,0 [↵]
	返信	@SHZ,4,0 [↵]
	説明	IN4 の入力映像のフレームレートを 60 Hz に設定。 正常終了。
備考		—

@GDI / @SDI		Deep Color 入力
取得	送信	@GDI [↵]
	返信	@GDI, color_1, color_2, color_3, color_4, color_5, color_6, color_7 [↵]
設定	送信	@SDI, ch, color (, ch, color...) [↵]
	返信	@SDI, ch, color (, ch, color...) [↵]
パラメータ		color_1-7 : 色深度 IN1 ~ IN7 color : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR, -1 = アナログ設定のため対象外 (取得のみ) ch : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GDI [↵]
	返信	@GDI,1,1,1,0,1,1,1 [↵]
	説明	色深度を取得。 IN4 は 24-BIT COLOR、その他の入力は 30-BIT COLOR。
設定例	送信	@SDI,4,0 [↵]
	返信	@SDI,4,0 [↵]
	説明	IN4 の色深度を 24-BIT COLOR に設定。 正常終了。
備考		デジタル入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択が“デジタル信号”に設定されている場合のみ有効です。 【参照 : @GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】

@GAF / @SAF		音声フォーマット																
取得	送信	@GAF, ch <input type="checkbox"/>																
	返信	@GAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) <input type="checkbox"/>																
設定	送信	@SAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) <input type="checkbox"/>																
	返信	@SAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) <input type="checkbox"/>																
パラメータ		<p>ch : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7 “0 = 全デジタル入力”は、設定時のみ指定することができます。</p> <p>format_1-7 : 音声フォーマット 0 = リニア PCM, 1 = AAC, 2 = Dolby Digital, 3 = Dolby Digital Plus, 4 = Dolby TrueHD, 5 = DTS, 6 = DTS-HD, -1 = アナログ設定のため対象外 (取得のみ) ※初期値 リニア PCM のみ出力許可</p> <p>frequency_1-7 : 最大サンプリング周波数 0 = 出力を許可しない, 1 = 32 kHz, 2 = 44.1 kHz, 3 = 48 kHz, 4 = 88.2 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 176.4 kHz, 7 = 192 kHz ※初期値 DTS-HD は 192 kHz、Dolby TrueHD は 96 kHz、それ以外は 48 kHz</p> <p>“出力を許可しない”は、設定時のみ指定することができます。 指定可能な最大サンプリング周波数は、音声フォーマットにより異なります</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>最大サンプリング周波数 (kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リニア PCM</td> <td>32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital Plus</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> </tbody> </table> <p>取得時は、出力が許可されている音声フォーマットと最大サンプリング周波数を返信します。 設定時は、出力を許可する音声フォーマットと最大サンプリング周波数を指定します。 出力を許可する音声フォーマットのみ設定します、その他の音声フォーマットはすべて“出力を許可しない”に設定されます。 リニア PCM は必須の音声フォーマットで必ず許可されます、最大サンプリング周波数を変更する必要がなければ省略可能です。</p>	音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)	リニア PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	AAC	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96	Dolby Digital	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48	Dolby Digital Plus	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48	Dolby TrueHD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	DTS	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96	DTS-HD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192
音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)																	
リニア PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
AAC	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96																	
Dolby Digital	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48																	
Dolby Digital Plus	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48																	
Dolby TrueHD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
DTS	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96																	
DTS-HD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	

@GAF / @SAF		音声フォーマット (つづき)
取得例	送信	@GAF,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GAF,1,0,7 <input type="checkbox"/>
	説明	IN1 の出力許可されている音声フォーマットを取得。 リニア PCM の 192 kHz までの音声出力が許可されている。
設定例	送信	@SAF,2,5,3 <input type="checkbox"/>
	返信	@SAF,2,5,3 <input type="checkbox"/>
	説明	IN2 はリニア PCM と DTS の 48 kHz までの音声を出力許可。 (リニア PCM の最大サンプリング周波数は変更されません) 正常終了。
備考		デジタル入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択が“デジタル信号”に設定されている場合のみ有効です。 【参照：@GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】

@GSP / @SSP		スピーカー構成
取得	送信	@GSP, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GSP, ch, number, speaker_1 (, speaker_2····) <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSP, ch, number (, speaker_1, speaker_2····) <input type="checkbox"/>
	返信	@SSP, ch, number (, speaker_1, speaker_2····) <input type="checkbox"/>
パラメータ		ch : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7 “0 = 全デジタル入力”は、設定コマンドのみ指定することができます。
		number : スピーカー数 1 ~ 8 ※初期値 2, -1 = アナログ設定のため対象外 (取得のみ)
		speaker_1-8 : 使用するスピーカー 0 = Front Left / Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left / Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left / Right Center, 6 = Rear Left / Right Center, 7 = Front Left / Right Wide, 8 = Front Left / Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High

@GSP / @SSP		スピーカー構成 (つづき)																																																																																																																							
パラメータ		<p>取得時は、スピーカー数と使用するスピーカーを返信します。 設定時は、使用するスピーカーを省略すると、スピーカー数の設定に応じて以下のように設定されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">number</th> <th colspan="11">speaker</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table> <p>使用するスピーカーを指定したときに、スピーカー数と使用するスピーカーの合計が一致しない場合は、使用するスピーカーから自動的にスピーカー数を設定します。万一、スピーカー数が設定可能な範囲を超えている場合はエラーになります。</p>	number	speaker											0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	OFF	OFF	ON	OFF	2	ON	OFF	3	ON	ON	OFF	4	ON	ON	ON	OFF	5	ON	ON	OFF	ON	OFF	6	ON	ON	ON	ON	OFF	7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																											
number	speaker																																																																																																																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																														
1	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
2	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
4	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
5	ON	ON	OFF	ON	OFF																																																																																																																				
6	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																				
7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
取得例	送信 返信	@GSP,1 Ⓜ @GSP,1,6,0,1,2,3 Ⓜ																																																																																																																							
	説明	IN1 のスピーカー構成を取得。 次の 6 個のスピーカーを使用している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Front Left / Right</li> <li>・ Low Frequency Effect</li> <li>・ Front Center</li> <li>・ Rear Left / Right</li> </ul>																																																																																																																							
設定例	送信 返信	@SSP,2,8 Ⓜ @SSP,2,8 Ⓜ																																																																																																																							
	説明	IN2 に次の 8 個のスピーカーを割り当てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Front Left / Right</li> <li>・ Low Frequency Effect</li> <li>・ Front Center</li> <li>・ Rear Left / Right</li> <li>・ Rear Left / Right Center</li> </ul> 正常終了。																																																																																																																							
設定例	送信 返信	@SSP,3,8,0,3,5,6,7 Ⓜ @ERR,1 Ⓜ																																																																																																																							
	説明	IN3 に次のスピーカーを割り当てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Front Left / Right</li> <li>・ Rear Left / Right</li> <li>・ Front Left / Right Center</li> <li>・ Rear Left / Right Center</li> <li>・ Front Left / Right Wide</li> </ul> スピーカー数の合計が 10 個になり、設定可能な数を超えている。																																																																																																																							
備考		デジタル入力専用のコマンドです。 DVI 入力コネクタの信号選択が“デジタル信号”に設定されている場合のみ有効です。 【参照：@GIN / @SIN DVI 入力コネクタの信号選択 (P.44)】																																																																																																																							

## 3.3.14 RS-232C 設定

@GCT / @SCT		RS-232C 通信の設定
取得	送信	@GCT, port <input type="checkbox"/>
	返信	@GCT, port, baudrate, length, parity, stop <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SCT, port, baudrate, length, parity, stop <input type="checkbox"/>
	返信	@SCT, port, baudrate, length, parity, stop <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>port : コネクタ 1 = RS1 (RS-232C (CH1)), 2 = RS2 (RS-232C (CH2)), 3 = HDBT OUT C, 4 = HDBT IN5</p> <p>baudrate : 通信速度 0 = 4800 bps, 1 = 9600 bps ※初期値, 2 = 14400 bps, 3 = 19200 bps, 4 = 38400 bps, 5 = 57600 bps, 6 = 115200 bps</p> <p>length : データビット長 0 = 7 bit, 1 = 8 bit ※初期値</p> <p>parity : パリティチェック 0 = なし ※初期値, 1 = 奇数, 2 = 偶数,</p> <p>stop : ストップビット 0 = 1 bit ※初期値, 1 = 2 bit</p>
取得例	送信	@GCT,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GCT,1,3,1,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>RS-232C (CH1) コネクタに対する RS-232C 通信の設定を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信速度 : 19200 bps</li> <li>・データビット長 : 8 bit</li> <li>・パリティチェック : なし</li> <li>・ストップビット : 1 bit</li> </ul>
設定例	送信	@SCT,1,3,1,0,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SCT,1,3,1,0,0 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>RS-232C (CH1) コネクタに対する RS-232C 通信の設定を以下のように設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信速度 : 19200 bps</li> <li>・データビット長 : 8 bit</li> <li>・パリティチェック : なし</li> <li>・ストップビット : 1 bit</li> </ul> <p>正常終了。</p>
備考		RS-232C 通信設定は接続する周辺機器に合わせ設定してください。

@GCF / @SCF		RS-232C 通信の動作モード
取得	送信	@GCF Ⓡ
	返信	@GCF, mode_1, mode_2, mode_3, mode_4 Ⓡ
設定	送信	@SCF, port, mode Ⓡ
	返信	@SCF, port, mode Ⓡ
パラメータ		mode_1 : 動作モード RS1 (RS-232C (CH1)) mode_2 : 動作モード RS2 (RS-232C (CH2)) mode_3 : 動作モード HDBT OUT C mode_4 : 動作モード HDBT IN5 mode : 動作モード 0 = 受信モード, 1 = 送信モード ※初期値 RS1 = 0, RS2 = 0, HDBT OUT C = 1, HDBT IN5 = 0 port : コネクタ 0 = 全コネクタ, 1 = RS1, 2 = RS2, 3 = HDBT OUT C, 4 = HDBT IN5
取得例	送信	@GCF Ⓡ
	返信	@GCF,1,1,1,1 Ⓡ
	説明	RS-232C 通信の動作モードを取得。 全コネクタともに送信モード。
設定例	送信	@SCF,1,1 Ⓡ
	返信	@SCF,1,1 Ⓡ
	説明	RS1 (RS-232C (CH1)) コネクタを送信モードに設定。 正常終了。
備考		制御機器から本機を制御するには“受信モード”に設定し、本機から外部機器を制御するには“送信モード”に設定します。

## 3.3.15 LAN 設定

@GIP / @SIP		IP アドレス
取得	送信	@GIP <input type="checkbox"/>
	返信	@GIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
パラメータ		unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 192.168.1.199
取得例	送信	@GIP <input type="checkbox"/>
	返信	@GIP,192,168,3,2 <input type="checkbox"/>
	説明	本機の IP アドレスを取得。 IP アドレスは 192.168.3.2。
設定例	送信	@SIP,192,168,3,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SIP,192,168,3,2 <input type="checkbox"/>
	説明	IP アドレスを 192.168.3.2 に設定。 正常終了。
備考		—

@GSB / @SSB		サブネットマスク
取得	送信	@GSB <input type="checkbox"/>
	返信	@GSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>
パラメータ		unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 255.255.255.0
取得例	送信	@GSB <input type="checkbox"/>
	返信	@GSB,255,255,192,0 <input type="checkbox"/>
	説明	本機のサブネットマスクを取得。 サブネットマスクは 255.255.192.0 (= 18 ビット)。
設定例	送信	@SSB,255,255,192,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SSB,255,255,192,0 <input type="checkbox"/>
	説明	本機のサブネットマスクを 255.255.192.0 (= 18 ビット) に設定。 正常終了。
備考		—

<b>@GGW / @SGW</b>		<b>ゲートウェイアドレス</b>
取得	送信	@GGW ↵
	返信	@GGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵
設定	送信	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵
	返信	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵
パラメータ		unit_1 : ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 192.168.1.200
取得例	送信	@GGW ↵
	返信	@GGW,192,168,1,254 ↵
	説明	ゲートウェイアドレスを取得。 ゲートウェイアドレスは 192.168.1.254。
設定例	送信	@SGW,192,168,1,254 ↵
	返信	@SGW,192,168,1,254 ↵
	説明	ゲートウェイアドレスを 192.168.1.254 に設定。 正常終了。
備考		—

<b>@GMC</b>		<b>MAC アドレス表示</b>
取得	送信	@GMC ↵
	返信	@GMC, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4, unit_5, unit_6 ↵
パラメータ		unit_1 : MAC アドレス上位 ~ unit_6 : MAC アドレス下位 00 ~ FF = 8 ビット (16 進数表記)
取得例	送信	@GMC ↵
	返信	@GMC,00,08,E5,5F,00,00 ↵
	説明	MAC アドレスを取得。 MAC アドレスは 00-08-E5-5F-00-00。
備考		—

@GLP / @SLP		TCP ポート番号
取得	送信	@GLP <input type="checkbox"/>
	返信	@GLP, port_1, port_2, port_3, port_4, port_5, port_6, port_7, port_8 <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SLP, connection, port (, connection, port...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SLP, connection, port (, connection, port...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		port_1-8 : TCP ポート番号 コネクション 1 ~ コネクション 8 port : TCP ポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1 ~ コネクション 3 = 1100, コネクション 4 ~ コネクション 6 = 23, コネクション 7 ~ コネクション 8 = 80 connection : コネクション番号 0 = 全コネクション, 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8
取得例	送信	@GLP <input type="checkbox"/>
	返信	@GLP,1100,1100,1100,23,23,23,80,80 <input type="checkbox"/>
	説明	TCP ポート番号の設定値を取得。 ・コネクション 1 ~ コネクション 3 : 1100 ・コネクション 4 ~ コネクション 6 : 23 ・コネクション 7 ~ コネクション 8 : 80
設定例	送信	@SLP,8,6000 <input type="checkbox"/>
	返信	@SLP,8,6000 <input type="checkbox"/>
	説明	コネクション 8 のポート番号を 6000 に設定。 正常終了。
備考		—

@GLF / @SLF		LAN 通信の動作モード
取得	送信	@GLF, connection <input type="checkbox"/>
	返信	@GLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) <input type="checkbox"/>
	返信	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>connection : コネクション番号 1 = コネクション1 ~ 8 = コネクション8</p> <p>mode : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード</p> <p>ip_1 : 接続先 IP アドレス上位 ~ ip_4 : 接続先 IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 192.168.1.198 mode が“送信モード”の場合のみ、返信 / 設定します。</p> <p>pjlink : PJLink プロトコル接続 0 = PJLink を使用しない ※初期値, 1 = PJLink を使用する mode が“送信モード”の場合のみ、返信 / 設定します。</p> <p>tcp : 接続先ポート番号 1 ~ 65535 ※初期値 1100 mode が“送信モード”で、かつ pjlink が“PJLink を使用しない”の場合のみ、返信 / 設定します。なお、PJLink プロトコル接続のときは、“4352”固定です。</p> <p>password : PJLink プロトコルのパスワード ASCII コードの、20, 30 ~ 39, 41 ~ 5A, 61 ~ 7A (英数字) の中から最大 32 文字まで。 ※初期値 すべて 20 (スペース) mode が“送信モード”で、かつ pjlink が“PJLink を使用する”の場合のみ、返信 / 設定します。 取得時は、パスワードが設定されている場合のみ返信します。 設定時は、PJLink プロトコルで接続する際にパスワードによる認証を行わない場合は、省略可能です。</p>
取得例	送信	@GLF,3 <input type="checkbox"/>
	返信	@GLF,3,1,192,168,1,2,1,PROJECTOR1 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>コネクション3の動作モードの設定値を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動作モード : 送信モード</li> <li>・接続先 IP アドレス : 192.168.1.2</li> <li>・PJLink : 使用する</li> <li>・パスワード : 「PROJECTOR1」</li> </ul>
設定例	送信	@SLF,3,1,192,168,1,2,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SLF,3,1,192,168,1,2,1 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>コネクション3に次の動作モードを設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動作モード : 送信モード</li> <li>・接続先 IP アドレス : 192.168.1.2</li> <li>・PJLink : 使用する</li> <li>・パスワード : 認証を行なわないに設定</li> </ul> <p>正常終了。</p>
備考		<p>制御機器から本機を制御するには“受信モード”に設定し、本機から外部機器を制御するには“送信モード”に設定します。</p>

## 3.3.16 制御コマンド設定

@GEC / @SEC		制御コマンドの作成・編集 (通信コマンド制御)																																				
取得	送信	@GEC, no <input type="checkbox"/>																																				
	返信	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2...) <input type="checkbox"/>																																				
設定	送信	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2...) <input type="checkbox"/>																																				
	返信	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2...) <input type="checkbox"/>																																				
パラメータ		<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 = 0 ms ~ 999999 = 999 s 999 ms ※初期値 0 s 000ms</p> <p>port : 出力ポート 1 ~ 8191</p> <table border="1"> <tr> <td>bit</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>port</td> <td>LAN 4</td> <td>LAN 3</td> <td>LAN 2</td> <td>LAN 1</td> <td>HDBT IN5 RS-232C</td> <td>HDBT OUT C RS-232C</td> <td>RS-232C (CH2)</td> <td>RS-232C (CH1)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>bit</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>port</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN 8</td> <td>LAN 7</td> <td>LAN 6</td> <td>LAN 5</td> </tr> </table> <p>コマンドを送信するポートのビットを1にした2進数を10進数に換算します (13 bit から15 bit は常に0になります)。例えば、RS-232C (CH1) からコマンドを送信する場合は1になり、LAN1からコマンドを送信する場合は16になります。</p> <p>memo : メモ ASCIIコードの20 ~ 7Dで2C (カンマ) 以外の中から最大14文字まで</p> <p>length : 送信コマンドデータサイズ (バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁 (16進数表記) でlength×2桁</p> <p>timeout : タイムアウト時間 0 = 0 ms ~ 99999 = 99 s 999 ms</p> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p>interval : リトライ間隔 0 = 0 ms ~ 99999 = 99 s 999 ms</p> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>display : 受信データの表示 0 = 通信コマンド制御の場合は、0になります</p>	bit	7	6	5	4	3	2	1	0	port	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	HDBT IN5 RS-232C	HDBT OUT C RS-232C	RS-232C (CH2)	RS-232C (CH1)	bit	15	14	13	12	11	10	9	8	port	—	—	—	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5
bit	7	6	5	4	3	2	1	0																														
port	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	HDBT IN5 RS-232C	HDBT OUT C RS-232C	RS-232C (CH2)	RS-232C (CH1)																														
bit	15	14	13	12	11	10	9	8																														
port	—	—	—	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5																														

@GEC / @SEC		制御コマンドの作成・編集 (通信コマンド制御) つづき
パラメータ		recv_1-32 : 返信コマンドのチェックの有無 1 ~ 32  取得時は、チェックする返信コマンド番号をカンマで区切って返信します。 設定時は、チェックする返信コマンド番号を指定し、複数チェックする場合はカンマで区切って最大 32 個まで指定可能です。チェックする返信コマンド番号のみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった返信コマンドは自動的にすべて“チェックしない”に設定されます。返信コマンドは、返信コマンドの作成・編集で登録します。  【参照 : @GRC / @SRC 返信コマンドの作成・編集 (P.105)】
取得例	送信	@GEC,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GEC,1,10,1,POWER,7,5057204F4E0D0A,1000,2,500,0,0,1,2 <input type="checkbox"/>
	説明	制御コマンド番号 1 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 10 ms</li> <li>・出力ポート : RS-232C (CH1)</li> <li>・メモ : POWER</li> <li>・データサイズ : 7 バイト</li> <li>・コマンドデータ : PW ON CR LF (ASCII 文字)</li> <li>・タイムアウト : 1000 ms</li> <li>・リトライ回数 : 2 回</li> <li>・リトライ間隔 : 500 ms 間隔で再送信する</li> <li>・リトライオーバー : 停止する</li> <li>・受信データ : 表示しない</li> <li>・返信コマンド : 1 と 2 をチェックする</li> </ul>
設定例	送信	@SEC,2,0,4096,IN1 SELECT,10,405353572C312C310D0A,0,0,0,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@SEC,2,0,4096,IN1 SELECT,10,405353572C312C310D0A,0,0,0,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	制御コマンド番号 2 に次の内容を登録。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0 ms</li> <li>・出力ポート : LOOP BACK</li> <li>・メモ : IN1 SELECT</li> <li>・データサイズ : 10 バイト</li> <li>・コマンドデータ : @SSW,1,1 CR LF (ASCII 文字)</li> <li>・タイムアウト : 0 ms</li> <li>・リトライ回数 : 0 回</li> <li>・リトライ間隔 : 0 ms</li> <li>・リトライオーバー : 継続する</li> <li>・受信データ : 表示しない</li> <li>・返信コマンド : チェックしない</li> </ul> 正常終了。

@GEC / @SEC		制御コマンドの作成・編集 (受信データの表示)																		
取得	送信	@GEC, no <input type="checkbox"/>																		
	返信	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter <input type="checkbox"/>																		
設定	送信	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter <input type="checkbox"/>																		
	返信	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter <input type="checkbox"/>																		
パラメータ		no : 制御コマンド番号 1 ~ 32																		
		delay : 遅延時間 0 = 0 ms ~ 999999 = 999 s 999 ms																		
		port : 出力ポート 1 ~ 8191																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>bit</th> <th>7</th> <th>6</th> <th>5</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>port</td> <td>LAN 4</td> <td>LAN 3</td> <td>LAN 2</td> <td>LAN 1</td> <td>HDBT IN5 RS-232C</td> <td>HDBT OUT C RS-232C</td> <td>RS-232C (CH2)</td> <td>RS-232C (CH1)</td> </tr> </tbody> </table>	bit	7	6	5	4	3	2	1	0	port	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	HDBT IN5 RS-232C	HDBT OUT C RS-232C	RS-232C (CH2)	RS-232C (CH1)
		bit	7	6	5	4	3	2	1	0										
		port	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	HDBT IN5 RS-232C	HDBT OUT C RS-232C	RS-232C (CH2)	RS-232C (CH1)										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>bit</th> <th>15</th> <th>14</th> <th>13</th> <th>12</th> <th>11</th> <th>10</th> <th>9</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>port</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN 8</td> <td>LAN 7</td> <td>LAN 6</td> <td>LAN 5</td> </tr> </tbody> </table>	bit	15	14	13	12	11	10	9	8	port	—	—	—	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5
		bit	15	14	13	12	11	10	9	8										
		port	—	—	—	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5										
		<p>コマンドを送信するポートのビットを1にした2進数を10進数に換算します (bit13-bit15は常に0になります)。例えばRS-232C (CH1) からコマンドを送信する場合は1になり、LAN1からコマンドを送信する場合は16になります。</p>																		
		memo : メモ ASCIIコードの20 ~ 7Dで2C (カンマ) 以外の中から最大14文字まで																		
		length : 送信コマンドデータサイズ (バイト数) 0 ~ 30																		
		command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁 (16進数表記) でlength×2桁																		
		timeout : タイムアウト時間 0 = 0 ms ~ 99999 = 99 s 999 ms																		
retry : リトライ回数 0 ~ 99																				
interval : リトライ間隔 0 = 0 ms ~ 99999 = 99 s 999 ms																				
retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する																				
display : 受信データの表示 1 = ASCIIコードで表示する, 2 = 16進数で表示する																				
delimiter : デリミタ デリミタを監視する場合は、0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4ビット1桁 (16進数表記) で2桁 100 = デリミタを監視しない																				

@GEC / @SEC		制御コマンドの作成・編集 (受信データの表示) つづき
取得例	送信	@GEC,3 [↵]
	返信	@GEC,3,0,16,POWER STATUS,9,47455420504F570D0A,2000,2,200,0,1,0D [↵]
	説明	<p>制御コマンド番号 3 に登録された内容を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0 ms</li> <li>・出力ポート : LAN1</li> <li>・メモ : POWER STATUS</li> <li>・データサイズ : 9 バイト</li> <li>・コマンドデータ : GET POW CR LF (ASCII 文字)</li> <li>・タイムアウト : 2000 ms</li> <li>・リトライ回数 : 2 回</li> <li>・リトライ間隔 : 200 ms 間隔で再送信する</li> <li>・リトライオーバー : 停止する</li> <li>・受信データ : ASCII コードで表示する</li> <li>・デリミタ : 0D=16 進数 (CR =ASCII 文字)</li> </ul>
設定例	送信	@SEC,3,0,16,POWER STATUS,9,47455420504F570D0A,2000,2,200,0,1,0D [↵]
	返信	@SEC,3,0,16,POWER STATUS,9,47455420504F570D0A,2000,2,200,0,1,0D [↵]
	説明	<p>制御コマンド番号 3 に次の内容を登録。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0 ms</li> <li>・出力ポート : LAN1</li> <li>・メモ : POWER STATUS</li> <li>・データサイズ : 9 バイト</li> <li>・コマンドデータ : GET POW CR LF (ASCII 文字)</li> <li>・タイムアウト : 2000 ms</li> <li>・リトライ回数 : 2 回</li> <li>・リトライ間隔 : 200 ms 間隔で再送信する</li> <li>・リトライオーバー : 停止する</li> <li>・受信データ : ASCII コードで表示する</li> <li>・デリミタ : 0D=16 進数 (CR =ASCII 文字)</li> </ul> <p>正常終了。</p>

@GEC / @SEC		制御コマンドの作成・編集 (コンタクトクロージャ制御)																														
取得	送信	@GEC, no [ ]																														
	返信	@GEC, no, delay, port, memo, ccno_1, cc_1, pulse_1 (, ccno_2, cc_2, pulse_2...) [ ]																														
設定	送信	@SEC, no, delay, port, memo, ccno_1, cc_1, pulse_1 (, ccno_2, cc_2, pulse_2...) [ ]																														
	返信	@SEC, no, delay, port, memo, ccno_1, cc_1, pulse_1 (, ccno_2, cc_2, pulse_2...) [ ]																														
パラメータ		<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 = 0 ms ~ 999999 = 999 s 999 ms</p> <p>port : コンタクトクロージャ制御 8192 = コンタクトクロージャ制御の場合は、8192 になります</p> <p>memo : メモ ASCII コードの 20 ~ 7D で 2C (カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>ccno_1-6 : 端子番号</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ccno</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御</td> <td colspan="3">CONTACT CLOSURE 1</td> <td colspan="3">CONTACT CLOSURE 2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>端子</td> <td>CH1</td> <td>CH2</td> <td>CH3</td> <td>CH1</td> <td>CH2</td> <td>CH3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>取得時は、制御する端子番号のみ返信します。 設定時は、制御する端子番号のみ指定します。その他の端子番号は“制御しない”に設定されます。</p> <p>cc_1-6 : 端子制御 0 = 接点 OFF, 1 = 接点 ON, 2 = トグル動作, 3 = 制御しない</p> <p>pulse_1-6 : パルス幅 0 = 状態保持, 100 = 100 ms ~ 9990 = 9990 ms (10 ms 単位) 接点制御後、元に戻すまでの時間を指定します。</p>	ccno	1	2	3	4	5	6	7	8	9	制御	CONTACT CLOSURE 1			CONTACT CLOSURE 2			—	—	—	端子	CH1	CH2	CH3	CH1	CH2	CH3	—	—	—
ccno	1	2	3	4	5	6	7	8	9																							
制御	CONTACT CLOSURE 1			CONTACT CLOSURE 2			—	—	—																							
端子	CH1	CH2	CH3	CH1	CH2	CH3	—	—	—																							
取得例	送信	@GEC,7 [ ]																														
	返信	@GEC,7,20,8192,SCREEN UP,1,1,100 [ ]																														
	説明	<p>制御コマンド番号 7 に登録された内容を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 20 ms</li> <li>・メモ : SCREEN UP</li> <li>・コンタクトクロージャ 1 の CH1 を 100 ms 期間接点 ON する。</li> <li>・その他の端子はすべて制御しない。</li> </ul>																														
設定例	送信	@SEC,6,50,8192,PROJECTOR ON,1,0,200,2,1,0 [ ]																														
	返信	@SEC,6,50,8192,PROJECTOR ON,1,0,200,2,1,0 [ ]																														
	説明	<p>制御コマンド番号 6 に次の内容を登録。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 50 ms</li> <li>・メモ : PROJECTOR ON</li> <li>・コンタクトクロージャ 1 の CH1 を 200 ms 期間接点 OFF する。</li> <li>・コンタクトクロージャ 1 の CH2 を接点 ON にする。</li> <li>・その他の端子はすべて制御しない</li> </ul> <p>正常終了。</p>																														
備考		—																														

@GEC / @SEC		制御コマンドの作成・編集 (CEC 制御)
取得	送信	@GEC, no [↵]
	返信	@GEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2...) [↵]
設定	送信	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2...) [↵]
	返信	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2...) [↵]
パラメータ		<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 = 0 ms ~ 999999 = 999 s 999 ms</p> <p>port : CEC 制御 16384 = CEC 制御の場合は、16384 になります</p> <p>memo : メモ ASCII コードの 20 ~ 7D で 2C (カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>error : 機器から応答がなかった時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>ch_1-3 : 出力コネクタ 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C 取得時は、制御する出力コネクタのみ返信します。 設定時は、制御する出力コネクタのみ指定します。その他の出力コネクタは“制御しない”に設定されます</p> <p>cec_1-3 : 制御コマンド 0 = 制御しない, 1 = POWER OFF, 2 = POWER ON</p>
取得例	送信	@GEC,7 [↵]
	返信	@GEC,7,0,16384,DISPLAY1 ON,0,1,2 [↵]
	説明	<p>制御コマンド番号 7 に登録された内容を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0 ms</li> <li>・メモ : DISPLAY1 ON</li> <li>・エラー時 : 停止する</li> <li>・HDMI OUT A に接続されたシンク機器の電源を ON する</li> <li>・その他の出力はすべて制御しない</li> </ul>
設定例	送信	@SEC,7,0,16384,DISPLAY1 ON,0,1,2 [↵]
	返信	@SEC,7,0,16384,DISPLAY1 ON,0,1,2 [↵]
	説明	<p>制御コマンド番号 7 に次の内容を登録。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅延時間 : 0 ms</li> <li>・メモ : DISPLAY1 ON</li> <li>・エラー時 : 停止する</li> <li>・HDMI OUT A に接続されたシンク機器の電源を ON する</li> <li>・その他の出力はすべて制御しない</li> </ul> <p>正常終了。</p>
備考		—

@GRC / @SRC		返信コマンドの作成・編集
取得	送信	@GRC, no <input type="checkbox"/>
	返信	@GRC, no, process, length, command, mask, memo <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SRC, no, process, length, command, mask, memo <input type="checkbox"/>
	返信	@SRC, no, process, length, command, mask, memo <input type="checkbox"/>
パラメータ		no : 返信コマンド番号 1 ~ 32 process : 処理判定 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する, 2 = コマンドを再送信する length : 返信コマンドデータサイズ (バイト数) 0 ~ 30 command : 返信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁 (16 進数表記) で length×2 桁 mask : マスクデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁 (16 進数表記) で length×2 桁 memo : メモ ASCII コードの 20 ~ 7D で 2C (カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで
取得例	送信	@GRC,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@GRC,2,0,1,40,40,NG <input type="checkbox"/>
	説明	返信コマンド番号 2 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理判定 : 停止する</li> <li>・データサイズ : 1 バイト</li> <li>・コマンドデータ : 40 (16 進数)</li> <li>・マスクデータ : 40 (上から 2 ビット目をチェック)</li> <li>・メモ : NG</li> </ul>
設定例	送信	@SRC,1,1,9,52454356204F4B0D0A,FFFFFFFFFFFFFFFFFFFF,OK <input type="checkbox"/>
	返信	@SRC,1,1,9,52454356204F4B0D0A,FFFFFFFFFFFFFFFFFFFF,OK <input type="checkbox"/>
	説明	返信コマンド番号 1 に次の内容を登録。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理判定 : 継続する</li> <li>・データサイズ : 9 バイト</li> <li>・コマンドデータ : RECV OK CR LF (ASCII 文字)</li> <li>・マスクデータ : すべて FF (全ビットチェック)</li> <li>・メモ : OK</li> </ul> 正常終了。
備考		—

@GCC / @SCC		制御コマンドの関連付け
取得	送信	@GCC, event <input type="checkbox"/>
	返信	@GCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		event : 制御コマンド実行条件 設定値は [表 3.4] をご覧ください。  c_1-10 : 送信コマンド 0 = 関連付けなし, 1 = 制御コマンド 1 ~ 32 = 制御コマンド 32  次のいずれかで登録した制御コマンドを関連付けます。 ・ @GEC / @SEC 制御コマンドの作成・編集 (通信コマンド制御) (P.99) ・ @GEC / @SEC 制御コマンドの作成・編集 (受信データの表示) (P.101) ・ @GEC / @SEC 制御コマンドの作成・編集 (コンタクトクロージャ制御) (P.103) ・ @GEC / @SEC 制御コマンドの作成・編集 (CEC 制御) (P.104)
取得例	送信	@GCC,19 <input type="checkbox"/>
	返信	@GCC,19,5,2,1 <input type="checkbox"/>
	説明	電源投入時に関連付けられている制御コマンドを取得。 制御コマンド 5、制御コマンド 2、制御コマンド 1 の順で実行する。
設定例	送信	@SCC,19,5,2,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SCC,19,5,2,1 <input type="checkbox"/>
	説明	電源投入時に制御コマンド 5、制御コマンド 2、制御コマンド 1 の順で実行。 正常終了。
備考		—

[表 3.4] 制御コマンド実行条件

event	実行条件	event	実行条件	event	実行条件
1	COMMAND A-PLANE A	17	COMMAND I-PLANE A	33	AUDIO:IN3 SELECT
2	COMMAND A-PLANE B	18	COMMAND I-PLANE B	34	AUDIO:IN4 SELECT
3	COMMAND B-PLANE A	19	POWER ON	35	AUDIO:IN5 SELECT
4	COMMAND B-PLANE B	20	POWER OFF	36	AUDIO:IN6 SELECT
5	COMMAND C-PLANE A	21	DISPLAY POWER ON	37	AUDIO:IN7 SELECT
6	COMMAND C-PLANE B	22	DISPLAY POWER OFF	38	AUDIO:OFF SELECT
7	COMMAND D-PLANE A	23	VIDEO:IN1 SELECT		
8	COMMAND D-PLANE B	24	VIDEO:IN2 SELECT		
9	COMMAND E-PLANE A	25	VIDEO:IN3 SELECT		
10	COMMAND E-PLANE B	26	VIDEO:IN4 SELECT		
11	COMMAND F-PLANE A	27	VIDEO:IN5 SELECT		
12	COMMAND F-PLANE B	28	VIDEO:IN6 SELECT		
13	COMMAND G-PLANE A	29	VIDEO:IN7 SELECT		
14	COMMAND G-PLANE B	30	VIDEO:OFF SELECT		
15	COMMAND H-PLANE A	31	AUDIO:IN1 SELECT		
16	COMMAND H-PLANE B	32	AUDIO:IN2 SELECT		

<b>@GTG / @STG</b>		<b>制御コマンド関連付けのトグル動作</b>
取得	送信	@GTG, event (, event···)
	返信	@GTG, event, toggle (, event, toggle···)
設定	送信	@STG, event, toggle (, event, toggle···)
	返信	@STG, event, toggle (, event, toggle···)
パラメータ		event : コマンド実行条件 0 = 全制御コマンド, 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I
		toggle : トグル動作 0 = トグル動作しない ※初期値, 1 = トグル動作する
取得例	送信	@GTG,1
	返信	@GTG,1,1
	説明	COMMAND A のトグル動作取得。 COMMAND A はトグル動作する。
設定例	送信	@STG,1,1
	返信	@STG,1,1
	説明	COMMAND A をトグル動作するに設定。 正常終了。
備考	—	

<b>@GUP / @SUP</b>		<b>制御コマンド電源オン時実行面</b>
取得	送信	@GUP, event (, event···)
	返信	@GUP, event, plane (, event, plane···)
設定	送信	@SUP, event, plane (, event, plane···)
	返信	@SUP, event, plane (, event, plane···)
パラメータ		event : コマンド実行条件 0 = 全制御コマンド, 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I
		plane : 電源オン時の実行面 0 = AUTO ※初期値, 1 = PLANE A, 2 = PLANE B
取得例	送信	@GUP,1
	返信	@GUP,1,1
	説明	COMMAND A の実行面を取得。 COMMAND A は PLANE A を実行する。
設定例	送信	@SUP,1,1
	返信	@SUP,1,1
	説明	COMMAND A を PLANE A に設定。 正常終了。
備考	—	

@EXC		制御コマンドの実行
設定	送信	@EXC, command_1 (, command_2···) [↵]
	返信	@EXC, command_1 (, command_2···) [↵]
パラメータ		command_1-5 : 制御コマンド 1 = CMD 1 ~ 32 = CMD 32 A / a = COMMAND A ~ I / i = COMMAND I
設定例	送信	@EXC,1,2,3 [↵]
	返信	@EXC,1,2,3 [↵]
	説明	COMMAND 1→2→3 の順番に実行。 正常終了。
設定例	送信	@EXC,6 [↵]
	返信	@EXC,6,RECV:POWER OFF [↵]
	説明	CMD 6 を実行。 正常終了。 受信データを表示するコマンドを実行した場合は、受信した結果が返信されます。この例では、コマンドを送信した機器から「POWER OFF」と受信されました。
備考		制御コマンドの実行が終了してから結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。

@GSK / @SSK		DISPLAY POWER ボタン
取得	送信	@GSK [↵]
	返信	@GSK, onoff [↵]
設定	送信	@SSK, ch, onoff [↵]
	返信	@SSK, ch, onoff [↵]
パラメータ		onoff : DISPLAY POWER ボタン 0 = OFF, 1 = ON ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GSK [↵]
	返信	@GSK,1 [↵]
	説明	DISPLAY POWER ボタンの状態を取得。 DISPLAY POWER ボタンは ON。
設定例	送信	@SSK,1,1 [↵]
	返信	@SSK,1,1 [↵]
	説明	DISPLAY POWER ボタンを ON に設定。 正常終了。
備考		電源の制御が終了してから実行結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。

@DEC		登録したコマンドまたは関連付けの消去
設定	送信	@DEC, no_1 (, no_2, no_3...) [ ]
	返信	@DEC, no_1 (, no_2, no_3...) [ ]
パラメータ		no_1-32 : 消去するコマンドまたは関連付け 1 ~ 32 : 制御コマンド 1 ~ 32, 101 ~ 132 : 返信コマンド 1 ~ 32, 201 ~ 238 : 制御コマンドの関連付け 1 ~ 38  「返信コマンド」は、3桁目に1を付けた返信コマンド番号を設定してください。 「制御コマンドの関連付け」は、3桁目に2を付けた制御コマンド実行条件の番号を設定してください。  【参照 : [表 3.4] 制御コマンド実行条件 (P. 106)】
設定例	送信	@DEC,221 [ ]
	返信	@DEC,221 [ ]
	説明	DISPLAY POWER ON の関連付けを消去。 正常終了。
備考		—

@GIT / @SIT		制御コマンド実行時の操作無効時間
取得	送信	@GIT [ ]
	返信	@GIT, time [ ]
設定	送信	@SIT, time [ ]
	返信	@SIT, time [ ]
パラメータ		time : 操作無効時間 0 = 0 ms ~ 999999 = 999 s 999 ms ※初期値 0 s 000ms
取得例	送信	@GIT [ ]
	返信	@GIT,2000 [ ]
	説明	制御コマンド実行時の操作無効時間を取得。 制御コマンド実行中または制御コマンド開始後 2000 ms (2 秒) 経過するまでは制御コマンドの操作を受け付けない。
設定例	送信	@SIT,2000 [ ]
	返信	@SIT,2000 [ ]
	説明	制御コマンド実行時の操作無効時間を 2000 ms (2 秒) に設定。 正常終了。
備考		—

@GTL / @STL		COMMAND ボタンの点灯条件
取得	送信	@GTL, switch (, switch···) 
	返信	@GTL, switch, led (, switch, led···) 
設定	送信	@STL, switch, led (, switch, led···) 
	返信	@STL, switch, led (, switch, led···) 
パラメータ		<p>switch : COMMAND ボタン  0 = 全コマンド実行ボタン,  1 = COMMAND A ボタン ~ 9 = COMMAND I ボタン</p> <p>led : 点灯条件  COMMAND ボタンへ 1 面 (PLANE A または PLANE B) の制御コマンドを関連付けしている場合 :  0 = 制御コマンドが登録されているときに点灯 ※初期値  1 = 制御コマンド実行中に点灯  COMMAND ボタンへ 2 面 (PLANE A と PLANE B) の制御コマンドを関連付けしている場合 :  0 = COMMAND ボタンが点灯 / 点滅のとき、任意のボタンを押すと、ボタンに関連付けされた制御コマンドが実行されます。  点灯 : PLANE A に登録された制御コマンド  点滅 : PLANE B に登録された制御コマンド  1 = COMMAND ボタンが点灯 / 消灯のとき、任意のボタンを押すと、ボタンに関連付けされた制御コマンドが実行されます。  点灯 : PLANE A に登録された制御コマンド  消灯 : PLANE B に登録された制御コマンド</p>
取得例	送信	@GTL,5 
	返信	@GTL,5,0 
	説明	COMMAND E ボタンの点灯条件を取得。 COMMAND E ボタンは制御コマンドが登録されている場合に点灯。 (1 面の制御コマンドを関連付けしている場合)
設定例	送信	@STL,5,1 
	返信	@STL,5,1 
	説明	COMMAND E ボタンはコマンド実行中に点灯するに設定。 (1 面の制御コマンドを関連付けしている場合) 正常終了。
備考		—

@GTF / @STF		制御コマンド実行時のボタン点滅時間
取得	送信	@GTF, switch (, switch···) 
	返信	@GTF, switch, flash (, switch, flash···) 
設定	送信	@STF, switch, flash (, switch, flash···) 
	返信	@STF, switch, flash (, switch, flash···) 
パラメータ		<p>switch : COMMAND ボタン / DISPLAY POWER ボタン  0 = 全ボタン, 1 = COMMAND A ボタン ~ 6 = COMMAND F ボタン  10 = DISPLAY POWER ボタン  取得時 “0 = 全ボタン” を指定すると、全ボタンの点滅時間が順に返信されます。</p> <p>flash : 点滅時間  -1 = 制御コマンド実行中に点滅する,  0 = 点滅しない,  1 = 1 秒 ~ 1000 = 1000 秒まで指定された時間点滅する  ※初期値 COMMAND A ボタン ~ COMMAND F ボタン = 0,  DISPLAY POWER ボタン = -1</p>
取得例	送信	@GTF,1 
	返信	@GTF,1,-1 
	説明	COMMAND A ボタンの点滅時間を取得。 制御コマンド実行中に点滅。
設定例	送信	@STF,1,5 
	返信	@STF,1,5 
	説明	COMMAND A ボタンは、制御コマンド実行開始後 5 秒間点滅。 正常終了。
備考		本体のフロントボタンのみ点滅します。WEB ブラウザでは点滅しません。

### 3.3.17 プリセットメモリ設定

@RCM		クロスポイントの読み出し
設定	送信	@RCM, memory <input type="checkbox"/>
	返信	@RCM, memory <input type="checkbox"/>
パラメータ		memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9
設定例	送信	@RCM,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@RCM,1 <input type="checkbox"/>
	説明	クロスポイントメモリ 1 の映像・音声入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを読み出す。 正常終了。
備考		—

@RCV		クロスポイントの読み出し (映像入力チャンネル設定)
設定	送信	@RCV, memory <input type="checkbox"/>
	返信	@RCV, memory <input type="checkbox"/>
パラメータ		memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9
設定例	送信	@RCV,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@RCV,1 <input type="checkbox"/>
	説明	クロスポイントメモリ 1 のメインウィンドウとサブウィンドウの映像入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを読み出す。 正常終了。
備考		—

@RCA		クロスポイントの読み出し (音声入力チャンネル設定)
設定	送信	@RCA, memory <input type="checkbox"/>
	返信	@RCA, memory <input type="checkbox"/>
パラメータ		memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9
設定例	送信	@RCA,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@RCA,1 <input type="checkbox"/>
	説明	クロスポイントメモリ 1 のメインウィンドウの音声入力チャンネルを読み出す。 正常終了。
備考		—

@SCM / @SEM		クロスポイントの保存
設定	説明	上書き保存
	送信	@SCM, memory (, name) <input type="checkbox"/>
	返信	@SCM, memory (, name) <input type="checkbox"/>
設定	説明	引き継ぎ保存
	送信	@SEM, memory (, name) <input type="checkbox"/>
	返信	@SEM, memory (, name) <input type="checkbox"/>
パラメータ		memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9
		name : クロスポイントメモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで クロスポイントメモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントおよび画面合成レイアウトパターンを設定を保存します。
設定例	送信	@SCM,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SCM,2 <input type="checkbox"/>
	説明	現在の映像・音声入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを、クロスポイントメモリ 2 にクロスポイントメモリ名を変更せずに保存する。 正常終了。
設定例	送信	@SEM,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SEM,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>
	説明	現在の映像・音声入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを、クロスポイントメモリ 2 に「PATTERN2」というクロスポイントメモリ名で保存する。 ただし、映像・音声入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを“制御しない”で保存された情報はそのまま引き継がれます。 正常終了。
備考		引き継ぎ保存とは、クロスポイントの編集で“制御しない”を設定している項目は、“制御しない”のまま保存します。 【参照 : @GCM / @ECM クロスポイントの編集 (P.116)】

@SCV / @SEV		クロスポイントの保存 (映像入力チャンネル設定)
設定	説明	上書き保存
	送信	@SCV, memory (, name) <input type="checkbox"/>
	返信	@SCV, memory (, name) <input type="checkbox"/>
設定	説明	引き継ぎ保存
	送信	@SEV, memory (, name) <input type="checkbox"/>
	返信	@SEV, memory (, name) <input type="checkbox"/>
パラメータ		memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9  name : クロスポイントメモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで クロスポイントメモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントおよび画面合成レイアウトパターンを設定を保存します。
設定例	送信 返信	@SCV,2 <input type="checkbox"/> @SCV,2 <input type="checkbox"/>
	説明	現在の映像入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを、クロスポイントメモリ 2 にクロスポイントメモリ名を変更せずに保存する。 正常終了。
設定例	送信 返信	@SEV,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/> @SEV,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>
	説明	現在のメインウィンドウとサブウィンドウの映像入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを、クロスポイントメモリ 2 に「PATTERN2」というクロスポイントメモリ名で保存する。 ただし、映像入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを“制御しない”で保存された情報はそのまま引き継がれます。 正常終了。
備考		引き継ぎ保存とは、クロスポイントの編集で“制御しない”を設定している項目は、“制御しない”のまま保存します。 【参照 : @GCM / @ECM クロスポイントの編集 (P.116)】

@SCA / @SEA		クロスポイントの保存 (音声入力チャンネル設定)
設定	説明	上書き保存
	送信	@SCA, memory (, name) <input type="checkbox"/>
	返信	@SCA, memory (, name) <input type="checkbox"/>
設定	説明	引き継ぎ保存
	送信	@SEA, memory (, name) <input type="checkbox"/>
	返信	@SEA, memory (, name) <input type="checkbox"/>
パラメータ		memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9
		name : クロスポイントメモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで クロスポイントメモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。
設定例	送信	@SCA,2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SCA,2 <input type="checkbox"/>
	説明	現在のメインウィンドウの音声入力チャンネルを、クロスポイントメモリ 2 にクロスポイントメモリ名を変更せずに保存する。 正常終了。
設定例	送信	@SEA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>
	返信	@SEA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>
	説明	現在のメインウィンドウの音声入力チャンネルを、クロスポイントメモリ 2 に「PATTERN2」というクロスポイントメモリ名で保存する。 ただし、音声入力チャンネルを“制御しない”で保存された情報はそのまま引き継がれます。 正常終了。
備考		引き継ぎ保存とは、クロスポイントの編集で“制御しない”を設定している項目は、“制御しない”のまま保存します。 【参照 : @GCM / @ECM クロスポイントの編集 (P.116)】

@GCM / @ECM		クロスポイントの編集
取得	送信	@GCM, memory [↵]
	返信	@GCM, memory, main_v, main_a, pinp_v, pinp_a, pinp_on, name [↵]
設定	送信	@ECM, memory, main_v, main_a, pinp_v, pinp_a, pinp_on [↵]
	返信	@ECM, memory, main_v, main_a, pinp_v, pinp_a, pinp_on [↵]
パラメータ		<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <p>main_v : 映像入力チャンネル メインウインドウ main_a : 音声入力チャンネル メインウインドウ pinp_v : 映像入力チャンネル サブウインドウ pinp_a : 音声入力チャンネル サブウインドウ -1 = 制御しない ※初期値, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p> <p>pinp_on : 画面合成レイアウトパターン -1 = 制御しない ※初期値, 0 = OFF, 1 = PinP PATTERN1, 2 = PinP PATTERN2, 3 = PinP PATTERN3, 4 = PinP PATTERN4, 5 = PinP PATTERN5</p> <p>name : クロスポイントメモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで ※初期値 20 (スペース)</p>
取得例	送信	@GCM,2 [↵]
	返信	@GCM,2,3,3,0,-1,0,PATTERN2 [↵]
	説明	<p>クロスポイントメモリ 2 の映像・音声入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを取得。</p> <p>「PATTERN2」というクロスポイントメモリ名で、メインウインドウは映像・音声入力チャンネルともに IN3、サブウインドウの映像入力チャンネルは OFF、画面合成レイアウトパターンは OFF が保存されている。</p>
設定例	送信	@ECM,2,-1,-1,-1,-1,0 [↵]
	返信	@ECM,2,-1,-1,-1,-1,0 [↵]
	説明	<p>クロスポイントメモリ 2 は、メインウインドウとサブウインドウともに映像・音声入力チャンネルを制御しない、画面合成レイアウトパターンを OFF に設定。</p> <p>正常終了。</p>
備考		サブウインドウの音声入力チャンネルには、“制御しない”または“OFF”を指定します。これ以外を指定するとエラーが返信されます。

@GCV / @ECV		クロスポイントの編集 (映像入力チャンネル設定)
取得	送信	@GCV, memory [↵]
	返信	@GCV, memory, main_v, pinp_v, pinp_on, name [↵]
設定	送信	@ECV, memory, main_v, pinp_v, pinp_on [↵]
	返信	@ECV, memory, main_v, pinp_v, pinp_on [↵]
パラメータ		<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <p>main_v : 映像入力チャンネル メインウインドウ pinp_v : 映像入力チャンネル サブウインドウ -1 = 制御しない ※初期値, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 7 = IN7</p> <p>pinp_on : 画面合成レイアウトパターン -1 = 制御しない ※初期値, 0 = OFF, 1 = PinP PATTERN1, 2 = PinP PATTERN2, 3 = PinP PATTERN3, 4 = PinP PATTERN4, 5 = PinP PATTERN5</p> <p>name : クロスポイントメモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで ※初期値 20 (スペース)</p>
取得例	送信	@GCV,2 [↵]
	返信	@GCV,2,3,-1,0,PATTERN2 [↵]
	説明	<p>クロスポイントメモリ 2 の映像入力チャンネルおよび画面合成レイアウトパターンを取得。</p> <p>「PATTERN2」というクロスポイントメモリ名で、メインウインドウの映像入力チャンネルは IN3、サブウインドウの映像入力チャンネルは制御しない、画面合成レイアウトパターンは OFF が保存されている。</p>
設定例	送信	@ECV,2,-1,-1,0 [↵]
	返信	@ECV,2,-1,-1,0 [↵]
	説明	<p>クロスポイントメモリ 2 は、メインウインドウとサブウインドウともに映像入力チャンネルを制御しない、画面合成レイアウトパターンは OFF。</p> <p>正常終了。</p>
備考		—

<b>@GCA / @ECA</b>		<b>クロスポイントの編集 (音声入力チャンネル設定)</b>
取得	送信	@GCA, memory [↵]
	返信	@GCA, memory, main_a, name [↵]
設定	送信	@ECA, memory, main_a [↵]
	返信	@ECA, memory, main_a [↵]
パラメータ		memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9
		main_a : 音声入力チャンネル -1 = 制御しない ※初期値, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
		name : クロスポイントメモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで ※初期値 20 (スペース)
取得例	送信	@GCA,2 [↵]
	返信	@GCA,2,3,PATTERN2 [↵]
	説明	クロスポイントメモリ 2 の音声入力チャンネルを取得。 「PATTERN2」というクロスポイントメモリ名で、音声入力チャンネルは IN3 が保存されている。
設定例	送信	@ECA,2,1 [↵]
	返信	@ECA,2,1 [↵]
	説明	クロスポイントメモリ 2 は、音声入力チャンネルを IN1 に設定。 正常終了。
備考		—

<b>@RPM</b>		<b>全設定の読み出し</b>
設定	送信	@RPM, preset [↵]
	返信	@RPM, preset [↵]
パラメータ		preset : プリセットメモリ 1 ~ 8
設定例	送信	@RPM,3 [↵]
	返信	@RPM,3 [↵]
	説明	プリセットメモリ 3 を読み出す。 正常終了。
備考		プリセットメモリは、一部の環境設定を除く、映像と音声の入出力に関するすべての設定が更新されます。読み出すことでこれらの設定が適用されます。

@SPM		全設定の保存
設定	送信	@SPM, preset (, name) ⓧ
	返信	@SPM, preset (, name) ⓧ
パラメータ		preset : プリセットメモリ 1 ~ 8 name : プリセットメモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで プリセットメモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに各設定のみ保存します。
設定例	送信	@SPM,2 ⓧ
	返信	@SPM,2 ⓧ
	説明	現在の設定を、プリセットメモリ 2 にプリセットメモリ名を変更せずに保存する。 正常終了。
設定例	送信	@SPM,2,MEMORY2 ⓧ
	返信	@SPM,2,MEMORY2 ⓧ
	説明	現在の設定を、プリセットメモリ 2 に「MEMORY2」というプリセットメモリ名で保存する。 正常終了。
備考		プリセットメモリは、一部の環境設定を除く、映像と音声の入出力に関するすべての設定が保存されます。

@GMU / @SMU		電源オン時の設定
取得	送信	@GMU ⓧ
	返信	@GMU, state ⓧ
設定	送信	@SMU, state ⓧ
	返信	@SMU, state ⓧ
パラメータ		state : 電源オン時の設定 1 = クロスポイントメモリ 1 ~ 9 = クロスポイントメモリ 9, 10 = チャンネル OFF, 11 = ラストチャンネル ※初期値, 12 = プリセットメモリ 1 ~ 19 = プリセットメモリ 8
取得例	送信	@GMU ⓧ
	返信	@GMU,3 ⓧ
	説明	電源オン時の入出力チャンネル設定を取得。 電源オン時はクロスポイントメモリ 3 に保存されたチャンネル設定で起動する。
設定例	送信	@SMU,3 ⓧ
	返信	@SMU,3 ⓧ
	説明	電源オン時の入出力チャンネル設定をクロスポイントメモリ 3 に設定。 正常終了。
備考		—

## 3.3.18 ビットマップ設定

@GBM / @SBM		ビットマップの出力
取得	送信	@GBM <input type="checkbox"/>
	返信	@GBM, main, pinp <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SBM, ch, out (, ch, out) <input type="checkbox"/>
	返信	@SBM, ch, out (, ch, out) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>main : ビットマップの出力 メインウインドウ  pinp : ビットマップの出力 サブウインドウ  out : ビットマップの出力  0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2,  3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4  ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。</p> <p>ch : 出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GBM <input type="checkbox"/>
	返信	@GBM,1,0 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>ビットマップの出力設定を取得。  メインウインドウはビットマップ 1 の画像を出力。  サブウインドウはビットマップを出力しない。</p>
設定例	送信	@SBM,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SBM,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>メインウインドウにビットマップ 1 の画像を出力。  正常終了。</p>
備考		メインウインドウへは、画面全体にビットマップが表示されます。

@GGB / @SBB		背景色
取得	送信	@GGB, ch [↵]
	返信	@GGB, ch, red, green, blue (, red, green, blue...) [↵]
設定	送信	@SBB, ch, bitmap, red, green, blue (, ch, bitmap, red, green, blue...) [↵]
	返信	@SBB, ch, bitmap, red, green, blue (, ch, bitmap, red, green, blue...) [↵]
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル “1” 固定です。</p> <p>red : 背景色 (赤) green : 背景色 (緑) blue : 背景色 (青) 0 ~ 255 ※初期値 255 (白)</p> <p>bitmap : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。</p>
取得例	送信	@GGB,1 [↵]
	返信	@GGB,1,255,0,0 [↵]
	説明	<p>メインウインドウに表示するビットマップの背景色を取得。 R が 255、G と B が 0 に設定されている (赤色)。 ビットマップが複数個保存されている場合は、保存されている若いビットマップ番号から順に設定値を取得できます。</p>
設定例	送信	@SBB,1,1,255,255,255 [↵]
	返信	@SBB,1,1,255,255,255 [↵]
	説明	<p>メインウインドウにビットマップ 1 の画像を出力したときの背景色を RGB とともに 255 (白色) に設定する。 正常終了。</p>
備考		メインウインドウへは、画面全体にビットマップが表示されます。

@GBT / @SBT		アスペクト比
取得	送信	@GBT, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GBT, ch, aspect (, aspect···) <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SBT, ch, bitmap, aspect (, ch, bitmap, aspect···) <input type="checkbox"/>
	返信	@SBT, ch, bitmap, aspect (, ch, bitmap, aspect···) <input type="checkbox"/>
パラメータ		ch : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ “0 = 全出力” は設定時のみ指定できます。
		aspect : アスペクト比 0 = AUTO ※初期値, 1 = FULL, 2 = THROUGH
		bitmap : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。
取得例	送信	@GBT,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GBT,1,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウに表示するビットマップのアスペクト比を取得。 すべてのビットマップ番号で FULL 画面表示する。 ビットマップが複数個保存されている場合は、保存されている若いビットマップ番号から順に設定値を取得できます。
設定例	送信	@SBT,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SBT,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	メインウインドウにビットマップ 1 の画像を出力したときのアスペクト比を FULL に設定する。 正常終了。
備考		メインウインドウへは、画面全体にビットマップが表示されます。

@GZP / @SZP		表示位置
取得	送信	@GZP, ch <input type="checkbox"/>
	返信	@GZP, ch, position (, position...) <input type="checkbox"/>
設定	送信	@SZP, ch, bitmap, position (, ch, bitmap, position...) <input type="checkbox"/>
	返信	@SZP, ch, bitmap, position (, ch, bitmap, position...) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>ch : 出力チャンネル “1” 固定です。</p> <p>position : 表示位置 0 = CENTER ※初期値, 1 = TOP-LEFT, 2 = BOTTOM-LEFT, 3 = TOP-RIGHT, 4 = BOTTOM-RIGHT</p> <p>bitmap : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。</p>
取得例	送信	@GZP,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@GZP,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>メインウィンドウに表示するビットマップの表示位置を取得。 左上に表示する。 ビットマップが複数個保存されている場合は、保存されている若いビットマップ番号から順に設定値を取得できます。</p>
設定例	送信	@SZP,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	返信	@SZP,1,1,1 <input type="checkbox"/>
	説明	<p>メインウィンドウにビットマップ 1 の画像を出力するときの表示位置を左上に設定する。 正常終了。</p>
備考		メインウィンドウへは、画面全体にビットマップが表示されます。

@GBA / @SBA		入力チャンネル割り当て
取得	送信	@GBA, ch [↵]
	返信	@GBA, ch, bitmap_1, bitmap_2, bitmap_3, bitmap_4, bitmap_5, bitmap_6, bitmap_7 [↵]
設定	送信	@SBA, ch, input, bitmap (, ch, input, bitmap···) [↵]
	返信	@SBA, ch, input, bitmap (, ch, input, bitmap···) [↵]
パラメータ		ch : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = メインウインドウ, 2 = サブウインドウ “0 = 全出力” は設定時のみ指定できます。
		bitmap_1-7 : ビットマップ割り当て IN1 ~ IN7 bitmap : ビットマップ割り当て 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。
		input : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 7 = IN7
取得例	送信	@GBA,1 [↵]
	返信	@GBA,1,0,0,0,0,0,1 [↵]
	説明	メインウインドウで選択される入力チャンネルへのビットマップ割り当てを取得。 メインウインドウは IN7 にビットマップ 1 が割り当てられて、その他の入力チャンネルはビットマップが割り当てられていない。
設定例	送信	@SBA,1,7,1 [↵]
	返信	@SBA,1,7,1 [↵]
	説明	メインウインドウに IN7 を選択したときにビットマップ 1 の画像が出力されるように設定する。 正常終了。
備考		メインウインドウへは、画面全体にビットマップが表示されます。

@GPB / @SPB		電源オン時のビットマップ出力
取得	送信	@GPB [↵]
	返信	@GPB, main, pinp [↵]
設定	送信	@SPB, ch, out (, ch, out) [↵]
	返信	@SPB, ch, out (, ch, out) [↵]
パラメータ		<p>main : ビットマップの出力 メインウインドウ  pinp : ビットマップの出力 サブウインドウ  out : ビットマップの出力  0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2,  3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4  ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。</p> <p>ch : 出力チャンネル  0 = 全出力,  1 = メインウインドウ,  2 = サブウインドウ</p>
取得例	送信	@GPB [↵]
	返信	@GPB,0,1 [↵]
	説明	電源オン時のビットマップ出力の設定を取得。 サブウインドウにビットマップ 1 の画像を出力する。
設定例	送信	@SPB,0,0 [↵]
	返信	@SPB,0,0 [↵]
	説明	電源オン時にビットマップを出力しない。 正常終了。
備考		メインウインドウへは、画面全体にビットマップが表示されます。

@GBD / @SBD		メモリエリアの分割
取得	送信	@GBD [↵]
	返信	@GBD, num, block_1 (, block_2····) [↵]
設定	送信	@SBD, num, mode (, block_1, block_2····) [↵]
	返信	@SBD, num, mode, block_1 (, block_2····) [↵]
パラメータ		<p>num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1</p> <p>block_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 128 分割後のブロックサイズを指定、返信します。 1 ブロックは 65,536 バイトで、全ビットマップの合計サイズが 128 ブロック (8,388,608 バイト) 以下になるように設定します。 mode が “3” の場合のみ指定します。</p> <p>mode : 分割モード 0 = 自動モード, 1 = リサイズモード, 2 = 強制モード, 3 = サイズ指定モード サイズ指定モードを選択した場合は、block_1-4 を指定します。</p>
取得例	送信	@GBD [↵]
	返信	@GBD,2,64,64 [↵]
	説明	ビットマップ用メモリの分割設定を取得。 ビットマップ1とビットマップ2は、それぞれ 64 ブロック (4,194,304 バイト) のメモリが確保されている。
設定例	送信	@SBD,2,1 [↵]
	返信	@SBD,2,1,64,64 [↵]
	説明	ビットマップ用メモリをリサイズモードで 2 分割に設定する。 ビットマップ1とビットマップ2は、それぞれ 64 ブロック (4,194,304 バイト) のメモリを確保した。 正常終了。
備考		—

@GBV		メモリエリアの使用状態
取得	送信	@GBV [↵]
	返信	@GBV, num, block_1 (, block_2····) [↵]
パラメータ		<p>num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1</p> <p>block_1-4 : 実際に使用されている各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 12</p>
取得例	送信	@GBV [↵]
	返信	@GBV,2,32,0 [↵]
	説明	メモリエリアの実際の使用状態を取得。 ビットマップ1は 32 ブロック (2,097,152 バイト) が使用され、ビットマップ2は登録されていない。
備考		—

@GFZ / @SFZ		フリーズ
取得	送信	@GFZ ↵
	返信	@GFZ, freeze ↵
設定	送信	@SFZ, ch, freeze ↵
	返信	@SFZ, ch, freeze ↵
パラメータ		freeze : フリーズ (静止) 設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON
		ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
取得例	送信	@GFZ ↵
	返信	@GFZ,1 ↵
	説明	フリーズの状態を取得。 メインウィンドウは入力映像をフリーズして出力している。
設定例	送信	@SFZ,1,1 ↵
	返信	@SFZ,1,1 ↵
	説明	メインウィンドウの映像をフリーズに設定する。 正常終了。
備考		フリーズは、入力チャンネルを切り換えた場合にも解除されます。

@CAP		出力映像のキャプチャ
設定	送信	@CAP, ch, bitmap ↵
	返信	@CAP, ch, bitmap ↵
パラメータ		ch : 出力チャンネル “1” 固定です。
		bitmap : ビットマップ番号 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは分割数以下の番号のみ指定可能です。
設定例	送信	@CAP,1,2 ↵
	返信	@CAP,1,2 ↵
	説明	メインウィンドウの出力映像をビットマップ 2 に保存する。 正常終了。
備考		—

## 3.3.19 システム設定

@GLS / @SLS		ボタンロック
取得	送信	@GLS Ⓡ
	返信	@GLS, lock Ⓡ
設定	送信	@SLS, lock Ⓡ
	返信	@SLS, lock Ⓡ
パラメータ		lock : ボタンロック設定 0 = ロック解除 ※初期値, 1 = ロック有効, 2 = 現在の設定を逆にする
取得例	送信	@GLS Ⓡ
	返信	@GLS,1 Ⓡ
	説明	ボタンロックの状態を取得。 ロック有効。
設定例	送信	@SLS,1 Ⓡ
	返信	@SLS,1 Ⓡ
	説明	ボタンロックを有効に設定。 正常終了。
備考		ボタンロックの対象は、ブロックごとに設定することができます。 【参照 : @GLM / @SLM ボタンロック対象の設定 (P.128)】

@GLM / @SLM		ボタンロック対象の設定
取得	送信	@GLM Ⓡ
	返信	@GLM, channel, menu, recall_crosspoint, command, unlock_button, power, pinp, volume Ⓡ
設定	送信	@SLM, channel, menu, recall_crosspoint, command, unlock_button, power, pinp, volume Ⓡ
	返信	@SLM, channel, menu, recall_crosspoint, command, unlock_button, power, pinp, volume Ⓡ
パラメータ		channel : 入力チャンネル選択ボタン menu : メニュー操作ボタン recall_crosspoint : クロスポイントメモリの読み出し command : 制御コマンドの実行 unlock_button : UNLOCK ボタン power : DISPLAY POWER ボタン pinp : PinP ボタン、WINDOW ボタン volume : MIC / LINE 音量調整つまみ、SOURCE 音量調整つまみ 0 = ボタンロック対象外, 1 = ボタンロック対象 ※初期値
取得例	送信	@GLM Ⓡ
	返信	@GLM,1,0,0,0,0,0,0,0 Ⓡ
	説明	ボタンロック対象を取得。 入力チャンネル選択ボタンのみがロック対象。
設定例	送信	@SLM,1,0,0,0,0,0,0,0 Ⓡ
	返信	@SLM,1,0,0,0,0,0,0,0 Ⓡ
	説明	入力チャンネル選択ボタンのみをロック対象に設定。 正常終了。
備考		—

@GBZ / @SBZ		ブザー音
取得	送信	@GBZ ↵
	返信	@GBZ, bz ↵
設定	送信	@SBZ, bz ↵
	返信	@SBZ, bz ↵
パラメータ		bz : ブザー音 0 = OFF, 1 = ON ※初期値
取得例	送信	@GBZ ↵
	返信	@GBZ,1 ↵
	説明	ブザー音の状態を取得。 ブザー音は ON に設定されている。
設定例	送信	@SBZ,1 ↵
	返信	@SBZ,1 ↵
	説明	ブザー音を ON に設定。 正常終了。
備考		—

## 3.3.20 ステータス表示

@GSS		入力信号・シンク機器状態												
取得	送信	@GSS, channel, mode <input type="checkbox"/>												
	返信	@GSS, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3...) <input type="checkbox"/>												
パラメータ		channel : 入出力チャンネル 1 = IN1,                      2 = IN2,                      3 = IN3,                      4 = IN4, 5 = IN5,                      6 = IN6,                      7 = IN7, 11 = HDMI OUT A,          12 = HDMI OUT B,          13 = HDBT OUT C												
		mode : 取得するステータス channel = 1 ~ 7 (デジタル入力コネクタ) の場合 0 = 1 ~ 4 のすべて, 1 = 入力信号の種類 <sup>※1</sup> , 2 = 映像入力信号のフォーマット <sup>※2</sup> , 3 = 音声入力信号のフォーマット <sup>※3</sup> , 4 = 入力信号の HDCP 著作権保護 <sup>※4</sup> channel = 6 ~ 7 (アナログ入力コネクタ) の場合 0 = 1 ~ 2 のすべて, 1 = 入力信号の種類 <sup>※1</sup> , 2 = 映像入力信号のフォーマット <sup>※2</sup> channel = 11 ~ 13 (出力コネクタ) の場合 0 = 1 ~ 3 のすべて, 1 = HDCP の認証状態 <sup>※5</sup> , 2 = 出力信号の種類 <sup>※6</sup> , 3 = エラーコード <sup>※7</sup>												
		status_1-4 : ステータス mode の番号												
		※1 入力信号の種類 <table border="1" data-bbox="443 1301 1412 1585"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号が入力されています。 xx は色深度を示し、24 または 30 を返信します。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>R</td> <td>アナログ RGB 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>アナログ YPbPr 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>信号は入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信	入力信号の種類	Hxx	HDMI 信号が入力されています。 xx は色深度を示し、24 または 30 を返信します。	D	DVI 信号が入力されています。	R	アナログ RGB 信号が入力されています。	Y	アナログ YPbPr 信号が入力されています。	N	信号は入力されていません。
返信	入力信号の種類													
Hxx	HDMI 信号が入力されています。 xx は色深度を示し、24 または 30 を返信します。													
D	DVI 信号が入力されています。													
R	アナログ RGB 信号が入力されています。													
Y	アナログ YPbPr 信号が入力されています。													
N	信号は入力されていません。													

@GSS	入力信号・シンク機器状態 (つづき)																																												
パラメータ	<p>※2 映像入力信号のフォーマット</p> <table border="1" data-bbox="443 309 1410 629"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>映像入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080i 59.94Hz</td> <td>SDTV / HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>800 x 600 60.00Hz</td> <td>RGB 信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>56.83kHz 60.02Hz</td> <td>本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3 音声入力信号のフォーマット</p> <table border="1" data-bbox="443 707 1410 1104"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>音声入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz</td> <td>リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)</td> <td>マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>COMPRESSED AUDIO</td> <td>圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>音声信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4 入力信号の HDCP 著作権保護</p> <table border="1" data-bbox="443 1182 1410 1308"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>入力信号の HDCP 著作権保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP ON</td> <td>HDCP で著作権保護された信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP OFF</td> <td>著作権保護なしの信号が入力されています。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※5 HDCP の認証状態</p> <table border="1" data-bbox="443 1386 1410 1906"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>HDCP の認証状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP SUPPORT</td> <td>HDCP に対応したシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP NOT SUPPORT</td> <td>HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP ERROR</td> <td>HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。</td> </tr> <tr> <td>HDCP CHECK NOW</td> <td>シンク機器の状態を確認中です。</td> </tr> <tr> <td>SINK DEVICE DISCONNECT</td> <td>シンク機器が切り離されました。</td> </tr> <tr> <td>HDBaseT LINK DISCONNECT</td> <td>ツイストペアケーブルが切り離されました。</td> </tr> <tr> <td>HDBaseT NO LINK</td> <td>ツイストペアケーブルが接続されていません。</td> </tr> <tr> <td>UNCONNECTED</td> <td>シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信例	映像入力信号のフォーマット	1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。	800 x 600 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。	56.83kHz 60.02Hz	本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。	返信例	音声入力信号のフォーマット	LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。	LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)	NO SIGNAL	音声信号が入力されていません。	返信例	入力信号の HDCP 著作権保護	HDCP ON	HDCP で著作権保護された信号が入力されています。	HDCP OFF	著作権保護なしの信号が入力されています。	返信例	HDCP の認証状態	HDCP SUPPORT	HDCP に対応したシンク機器が接続されています。	HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。	HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。	HDCP CHECK NOW	シンク機器の状態を確認中です。	SINK DEVICE DISCONNECT	シンク機器が切り離されました。	HDBaseT LINK DISCONNECT	ツイストペアケーブルが切り離されました。	HDBaseT NO LINK	ツイストペアケーブルが接続されていません。	UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。
返信例	映像入力信号のフォーマット																																												
1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。																																												
800 x 600 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。																																												
56.83kHz 60.02Hz	本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。																																												
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。																																												
返信例	音声入力信号のフォーマット																																												
LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。																																												
LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。																																												
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)																																												
NO SIGNAL	音声信号が入力されていません。																																												
返信例	入力信号の HDCP 著作権保護																																												
HDCP ON	HDCP で著作権保護された信号が入力されています。																																												
HDCP OFF	著作権保護なしの信号が入力されています。																																												
返信例	HDCP の認証状態																																												
HDCP SUPPORT	HDCP に対応したシンク機器が接続されています。																																												
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。																																												
HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。																																												
HDCP CHECK NOW	シンク機器の状態を確認中です。																																												
SINK DEVICE DISCONNECT	シンク機器が切り離されました。																																												
HDBaseT LINK DISCONNECT	ツイストペアケーブルが切り離されました。																																												
HDBaseT NO LINK	ツイストペアケーブルが接続されていません。																																												
UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。																																												

@GSS	入力信号・シンク機器状態 (つづき)		
パラメータ	※6 出力信号の種類		
	返信	出力信号の種類	
	Hxx	HDMI 信号が出力されています。 xx は色深度を示し、24 または 30 を返信します。	
	D	DVI 信号が出力されています。	
	C	HDCP の認証中のため、映像を出力していません。	
	N	シンク機器は接続されていません。	
	O	ツイストペアケーブルは接続されていません。	
	※7 エラーコード		
	映像出力・音声出力、アナログ音声出力の順でエラーコードを返信します。		
	エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態
0	正常に映像または音声出力されています。		
1	@GVO / @SVO 出力信号設定 (P.30) が “黒画面を出力する。” に設定されています。	@GAM / @SAM 音声ミュート (P.71) が “ON” に設定されています。	
2	デジタル入力の場合のみ返信され、DDC 電源が入力されていません。(ソース機器が接続されていない場合は、この状態になります。)		
3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。 ※8	
4	デジタル入力の場合のみ返信されます。 ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。		
5	デジタル入力の場合のみ返信されます。 HDCP の付加された信号が入力されていますが、シンク機器が HDCP に対応していません。(HDCP の認証処理中にも返信されることがあります。)		
6	デジタル入力の場合のみ返信されます。 映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。		
7	本機が対応していない信号 (ドットクロック範囲外) が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声出力できません。(圧縮音声に対応したシンク機器以外には、圧縮音声は出力されません。)	

@GSS		入力信号・シンク機器状態 (つづき)																											
パラメータ		<table border="1"> <thead> <tr> <th>エラーコード</th> <th>映像出力の状態</th> <th>音声出力の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>—</td> <td>@GUC / @SUC 出力音声選択 (P.68) が“出力しない”に設定されています。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>—</td> <td>@GDM / @SDM 出力フォーマット (P.34) が“DVI MODE”に設定されているか、音声に対応していないシンク機器が接続されています。*8</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td colspan="2">入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 映像・音声チャンネル同時切換 (P.19)、 @GSV / @SSV 映像チャンネル切換 (P.20)、 @GSA / @SSA 音声チャンネル切換 (P.20))</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td colspan="2">シンク機器が接続されていません。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td colspan="2">HDCP の認証中です。</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td colspan="2">HDCP の認証に失敗しました。</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td colspan="2">ツイストペアケーブルが接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>*8 アナログ音声信号の入力状態は検出できません。 そのため“0”が返信される場合でも、アナログ音声入力を選択されているときは音声が出力されないことがあります。</p>	エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態	8	—	@GUC / @SUC 出力音声選択 (P.68) が“出力しない”に設定されています。	9	—	@GDM / @SDM 出力フォーマット (P.34) が“DVI MODE”に設定されているか、音声に対応していないシンク機器が接続されています。*8	A	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 映像・音声チャンネル同時切換 (P.19)、 @GSV / @SSV 映像チャンネル切換 (P.20)、 @GSA / @SSA 音声チャンネル切換 (P.20))		B	—	—	C	シンク機器が接続されていません。		D	HDCP の認証中です。		E	HDCP の認証に失敗しました。		F	ツイストペアケーブルが接続されていません。	
エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態																											
8	—	@GUC / @SUC 出力音声選択 (P.68) が“出力しない”に設定されています。																											
9	—	@GDM / @SDM 出力フォーマット (P.34) が“DVI MODE”に設定されているか、音声に対応していないシンク機器が接続されています。*8																											
A	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 映像・音声チャンネル同時切換 (P.19)、 @GSV / @SSV 映像チャンネル切換 (P.20)、 @GSA / @SSA 音声チャンネル切換 (P.20))																												
B	—	—																											
C	シンク機器が接続されていません。																												
D	HDCP の認証中です。																												
E	HDCP の認証に失敗しました。																												
F	ツイストペアケーブルが接続されていません。																												
取得例	送信 返信	@GSS,1,0 <input type="checkbox"/> @GSS,1,0,H30,1080P 60Hz,LINER PCM 48kHz, HDCP ON <input type="checkbox"/>																											
	説明	IN1 の全ステータスを取得。 ・入力信号の種類 : 30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・映像入力信号 : 1080P 60Hz ・音声入力信号 : LINEAR PCM 48kHz ・HDCP : ON																											
備考		—																											

@GES		シンク機器の EDID 情報
取得	送信	@GES, channel, mode <input type="checkbox"/>
	返信	@GES, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3) <input type="checkbox"/>
パラメータ		<p>channel : 出力コネクタ 1 = HDMI OUT A, 2 = HDMI OUT B, 3 = HDBT OUT C</p> <p>mode : 取得するステータス 0 = 1~4 のすべて, 1 = モニタ名, 2 = 解像度とドットクロック, 3 = HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度<sup>※1</sup>, 4 = 音声の対応状況と、サンプリング周波数、ビット長、チャンネル数および圧縮音声の対応状況<sup>※2</sup></p> <p>status_1-3 : ステータス モードの番号  <sup>※1</sup> HDMI に対応していないシンク機器の場合 “DVI” と返信します。  HDMI に対応しているシンク機器の場合 “HDMI” と返信し、続けて対応しているサンプリング構造 (RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4 のうち対応しているものを / で区切って返信)、対応している色深度 (24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信) の順で返信します。  <sup>※2</sup> 音声に対応していないシンク機器の場合 “AUDIO NOT SUPPORT” と返信します。  音声に対応しているシンク機器の場合 “LINEAR PCM” と返信し、続けて対応しているサンプリング周波数 (32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信)、ビット長 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信)、チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか)、圧縮音声に対応していれば “COMPRESSED AUDIO SUPPORT” の順で返信します。</p>
取得例	送信	@GES,1,0 <input type="checkbox"/>
	返信	@GES,1,0,MSD-701AMP,1920x1080 148.50MHz,DVI,AUDIO NOT SUPPORT <input type="checkbox"/>
	説明	HDMI OUT A に接続されたシンク機器の EDID 情報を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタ名 : MSD-701AMP</li> <li>・ 解像度 : 1920x1080</li> <li>・ ドットクロック : 148.50MHz</li> <li>・ HDMI : 非対応</li> <li>・ 音声 : 非対応</li> </ul>
備考		—

<b>@GHC</b>		<b>システムチェック状態</b>
取得	送信	@GHC ☑
	返信	@GHC, fan, temp ☑
パラメータ		fan : ファンの回転数状態 0 = 正常, 1 = 異常
		temp : 本体内部の温度状態 0 = 正常, 1 = 異常
取得例	送信	@GHC ☑
	返信	@GHC,1,0 ☑
	説明	システムチェックの結果を取得。 ・ファンの回転数 : 異常 ・本体内部の温度状 : 正常
備考		—

<b>@GIV</b>		<b>バージョン情報</b>
取得	送信	@GIV ☑
	返信	@GIV, id, ver ☑
パラメータ		id : 製品型番 ver : ファームウェアバージョン
取得例	送信	@GIV ☑
	返信	@GIV, MSD-701AMP,1.00.00 ☑
	説明	製品の情報を取得。 製品型番とファームウェアバージョンを返信。
備考		—

---

---

MSD-701AMP 取扱説明書

<コマンドガイド>

Ver.1.8.0

発行日 2024 年 05 月 24 日

---

---



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階  
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階  
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

E メールアドレス [info@idk.co.jp](mailto:info@idk.co.jp) ホームページ [www.idk.co.jp](http://www.idk.co.jp)